

「仏教保育アンケート」から見る仏教保育実践園の現状と課題

岡本 啓宏

The present conditions and problem of the Buddhism nursery school to see from " Buddhism child care questionnaire".

Keikoh OKAMOTO

論文要旨

本論は、平成 29 年度に実施した「仏教保育アンケート」の結果に基づいて、仏教保育の実践園の現状と課題を明らかにし、仏教保育実践園の抱える課題について、その解決方法を導き出し、現場の保育者の実践に有効な資料の提供をすることを目的とする。多くの仏教保育実践園では創設以来一貫して、脈々と「生命尊重」の仏教の教えに基づいて仏教保育を展開し、地域社会、保護者からの信頼を得て、確実に仏教保育を実践してきている。その反面、時代の変化に伴い仏教保育を取り巻く環境の変化、各家庭の信仰心の欠如、保護者の宗教に対する悪いイメージ等により、仏教保育を実践していくことが難しい状況になってきている園も出てきている。そのような状況の中で仏教保育は、幼児期の宗教心の開発において、「生命尊重」を中心に、心の活動を活発にすることが大切と考えているものであり、本論では「仏教保育アンケート」を通じて、各園の仏教保育の実践において、お釈迦様の教え、仏教行事等を積極的に教材に取り入れ、仏教の教えに基づいた意図的な教育・保育を行っており、それは子どもの発達においてとても有効な教育・保育の実践であることがわかった。さらにこのアンケートを通じて仏教保育実践園が抱える課題が明確になり、そして保育者養成校に対する具体的な指導内容の要請も明らかになった。

キーワード：仏教保育アンケート、仏教保育、仏教保育実践園、仏教教育

1. はじめに

平成 30 年度『幼稚園教育要領』、『保育所保育指針』、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』の同時改訂（改定）、施行を前に、仏教保育を実践している各幼稚園・保育所・こども園⁽¹⁾にご協力をいただき「仏教保育アンケート」を実施した。今回の新要領、新指針の改訂（改定）のポイントについて汐見稔幸氏は、「①保育・教育の基本原則は「環境を通して行う」ものであること、②3つの柱からなる「資質・能力を育む」こと、③「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を明確にして保育・教育に取

り組むこと、④幼保小の接続をより円滑化すること。」と述べている。⁽²⁾ 従来、幼稚園では「教育」、保育所では「保育」、幼保連携型認定こども園では「教育と保育」として、それぞれ実践されていたものが新要領、新指針の改訂（改定）において幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園の3つの幼児教育組織を共通に重視することを明確にした上で「幼児教育を担う施設」と位置づけ、新要領、新指針の改訂（改定）のポイントに従って新たに教育・保育を実施しようとするものである。そのような状況の中で、この「仏教保育アンケート」は、平成 29 年

6月（7月末回答期限）に、関東一都六県の公益社団法人日本仏教保育協会に加盟している430園に回答を依頼し、94園からの回答（回収率21.9%）をいただいたものである。それは、新要領・新指針の改訂（改定）に向けた各園の具体的な検討内容、改訂方針等を調査し、その後、現行の実施内容と比較し、改訂（改定）後どのような実施内容となっているかを調査することを目的の一つとしている。公立の幼稚園、保育所・こども園においては『幼稚園教育要領』、『保育所保育指針』、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』に従って教育・保育が展開されている。私立、法人立等の幼稚園・保育所・こども園においても同様にその基準に従って教育・保育が展開されており、公教育の性質も同時に含んでいる。さらには独自の教育・保育を展開している仏教保育実践園においても一般の園における教育・保育の目標と全く別なものを求めているものではない。それ故に新要領、新指針の改訂（改定）は不可避であり、新要領・新指針に従って公的基準を満たして運営する必要がある。

そのような状況の中で、今後、新要領・新指針のもとで各仏教園が教育・保育を展開していく。その前段階として、旧要領・旧指針にもとづいて展開している現状を把握するために「仏教保育アンケート」を実施したものであり、本論では、この「仏教保育アンケート」を通して仏教保育実践園の現状・課題を把握し、その解決の方法を導き出し、現場の保育者の実践に有効な資料を提供することを目的としている。そして、新要領・新指針を受けた教育・保育の展開のための資料としていきたいと考えている。

その調査概要は、以下の通りである。

「仏教保育アンケート」実施内容

【アンケート概要】

実施日：平成29年6月（7月末回答期限）

実施園：関東一都六県の公益社団法人日本仏教

保育協会に加盟し、仏教保育を提唱し実践している幼稚園・保育所・こども園 総数430園

回収：94園（回収率21.9%）

幼稚園52園 保育所32園 こども園10園

アンケート方法：記述式

【アンケート内容・項目】

1. 園概要について
 - ①クラス数
 - ②教員・保育士・職員数
2. 基本理念について
 - ①建学の精神
 - ②教育・保育方針
 - ③教育・保育目標
 - ④教育・保育の特色
 - ⑤朝夕のお唱え（お誓い）
3. 宗教教育について
（※年間の教育・保育を展開する中で、具体的にどのような宗教教育がなされているか、また教材等がございましたらお教えてください。）
4. 年間行事について
 - ①年間行事
（※主な年間行事をお教えてください。）
 - ②仏教行事について
（※年間行事の中で仏教的・宗教的な行事の実施状況についてお教えてください。）
cf. 4月8日「花まつり」－お釈迦様のお誕生をお祝いする行事で、全園児、全教職員が灌仏をし、「花まつりの歌」を歌いお祝いをしている。
 - ③宗教行事と民間行事について
（※クリスマス、ハロウィンなどの実施状況についてお教えてください。）
5. その他の活動について
 - ①通常保育以外の長時間保育（延長保育・預かり保育）の実施状況についてお教えてください。

- ② 課外活動の実施状況についてお教えください。(サッカー教室、英会話教室等)
 - ③ 地域活動への参加状況についてお教えください。(お祭り、ボランティア参加等)
6. 新学習指導要領・保育所保育指針の改訂、実施について
(※新学習指導要領・保育所保育指針の改訂、実施に向けて、大きな変更等ございましたらお教えください。)

7. 仏教保育についての問題点・課題について
(※教育・保育の現場において仏教教育、宗教教育における問題点・課題等がございましたらお教えください。)
8. その他
(※保育者養成校へのご希望、ご意見等がございましたらご記入ください。宜しくご指導お願い致します。)

II. 「仏教保育アンケート」集計結果

1. 園概要について

① クラス数

幼稚園 52園

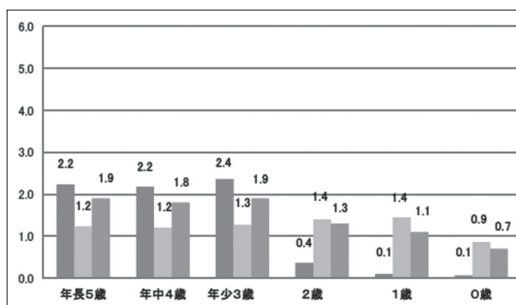
	年長	年中	年少	2歳	1歳	0歳	合計
合計	114	111	118	18	5	3	369
平均	2.2	2.2	2.4	0.4	0.1	0.1	7.2
最大	5	5	5	2	1	1	15
最少	1	0	0	0	0	0	1

保育所 32園

	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	合計
合計	37	36	38	42	42	25	220
平均	1.2	1.2	1.3	1.4	1.4	0.9	7.3
最大	3	3	3	3	4	2	16
最少	0	0	0	1	1	0	3

こども園 10園

	年長	年中	年少	2歳	1歳	0歳	合計
合計	19	18	19	13	11	7	87
平均	1.9	1.8	1.9	1.3	1.1	0.7	8.7
最大	3	4	4	2	2	1	13
最少	1	1	1	1	0	0	5



【クラス数の表・グラフ】

② 教員・保育士数

幼稚園 52園

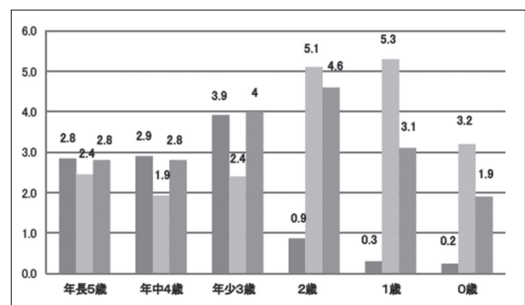
	年長	年中	年少	2歳	1歳	0歳	合計
合計	145	148	192	43	15	12	562
平均	2.8	2.9	3.9	0.9	0.3	0.2	11.0
最大	8	8	14	6	4	4	28
最少	1	0	0	0	0	0	2

保育所 32園

	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	合計
合計	71	54	67	143	143	80	563
平均	2.4	1.9	2.4	5.1	5.3	3.2	19.4
最大	20	4	5	16	12	7	42
最少	0	0	0	2	2	0	7

こども園 10園

	年長	年中	年少	2歳	1歳	0歳	合計
合計	28	28	40	46	31	19	192
平均	2.8	2.8	4.0	4.6	3.1	1.9	19.2
最大	4	5	8	14	5	4	23
最少	2	2	2	2	0	0	15



【教員・保育士数の表・グラフ】

③教員・保育士・職員数

幼稚園 52園

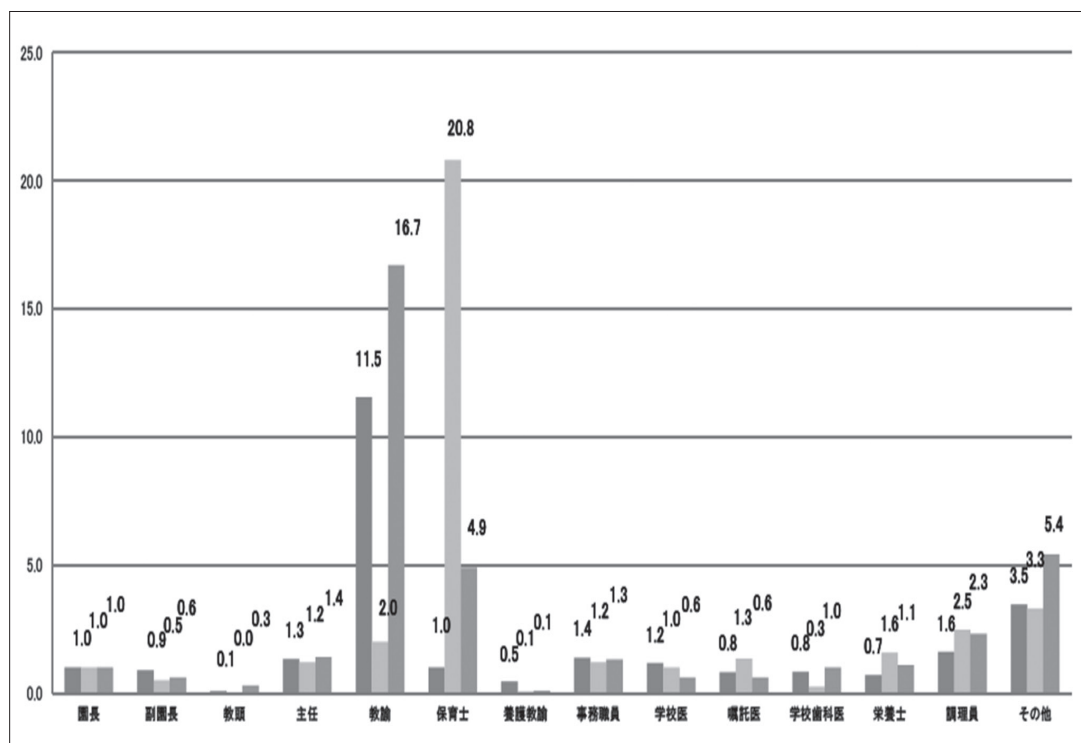
幼稚園	園長	副園長	教頭	主任	教諭	保育士	養護教諭	事務職員	学校医	嘱託医	学校歯科医	栄養士	調理員	その他	合計
合計	51	27	4	57	589	13	5	55	35	13	26	9	21	107	1033
平均	1.0	0.9	0.1	1.3	11.5	1.0	0.5	1.4	1.2	0.8	0.8	0.7	1.6	3.5	19.9
最大	1	1	1	4	32	9	2	3	4	3	2	2	4	10	56
最少	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

保育所 32園

保育所	園長	副園長	教頭	主任	教諭	保育士	養護教諭	事務職員	学校医	嘱託医	学校歯科医	栄養士	調理員	その他	合計
合計	32	16	0	36	2	645	2	37	1	43	8	50	74	86	1120
平均	1.0	0.5	0	1.2	2.0	20.8	0.1	1.2	1.0	1.3	0.3	1.6	2.5	3.3	35.0
最大	1	1	0	5	2	41	1	3	1	3	1	4	6	21	59
最少	1	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	17

こども園 10園

こども園	園長	副園長	教頭	主任	教諭	保育士	養護教諭	事務職員	学校医	嘱託医	学校歯科医	栄養士	調理員	その他	合計
合計	10	6	3	14	167	49	1	13	6	6	10	11	23	54	373
平均	1.0	0.6	0.3	1.4	16.7	4.9	0.1	1.3	0.6	0.6	1.0	1.1	2.3	5.4	37.3
最大	1	1	1	3	30	22	1	2	2	1	1	3	7	27	67
最少	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	28



【教員・保育士・職員数の表・グラフ】

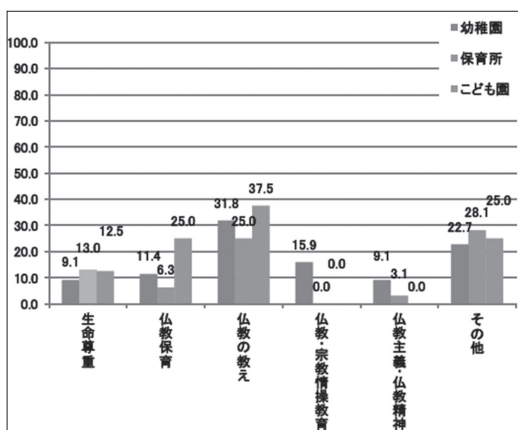
2. 基本理念について

①建学の精神

仏教保育を提唱し実践している各園の「建学の精神」は多岐にわたり、各園の創立、設立理念に基づいた設置者の精神を脈々と伝え、園の数だけ「建学の精神」が存在するといえる。元来、「建学の精神」とは、文字通り私立学校（園）を創設する際の中心的な考え方であり、各園創設にあたり、何らかの思想、主義、主張に基づくものであり、自ずと個々に異なるものである。その中でも仏教保育を提唱しているそれぞれの園においては、共通する考え方が多い。その「建学の精神」を主テーマによる分類を試みると次のようになる。

主テーマ	幼稚園	保育所	こども園
生命尊重	4(9.1%)	3(13.0%)	1(12.5%)
仏教保育	5(11.4%)	2(6.3%)	2(25.0%)
仏教の教え	14(31.8%)	8(25.0%)	3(37.5%)
仏教・宗教情操教育	7(15.9%)	0(0.0%)	0(0.0%)
仏教主義・仏教精神	4(9.1%)	1(3.1%)	0(0.0%)
その他	10(22.7%)	9(28.1%)	2(25.0%)

〔幼稚園 52 園 回答 44 園・保育所 32 園 回答 23 園・こども園 10 園 回答 8 園〕



【「建学の精神」の主テーマによる分類表 (3)】

各園において、「生命尊重」を主テーマとしている園は8園(10.7% (4))で、生命尊重の保育をその中心としている。そして、動植物など

を通して生命を大切にするやさしい子どもを育て、全ての命を大切にする心を育むことを目的にそれぞれ「建学の精神」が設定されている。「仏教保育」を主テーマとしている園は9園(12.0%)で、公益社団法人日本仏教保育協会 (5) の提唱する「仏教保育三綱領」の「慈心不殺」・「仏道成就」・「正業精進」をその中心に置き、仏教保育の理念に基づいた「心の保育」を実践し、感謝の気持ち、人に対する思いやり、生命の尊さを育てることを目的として「建学の精神」が設定されている。「仏教の教え」を主テーマとしている園は25園(33.3%)で、多くの仏教の教えの中で、お釈迦様、各宗派の開祖の具体的な教えを取り上げて「建学の精神」を設定している。その中でも「三宝」、「四恩」、「慈悲の心」、「観音信仰」、「各宗祖の教え」、「設立母体となる寺院の仏教理念」等多岐に渡り「建学の精神」が設定されている。「仏教・宗教情操教育」を主テーマとしている園は7園(9.3%)で、幼稚園のみが主テーマとしており、保育所、こども園には見られない。その中でも仏教情操教育は4園、宗教情操教育は3園であり、その意図する内容に差はなく、表現上の違いによるものであり、「生命尊重の心の育成」、「慈しみの心の育成」、「感謝や反省の心の育成」、「思いやりの心の育成」、「物を大切にする心の育成」等が挙げられており、仏教の教えを基調とした情操教育による人間形成を行うことを目的として「建学の精神」が設定されている。「仏教主義・仏教精神」を主テーマとしている園は5園(6.7%)で、幼稚園と保育所のみに見られ、こども園には見られない。その中でも「仏教主義」は1園、「仏教精神」は4園であり、具体的な教えに基づき感謝や思いやりの心を育てていくことを目的として「建学の精神」が設定されている。「その他」を主テーマとしている園は21園(28.0%)で、その内容は多岐にわたっている。具体的には「愛」、「個人の尊重」、「素直な心」、「KIDS FIRST」、「こころ」、「こどもの最善の利益」、「温

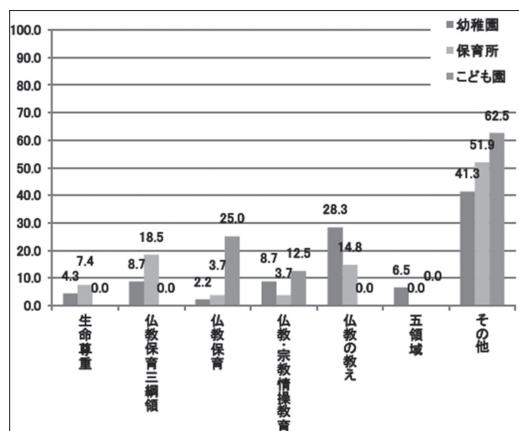
もりと微笑み」、「知・徳・体」、「母子共有」、「教育のできる保育」、「知・情・体の三位一体の総合教育」、「清く・正しく・情け深く」等、その内容も様々なものが挙げられ、「建学の精神」が設定されている。

②教育・保育方針

幼稚園、保育所、こども園における「教育・保育方針」は、それぞれの園の建学の精神を具現化するために、それぞれの園の「教育・保育方針」が示されているものである。その「教育・保育方針」を主テーマによる分類を試みると次のようになる。

主テーマ	幼稚園	保育所	こども園
生命尊重	2(4.3%)	2(7.4%)	0(0.0%)
仏教保育三綱領	4(8.7%)	5(18.5%)	0(0.0%)
仏教保育	1(2.2%)	1(3.7%)	2(25.0%)
仏教・宗教情操教育	4(8.7%)	1(3.7%)	1(12.5%)
仏教の教え	13(28.3%)	4(14.8%)	0(0.0%)
五領域	3(6.5%)	0(0.0%)	0(0.0%)
その他	19(41.3%)	14(51.9%)	5(62.5%)

[幼稚園 52 園 回答 46 園・保育所 32 園 回答 27 園・こども園 10 園 回答 8 園]



【「教育・保育方針」の主テーマによる分類表の表・グラフ】

各園において、「生命尊重」を主テーマとしている園は4園（4.9%）で、生命尊重の保育をその中心的な「教育・保育方針」としている。生き物や自然を大切に、自他の生命を尊重す

ることを「教育・保育方針」と設定している。「仏教保育三綱領」を主テーマとしている園は9園（11.1%）で、「仏教保育の三綱領」（「慈心不殺」[明るく]、「仏道成就」[正しく]、「正業精進」[仲よく]）をその中心的な「教育・保育方針」とし、日本仏教保育協会のめざす保育である「いかせいのち」生命尊重の保育の実践をその中心テーマとしている。「仏教保育」を主テーマとしている園は4園（4.9%）で、仏教保育を通して生命の尊さや大切さを学ぶことを根本としてその中心テーマとしている。「仏教・宗教情操教育」を主テーマとしている園は6園（7.4%）で、その中でも「仏教情操教育」が3園、「宗教情操教育」が3園であり、仏教の教えを基調とした情操教育による人間形成を行うことを中心テーマとしている。「仏教の教え」を主テーマとしている園は17園（21.0%）で、多くの仏教の教えに基づいて「教育・保育方針」を設定している。その中でも「三宝」、「慈悲」、「六波羅蜜」、「禅の教え」、「観音様の精神」等に基づいた「教育・保育方針」の中心テーマとしている。「五領域」を主テーマとしている園は3園（3.7%）で、『幼稚園教育要領』⁽⁶⁾に示されている「健康」、「人間関係」、「環境」、「言葉」、「表現」の五領域のねらいが総合的に達成されるように「教育・保育方針」が設定されている。この「五領域」に基づいて、幼児期に大切な基本的な生活習慣を育て、健全な心身の基礎を培うことを中心テーマとしている。「その他」を主テーマとしている園は38園（46.9%）で、その内容は多岐にわたっている。具体的には「遊び」は2園、「生きる力」は2園、その他、「思いやり」、「感謝の心」、「健康な子ども」、「個性の尊重」、「人権の尊重」、「人間性・意欲を育む」、「5つのお誓い」、「生きていくための基礎」、「子どもの最善の利益」、「ひとりひとりを大事に」、「喜びを感じる」、「健康でたくましい子ども」、「自ら学ぼうとする姿勢」、「自己肯定感」、「自立心」、「知・情・意」、「和・日本の心」、「心豊かな素直な子ども」、「優しさ・感謝」、「明るく、楽しく、元

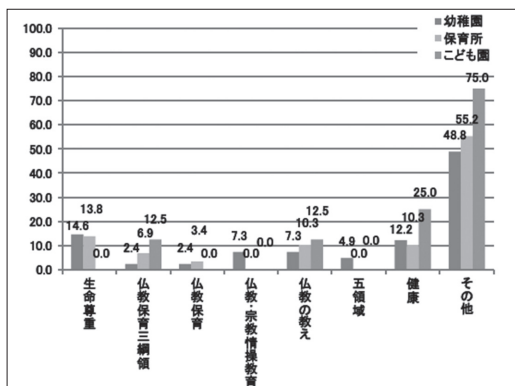
気よく」、「見守る心のゆとり」、「何事にも頑張る力」等、その内容も様々なものが挙げられ、「教育・保育方針」が設定されている。

③教育・保育目標

幼稚園、保育所、こども園における「教育・保育目標」は、それぞれの園の建学の精神を具現化するために、教育・保育方針を受けてより具体的に示されているものである。そしてこの「教育・保育目標」に基づいて学期、月、週、日の目標が設定され、各園の方針によって異なっている。この「教育・保育目標」を主テーマによって分類を試みると次のようになる。

主テーマ	幼稚園	保育所	こども園
生命尊重	6(14.6%)	4(13.8%)	0(0.0%)
仏教保育三綱領	1(2.4%)	2(6.9%)	1(12.5%)
仏教保育	1(2.4%)	1(3.4%)	0(0.0%)
仏教・宗教情操教育	3(7.3%)	0(0.0%)	0(0.0%)
仏教の教え	3(7.3%)	3(10.3%)	1(12.5%)
五領域	2(4.9%)	0(0.0%)	0(0.0%)
健康	5(12.2%)	3(10.3%)	2(25.0%)
その他	20(48.8%)	16(55.2%)	4(75.0%)

[幼稚園 52 園 回答 41 園・保育所 32 園 回答 29 園・こども園 10 園 回答 8 園]



【「教育・保育目標」の主テーマによる分類表の表・グラフ】

各園において、「生命尊重」を主テーマとしている園は10園(12.8%)で、生命尊重の保育をその中心的な「教育・保育目標」としている。全てのかけがえのない命を大切に

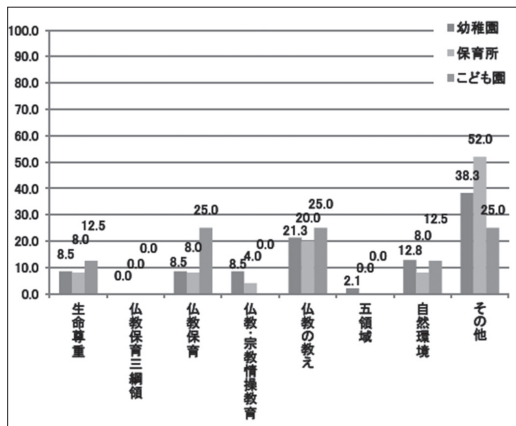
する。この「教育・保育目標」を設定している。「仏教保育三綱領」を主テーマとしている園は4園(5.1%)で、「仏教保育の三綱領」(「慈心不殺」〔明るく〕、「仏道成就」〔正しく〕、「正業精進」〔仲よく〕)をその中心的な「教育・保育目標」としている。「仏教保育」を主テーマとしている園は2園(2.6%)で、仏教保育を通して、子ども一人ひとりを大切に、心身の健全な発達を目指し、豊かな人間性を目指すことを「教育・保育目標」としている。「仏教・宗教情操教育」を主テーマとしている園は3園(3.8%)で、仏教・宗教情操教育に基づいて、豊かな情操を育て、仏教保育の根幹である心の保育と命の保育の実践を行うことを「教育・保育目標」としている。「仏教の教え」を主テーマとしている園は7園(9.0%)で、多くの仏教の教えに基づいて教育・保育目標を設定している。その中でも「三宝」、「慈悲」、「神仏礼拝」、「仏の心」、「思いやり」等に基づいた「教育・保育目標」の中心テーマとしている。中でも「三宝」に帰依する人格形成の基礎づくりを目標と設定されている。「五領域」を主テーマとしている園は2園(2.6%)で、『幼稚園教育要領』に示されている「健康」、「人間関係」、「環境」、「言葉」、「表現」の五領域の観点より、友達や職員と日々を大切に、思いやりの心を持ちながら育ち合っていくことを「教育・保育目標」としている。「健康」を主テーマとしている園は10園(12.8%)で、健康で明るい子どもを育てることを「教育・保育目標」としている。「その他」を主テーマとしている園は40園(51.3%)で、その内容は多岐にわたっている。具体的には「感謝の心」は4園、「明るい子」は4園、「あそび」は3園、「自主自立」は3園、「優しい心」は2園、「心身の健康」は2園、その他、「物を大切に」、「生きる力」、「基本的な生活習慣」、「自己表現」、「情緒の安定」、「素直な子」、「豊かな感性」、「豊かな心」等、様々な内容のものが挙げられ、「教育・保育目標」が設定されている。

④教育・保育の特色

幼稚園、保育所、こども園における「教育・保育の特色」は、それぞれの園の建学の精神を具現化するために、各園の特色ある教育・保育が展開されているもので、各園の特色が色濃く示されているといえる。そしてこの「教育・保育の特色」が各園の存在意義となっている。そこでこの「教育・保育の特色」を主テーマによる分類を試みると次のようになる。

主テーマ	幼稚園	保育所	こども園
生命尊重	4(8.5%)	2(8.0%)	1(12.5%)
仏教保育三綱領	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)
仏教保育	4(8.5%)	2(8.0%)	2(25.0%)
仏教・宗教情操教育	4(8.5%)	1(4.0%)	0(0.0%)
仏教の教え	10(21.3%)	5(20.0%)	2(25.0%)
五領域	1(2.1%)	0(0.0%)	0(0.0%)
自然環境	6(12.8%)	2(8.0%)	1(12.5%)
その他	18(38.3%)	13(52.0%)	2(25.0%)

〔幼稚園 52 園 回答 41 園・保育所 32 園 回答 29 園・こども園 10 園 回答 8 園〕



【「教育・保育の特色」の主テーマによる分類表の表・グラフ】

各園において、「生命尊重」を主テーマとしている園は7園（8.8%）で、生命尊重の保育をその中心的な「教育・保育の特色」としている。仏教の精神を基に、小動物などを飼育し、植物の栽培等を通して生命の大切さや、尊さを培う等、生命尊重の保育の実践を「教育・保育の特

色」と設定している。「仏教保育三綱領」を主テーマとしている園は0園（0.0%）である。「仏教保育」を主テーマとしている園は8園（10.0%）で、仏教保育を基に、生命を大切にする保育を展開することを「教育・保育の特色」として、その中心テーマとしている。「仏教・宗教情操教育」を主テーマとしている園は5園（6.3%）で、仏教・宗教情操教育を基に豊かな人間性を育てることを仏教・宗教の特色として、その中心テーマとしている。「仏教の教え」を主テーマとしている園は17園（21.3%）で、多くの仏教の教えに基づいて「教育・保育の特色」を設定している。その中でも「仏教の教え」、「仏教行事」、「報恩感謝」、「禅の精神」などに基づいた「教育・保育の特色」の中心テーマとしている。「五領域」を主テーマとしている園は1園（1.3%）で、『幼稚園教育要領』に示されている「健康」、「人間関係」、「環境」、「言葉」、「表現」の五領域の観点より「教育・保育の特色」を設定している。「自然環境」を主テーマとしている園は9園（11.3%）で、それぞれの園で、恵まれた自然環境の中で、自然とのふれあいを大切にし、自然保育の取り組みを実践することを「教育・保育の特色」を設定している。「その他」を主テーマとしている園は33園（41.3%）で、その内容は多岐にわたっている。具体的には「ひとりひとりを大切に」は3園、「生きる力」は2園、「心豊かな子ども」は2園、「ともに育つ」は2園、「のびのび元気に」は2園、「あそび」は2園、その他、「和の保育」、「ほめる保育」、「食育」、「子どもたちの可能性」、「見守る保育」、「日本の伝統文化」、「知育・徳育・体育」、「自立心」、「コミュニケーション」、「鼓笛指導」、「保護者と一緒に子育て」、「ヨコミネ式保育」、「行事」等、その内容も様々なものが挙げられ、「教育・保育の特色」が設定されている。

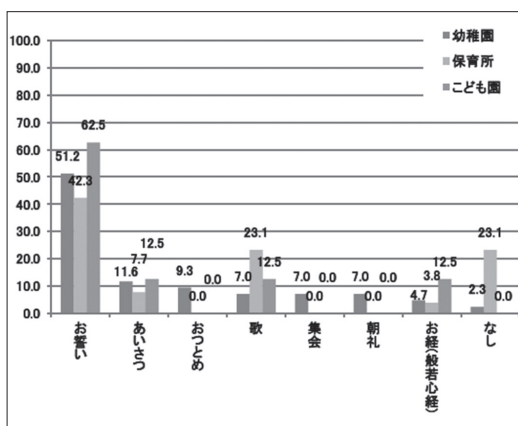
⑤朝夕のお唱え（お誓い）

幼稚園、保育所、こども園における「朝夕のお唱え（お誓い）」について、これはほとんど

の園において実施されている。その中では各園独自のお唱え（お誓い）、歌、お経等の実践が見られる。そこでこの「朝夕のお唱え（お誓い）」についてその内容を分類すると次のようになる。

分類	幼稚園	保育所	こども園
お誓い	22 (51.2%)	11 (42.3%)	5 (62.5%)
あいさつ	5 (11.6%)	2 (7.7%)	1 (12.5%)
おつとめ	4 (9.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
歌	3 (7.0%)	6 (23.1%)	1 (12.5%)
集会	3 (7.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
朝礼	3 (7.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
お経(般若心経)	2 (4.7%)	1 (3.8%)	1 (12.5%)
なし	1 (2.3%)	6 (23.1%)	0 (0.0%)

[幼稚園 52園 回答 43園・保育所 32園 回答 26園・こども園 10園 回答 8園]



【「朝夕のお唱え（お誓い）」の主テーマによる分類表の表・グラフ】

各園において、「お誓い」を実践している園は38園（49.4%）で、その中で「独自のお唱え（お誓い）」を唱える園は30園（39.0%）、「仏、各宗の真言」を唱える園は6園（7.8%）、「六波羅蜜」を唱える園は2園（2.6%）である。「あいさつ」を実践している園は8園（10.4%）で、「おしゃかさまおはようございます」等の「あいさつ」を実践している。「おつとめ」を実践している園は4園（5.2%）で、お祈りをして仏様、ご先祖様に感謝し、一日の無事を願っている。「歌」を実践している園は10園（13.0%）で、

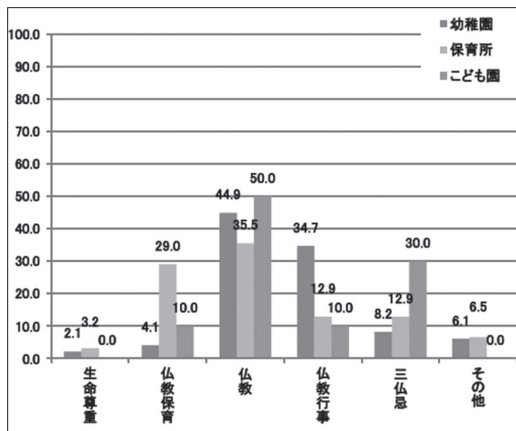
仏教讃歌を歌い一日を始めている。「集会」を実践している園は3園（3.9%）で、全園児がホール、園庭等に集まり仏さまに手を合わせ、園長先生等のお話を聞いている。「朝礼」を実践している園は3園（3.9%）で、朝礼の中で三帰・三竟・十善戒等の各宗派のお唱えを唱えている。「お経（般若心経）」を実践している園は4園（5.2%）で、般若心経の読経を行っている。「なし」の「朝夕のお唱え（お誓い）」を実施していない園は7園（9.1%）である。

3. 宗教教育について

幼稚園、保育所、こども園における「宗教教育」について、ほとんどの園においてその「宗教教育」の実践が報告されている。その内容は多岐にわたり、それぞれの園において、その実践内容も異なるものであり、仏教の中心思想である生命尊重に基づいた宗教教育、仏教保育を保育主体とする「宗教教育」、各園の設立母体となる寺院を中心に実践される「宗教教育」、年間の仏教行事を通じた「宗教教育」、三仏忌を中心とした「宗教教育」等、それぞれの園の教育・保育方針に基づいた「宗教教育」の実践がなされているものである。その中で各園の「宗教教育」を主テーマによる分類を試みると次のようになる。

分類	幼稚園	保育所	こども園
生命尊重	1 (2.1%)	1 (3.2%)	0 (0.0%)
仏教保育	2 (4.1%)	9 (29.0%)	1 (10.0%)
仏教	22 (44.9%)	11 (35.5%)	5 (50.0%)
仏教行事	17 (34.7%)	4 (12.9%)	1 (10.0%)
三仏忌	4 (8.2%)	4 (12.9%)	3 (30.0%)
その他	3 (6.1%)	2 (6.5%)	0 (0.0%)

[幼稚園 52園 回答 49園・保育所 32園 回答 31園・こども園 10園 回答 10園]



【「宗教教育」の分類表の表・グラフ】

各園において、「生命尊重」を実践している園は2園（2.2%）で、生命尊重、心の教育を大切に命の尊さを子どもたちに伝えることを「宗教教育」の中心としている。「仏教保育」を実践している園は12園（13.3%）で、仏教保育を保育主体として、命の大切さ、おもいやりの心、感謝の心、正しい道徳性の芽生えを育む保育を実践し「宗教教育」の中心としている。「仏教」を実践している園は38園（42.2%）で、「お寺」を「宗教教育」の実践の場としている園は16園（17.8%）である。「手を合わせる（合掌）」を「宗教教育」の中心に取り入れている園は6園（6.7%）である。「坐禅・瞑想」を「宗教教育」の中心に取り入れている園は4園（4.4%）である。「歌」を「宗教教育」の中に取り入れている園は3園（3.3%）で、「ののさま」の歌を歌っている。「おつとめ」を実践している園は2園（2.2%）で、お寺の本堂においてお勤めを行い、集会を行っている。その他、「『般若心経』の読経」、「礼拝」、「仏教法話」、「仏教のビデオ・スライド・本・紙芝居」、「仏像の安置」等が挙げられている。「仏教行事」を実践している園は22園（24.4%）で、様々な仏教行事を通して仏教理解を促し、それぞれの行事の意味を伝えることによって仏教の説く命の尊さ等を子どもたちに伝えることを「宗教教育」の中心としている。「三仏忌」を実践している園は11園（12.2%）

で、「花まつり」・「成道会」・「涅槃会」の三仏忌について、園長先生の講和、パネルシアター、紙芝居、スライド等の教材を利用して、お釈迦様の教え、生き方を学んでいる。「その他」の園は5園（5.6%）で、朝・帰りのあいさつで「おしゃかさまおはようございます。さようなら。」等のあいさつを中心に「宗教教育」を実践している園は2園（2.2%）である。その他、「宗教教育」の導入が少なくなってきた園が1園（1.1%）、そして現在は「宗教教育」を実践していない園が2園（2.2%）である。

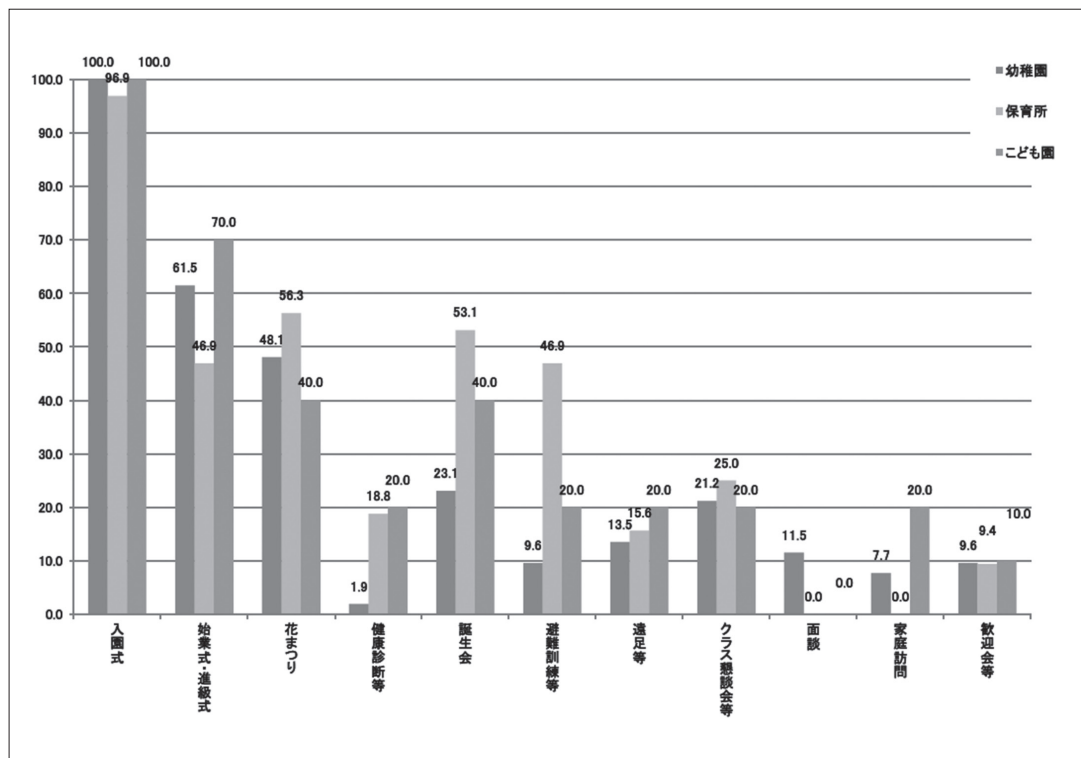
4. 年間行事について

①年間行事

幼稚園、保育所、こども園における「年間行事」は、それぞれの園の教育・保育方針に基づいて様々な、特色のある行事が設定されている。そして各園独自の行事を通して、各園の教育・保育目標を達成すべく多くの行事が展開されている。「行事が子どもを育てる」と言われるように、数多くの行事が行われているものである。その各園の「年間行事」の分類を試みると次のようになる。今回の「年間行事」の分類は、各園ともに「年間行事」の数がとても多く、月単位で分類する。そして、各園ごとに共通の行事が多い順に分類している。ただし今回は、仏教保育を実践している園の仏教行事を中心にした調査であり、特に仏教行事の抽出を前提としている。そして「その他」の欄に各園から寄せられた全ての行事を記載しているものである。

【幼稚園 52園 回答52園・保育所 32園 回答32園・こども園 10園 回答10園】

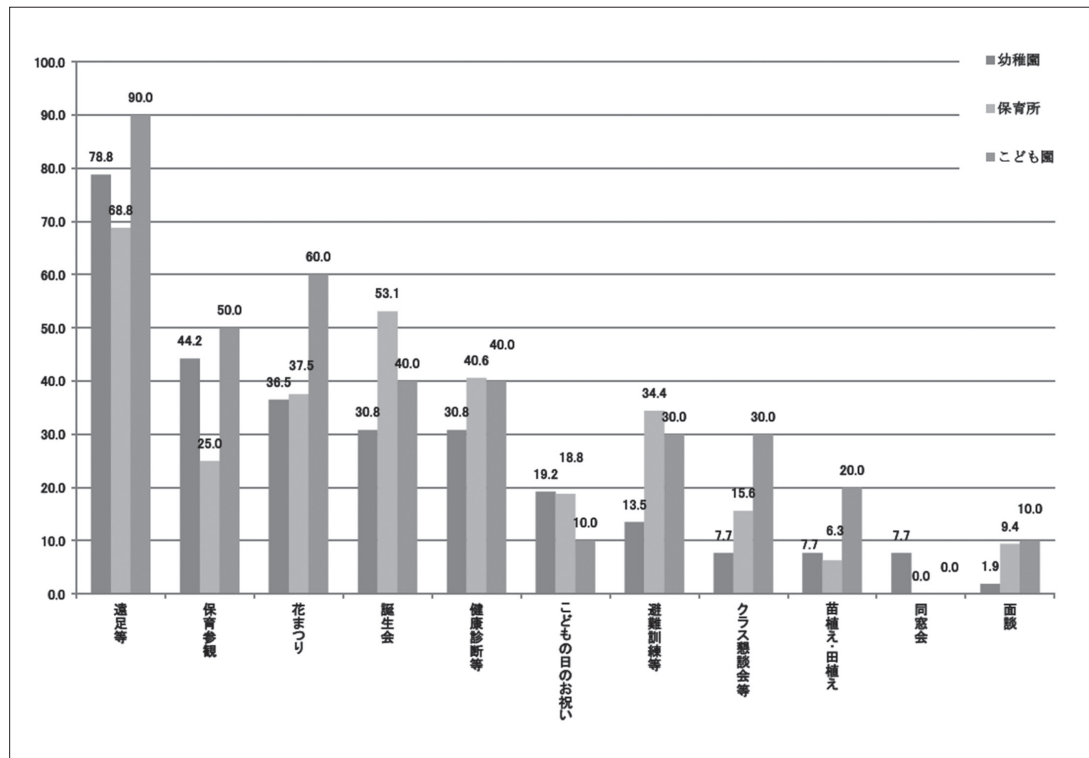
4月	入園式	①始業式 ②進級式	花まつり	①健康診断 ②内科検診 ③歯科検診 ④身体検査 ⑤身体測定 ⑥蛔虫検査 ⑦視力検査	誕生会	①避難訓練 ②防災訓練 ③消火訓練 ④不審者対策 ⑤引きとり訓練 ⑥感染症対策	①遠足 ②園外保育 ③社会見学 ④芋ほり遠足 ⑤お別れ遠足 ⑥その他	①クラス懇談会 ②総会 ③保護者会	面談	家庭訪問	①歓迎会 ②交流会 ③対面式	その他
幼稚園	52(100%)	32(61.5%) ① 24 ② 08	25(48.1%)	1(1.9%) ⑤ 1	12(23.1%)	5(9.6%) ① 3 ⑤ 2	7(13.5%) ① 6 ② 1	11(21.2%) ① 6 ② 5	6(11.5%)	4(7.7%)	5(9.6%) ① 1 ② 2 ③ 2	創立記念日 2 入園準備写真撮影 2 集会 1 老人ホーム慰問 1 鯉のぼり制作 2 交通指導 1
保育所	31(96.9%)	15(46.9%) ① 05 ② 10	18(56.3%)	6(18.8%) ⑤ 5	17(53.1%)	15(46.9%) ① 10 ② 1 ③ 2 ④ 2	5(15.6%) ① 5	8(25.0%) ② 3 ③ 5	0(0.0%)	0(0.0%)	3(9.4%) ① 1 ③ 2	創立記念日 2 まつり 2 クラス記念写真 1 体操教室 1 保育参観 1 給食参観 1 食育活動 1 和太鼓指導 1
こども園	10(100%)	7(70.0%) ① 6 ② 1	4(40.0%)	2(20.0%) ④ 1 ⑤ 1	4(40.0%)	2(20.0%) ① 1 ⑤ 1	2(20.0%) ① 2	2(20.0%) ① 1 ② 1	0(0.0%)	2(20.0%)	1(10.0%) ③ 1	創立記念日 3
合計	93(98.9%)	54(57.4%)	47(50.0%)	9(9.6%)	33(35.1%)	22(23.4%)	13(13.8%)	21(22.3%)	6(6.4%)	6(6.4%)	9(9.6%)	



【4月の年間行事の表・グラフ】

【幼稚園 52園 回答52園・保育所 32園 回答32園・こども園 10園 回答10園】

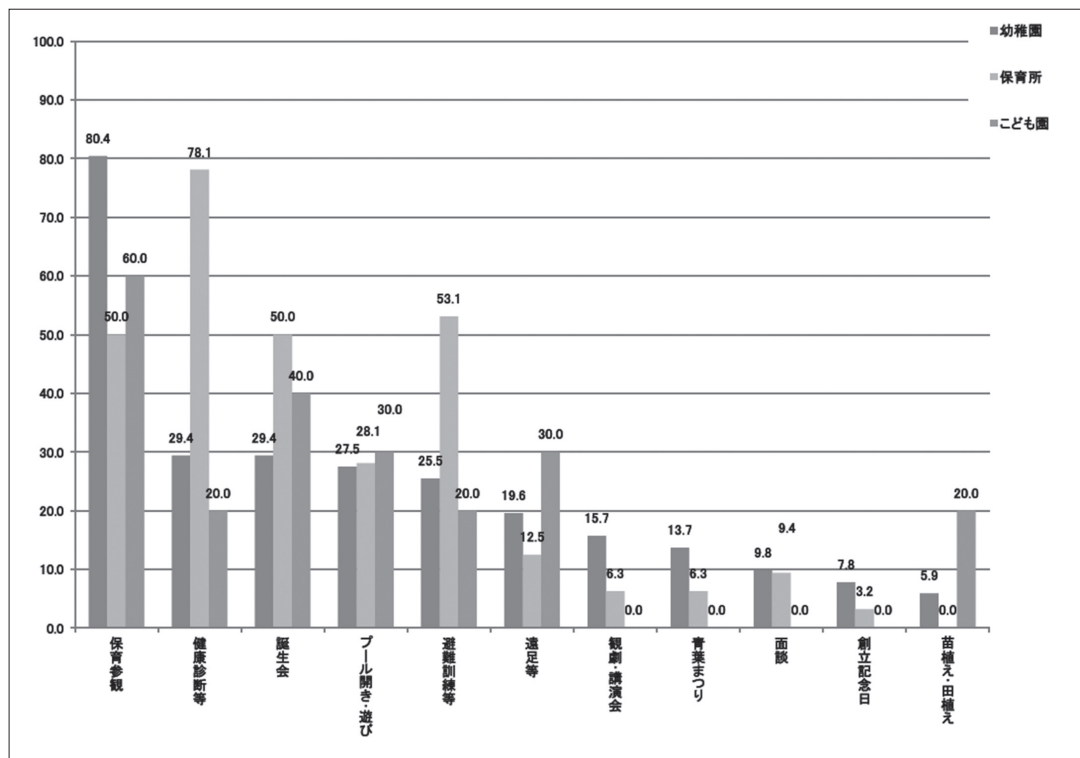
5月	①遠足 ②園外保育 ③社会見学 ④芋ほり遠足 ⑤お別れ遠足 ⑥その他	保育参観	花まつり	誕生会	①健康診断 ②内科検診 ③歯科検診 ④身体検査 ⑤身体測定 ⑥蛭虫検査 ⑦視力検査	こどもの日のお祝い	①避難訓練 ②防災訓練 ③消火訓練 ④不審者対策 ⑤引きとり訓練 ⑥感染症対策	①クラス懇談会 ②総会 ③保護者会	苗植え 田植え	同窓会	面談	その他
幼稚園	41 (78.8%) ① 37 ② 3 ③ 1	23 (44.2%)	19 (36.5%)	16 (30.8%)	16 (30.8%) ① 7 ② 8 ③ 3 ④ 1 (7)	10 (19.2%)	7 (13.5%) ① 6 ② 2 ④ 1	4 (7.7%) ① 1 ② 1 ③ 1	4 (7.7%)	4 (7.7%)	1 (1.9%)	おまじり3 レクリエーション1 集会1 鯉のぼり会1 焼きそばパーティー1 スポーツテスト1 創立記念日1 衣替え1 園庭奥物狩り1 おまつり1 わくわくひろば1 にこにこランド1 慰霊祭1 家庭訪問1 交通安全教室1
保育所	22 (68.8%) ① 20 ② 1 ⑥ 1	8 (25.0%)	12 (37.5%)	17 (53.1%)	13 (40.6%) ① 2 ② 5 ③ 3 ⑤ 5 ⑥ 1	6 (18.8%)	11 (34.4%) ① 9 ② 1 ③ 2 ④ 2 ⑤ 2	5 (15.6%) ① 2 ② 1 ③ 3	2 (6.3%)	0 (0.0%)	3 (9.4%)	家庭訪問1 一日園長先生1 交通安全教室1 和太鼓指導1 感染対策1 創立記念日1 体操教室1 食育活動1 記念撮影1
こども園	9 (90.0%)	5 (50.0%)	6 (60.0%)	4 (40.0%)	4 (40.0%) ② 3 ③ 2 ⑤ 2	1 (10.0%)	3 (30.0%) ① 2 ③ 1	3 (30.0%) ① 1 ② 1 ③ 1	2 (20.0%)	0 (0.0%)	1 (10.0%)	親子観劇1 家庭訪問1 交通安全教室1 高齢者交流会1
合計	72 (76.6%)	36 (38.3%)	37 (39.4%)	37 (39.4%)	33 (35.1%)	17 (18.1%)	21 (22.3%)	12 (12.8%)	8 (8.5%)	4 (4.3%)	5 (5.3%)	



【5月の年間行事の表・グラフ】

【幼稚園 52園 回答51園・保育所 32園 回答32園・こども園 10園 回答10園】

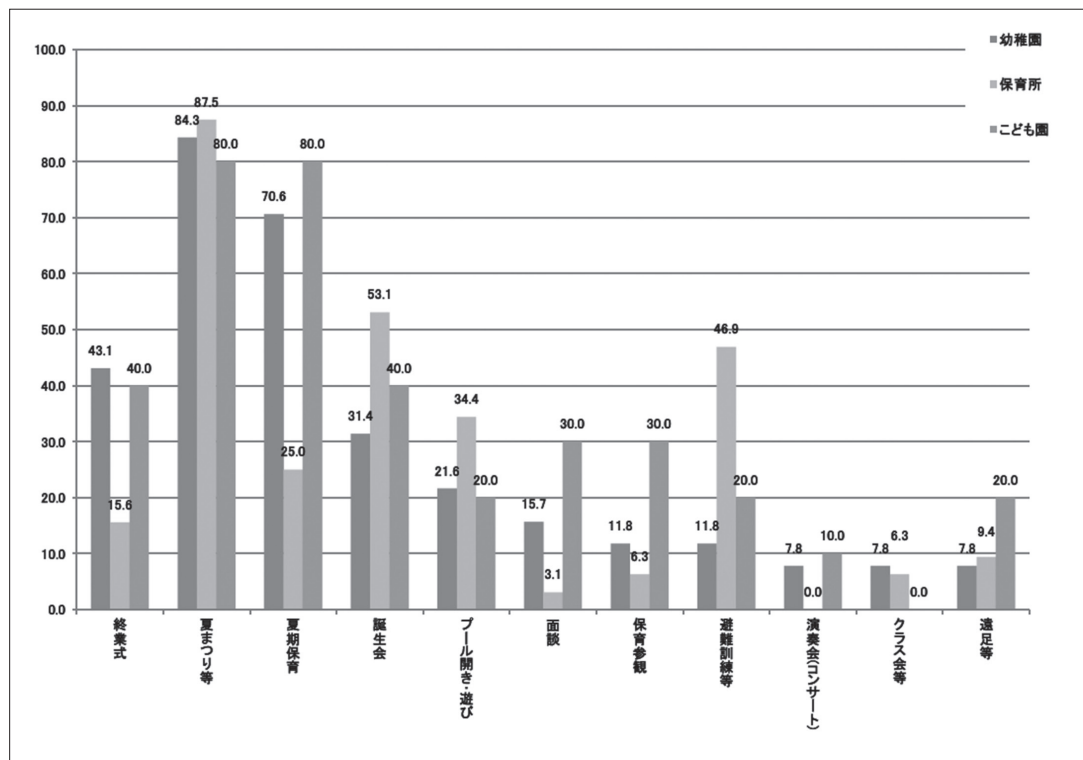
6月	保育参観	健康診断 ①内科検診 ②歯科検診 ③身体検査 ④身体測定 ⑤蛔虫検査 ⑦視力検査	誕生会	プール開き プール遊び	①避難訓練 ②防災訓練 ③消火訓練 ④不審者対策 ⑤引きとり訓練 ⑥感染症対策	①遠足 ②園外保育 ③社会見学 ④芋ほり遠足 ⑤お別れ遠足 ⑥その他	観劇 講演会	青葉まつり	面談	創立記念日	苗植え 田植え	その他
幼稚園	41(80.4%)	15(29.4%) ① 4 ② 5 ③ 20 ⑤ 1	15(29.4%)	14(27.5%)	13(25.5%) ① 12 ④ 1	10(19.6%) ① 4 ② 1 ④ 5	8(15.7%)	7(13.7%)	5(9.8%)	4(7.8%)	3(5.9%)	衣がえ3 お参り2 同窓会2 お泊り保育2 交通安全指導2 おもちゃ供養1 お地藏様祭り1 總持寺参拝1 もみじまつり1 集会1 カレーパーティー1 時計屋さんっこ1 バザー1 給食バイキング1 時の記念日1
保育所	16(50.0%)	25(78.1%) ② 6 ③ 14 ⑤ 5	16(50.0%)	9(28.1%)	17(53.1%) ① 9 ② 2 ③ 2 ④ 3 ⑤ 1	4(12.5%) ① 2 ② 1 ④ 1	2(6.3%)	2(6.3%)	3(9.4%)	1(3.2%)	0(0.0%)	生かせ命の式2 時の記念日2 ののさまの白1 梅もぎ1 愛のお弁当1 小運動会1 体操教室1 和太鼓指導1 ずもう大会1 お泊り保育1 食育活動1 クッキー作り1 衣がえ1 交通安全指導1
こども園	6(60.0%)	2(20.0%) ③ 1 ④ 1	4(40.0%)	3(30.0%)	2(20.0%) ① 1 ③ 1	3(30.0%) ④ 2 ⑥ 1	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	2(20.0%)	あずままつり1 ポニーと遊ぼう会1 運動会1 宿泊保育1 保育園と合同保育1 サマーコンサート1 クッキングパーティー1 交通安全教室1
合計	63(67.7%)	42(45.2%)	35(37.6%)	26(28.0%)	32(34.4%)	17(18.3%)	10(10.8%)	9(9.7%)	8(8.6%)	5(5.4%)	5(5.4%)	



【6月の年間行事の表・グラフ】

【幼稚園 52園 回答51園・保育所 32園 回答32園・こども園 10園 回答10園】

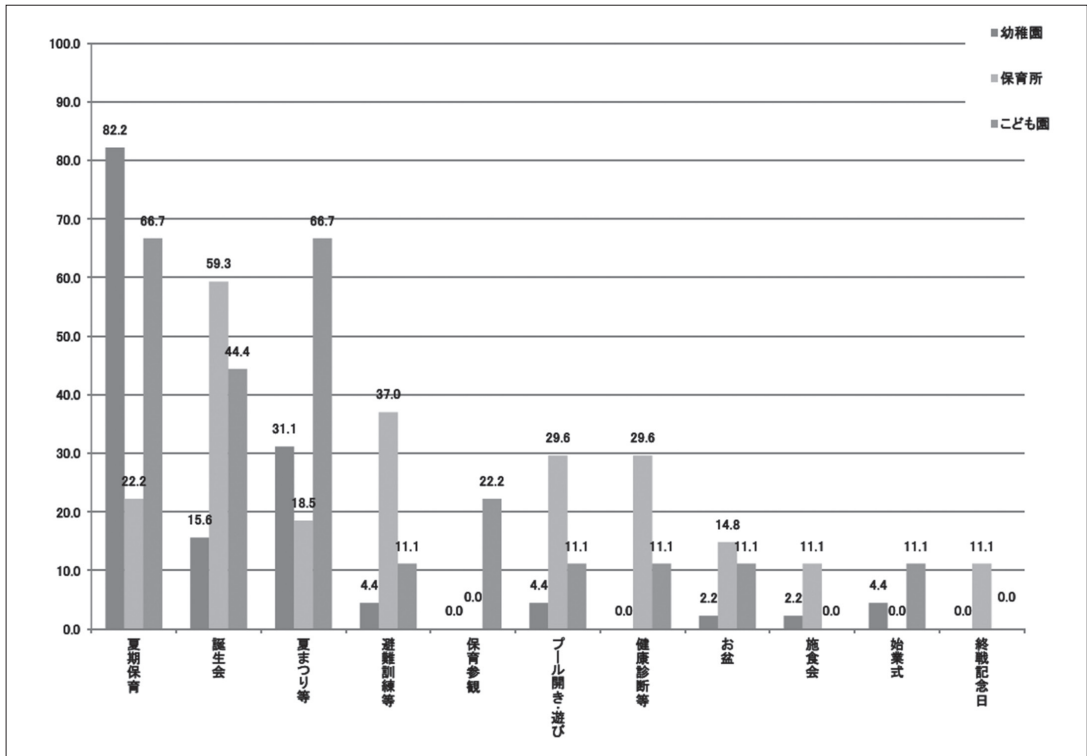
7月	終業式	①夏まつり ②みたままつり ③七夕まつり ④盆踊り ⑤夕涼み会 ⑥その他	夏期保育	誕生会	プール開き プール遊び	面談	保育参観	①避難訓練 ②防災訓練 ③消火訓練 ④不審者対策 ⑤引きとり訓練 ⑥感染症対策	演奏会 (コンサート)	①クラス懇談会 ②総会 ③保護者会	①遠足 ②園外保育 ③社会見学 ④芋ほり遠足 ⑤お別れ遠足 ⑥その他	その他
幼稚園	22 (43.1%)	43 (84.3%) ① 14 ② 16 ③ 27 ④ 9	36 (70.6%)	16 (31.4%)	11 (21.6%)	8 (15.7%)	6 (11.8%)	6 (11.8%) ① 4 ② 2	4 (7.8%)	4 (7.8%) ① 1 ③ 3	4 (7.8%) ② 1 ④ 3	おゆうぎ会 2 すいか割り 2 施設見学会 2 交通安全教室 1 昇天焚き 1 お楽しみ会 1 開園記念日 1 集会 1 流しそうめん 1 お昼やさんごっこ 1 入園説明会 1 お盆参拝 1
保育所	5 (15.6%)	28 (87.5%) ① 8 ② 10 ③ 18 ④ 6 ⑤ 4 ⑥ 4	8 (25.0%)	17 (53.1%)	11 (34.4%)	1 (3.1%)	2 (6.3%)	15 (46.9%) ① 9 ② 1 ③ 2 ④ 2 ⑤ 1	0 (0.0%)	2 (6.3%) ① 2	3 (9.4%) ⑥ 3	身体測定 6 生活発表会 1 体操教室 1 歯みがき教室 1 ののさまの日 1 和太鼓指導 1 食育活動 1 川あそび 1 観音様お施食会 1
こども園	4 (40.0%)	8 (80.0%) ① 1 ② 1 ③ 6	8 (80.0%)	4 (40.0%)	2 (20.0%)	3 (30.0%)	3 (30.0%)	2 (20.0%) ① 1 ③ 1	1 (10.0%)	0 (0.0%)	2 (20.0%) ④ 2	身体測定 1 すいか割り 1 卒園児の集い 1 交通安全教室 1
合計	31 (33.3%)	79 (85.0%)	52 (55.9%)	37 (39.8%)	24 (25.8%)	12 (12.9%)	11 (11.8%)	23 (24.7%)	5 (5.4%)	6 (6.5%)	9 (9.7%)	



【7月の年間行事の表・グラフ】

【幼稚園 52園 回答45園・保育所 32園 回答27園・こども園 10園 回答9園】

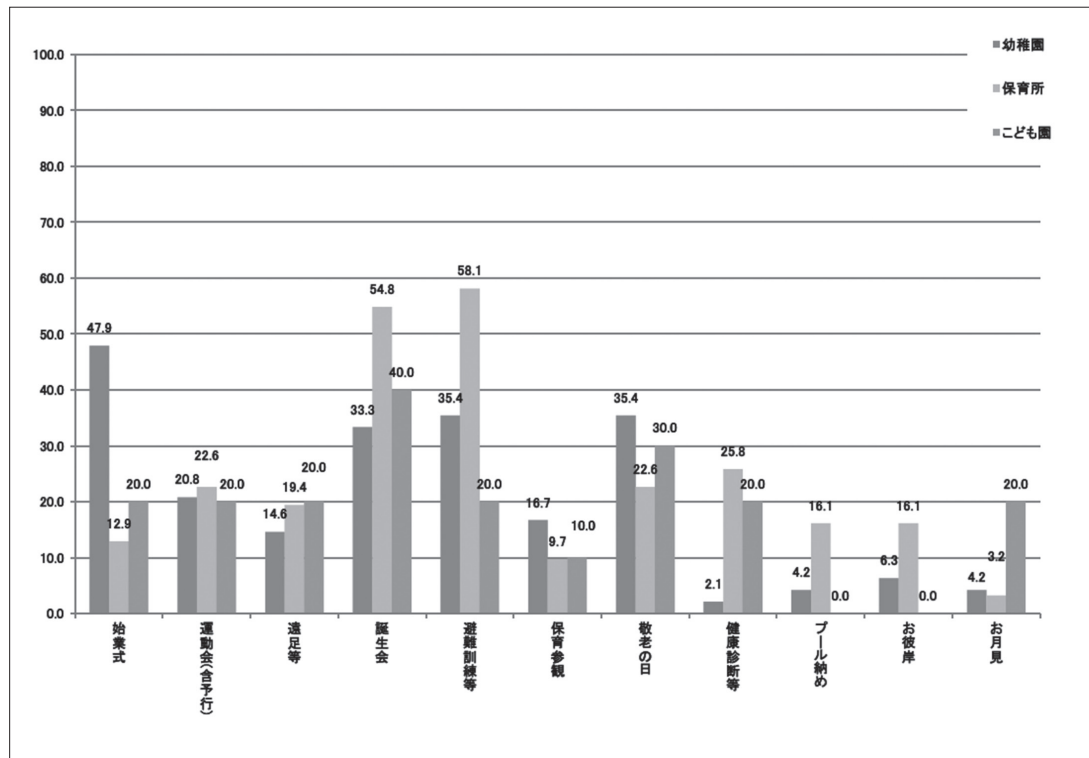
8月	夏期保育	誕生会	①夏まつり ②みたままつり ③七夕まつり ④盆踊り ⑤夕涼み会 ⑥その他	①避難訓練 ②防災訓練 ③消火訓練 ④不審者対策 ⑤引きとり訓練 ⑥感染症対策	保育参観	プール開き プール遊び	①健康診断 ②内科検診 ③歯科検診 ④身体検査 ⑤身体測定 ⑥蛔虫検査 ⑦視力検査	お盆	施食会	始業式	終戦記念日	その他
幼稚園	37(82.2%)	7(15.6%)	14(31.1%) ① 7 ④ 6 ⑤ 1	2(4.4%) ① 1 ② 1	0(0.0%)	2(4.4%)	0(0.0%)	1(2.2%)	1(2.2%)	2(4.4%)	0(0.0%)	お楽しみ会 1 キャンプファイヤー 1 集会 1 大掃除 1
保育所	6(22.2%)	16(59.3%)	5(18.5%) ① 2 ② 1 ⑤ 1 ⑥ 1	10(37.0%) ① 9 ② 1 ③ 2 ④ 2	0(0.0%)	8(29.6%)	8(29.6%) ② 2 ⑤ 6	4(14.8%)	3(11.1%)	0(0.0%)	3(11.1%)	調理体験 1 食育活動 1 花火 1 和太鼓指導 1 体操教室 1 せみとり 1 ずいかわり 1 どじょうつかみ 1 流しそめん 1 ポティーペインティング 1
こども園	6(66.7%)	4(44.4%)	6(66.7%) ② 1 ④ 2 ⑤ 2 ⑥ 1	1(11.1%) ① 1	2(22.2%)	1(11.1%)	1(11.1%) ⑤ 1	1(11.1%)	0(0.0%)	1(11.1%)	0(0.0%)	保育園との連携保育実習 1
合計	49(60.5%)	27(33.3%)	25(30.9%)	13(16.1%)	2(2.5%)	11(13.6%)	9(11.1%)	6(7.4%)	4(4.9%)	3(3.7%)	3(3.7%)	



【8月の年間行事の表・グラフ】

【幼稚園 52園 回答48園・保育所 32園 回答31園・こども園 10園 回答10園】

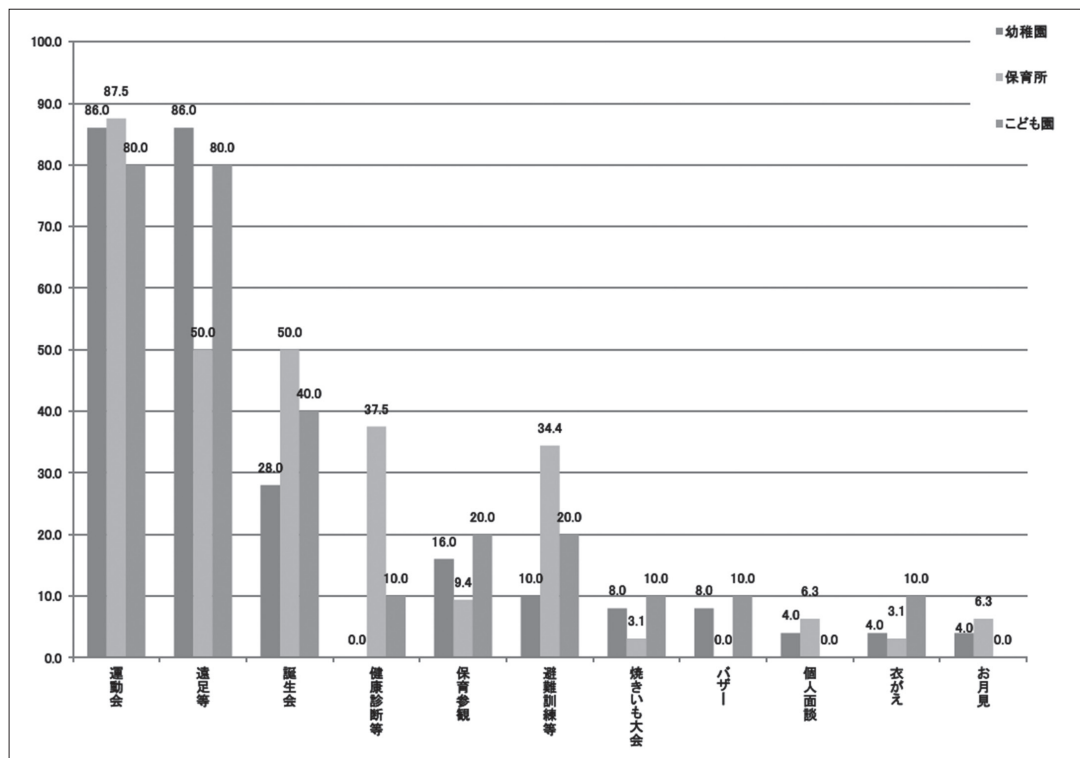
9月	始業式	運動会 (含予行)	①遠足 ②園外保育 ③社会見学 ④芋ほり遠足 ⑤お別れ遠足 ⑥その他	誕生会	①避難訓練 ②防災訓練 ③消火訓練 ④不審者対策 ⑤引きとり訓練	保育参観	敬老の日	①健康診断 ②内科検診 ③歯科検診 ④身体検査 ⑤身体測定 ⑥蛭虫検査 ⑦視力検査	プール納め	お彼岸	お月見	その他
幼稚園	23 (47.9%)	10 (20.8%)	7 (14.6%) ① 5 ② 1 ③ 2	16 (33.3%)	17 (35.4%) ① 11 ② 1 ③ 4 ④ 1 ⑤ 5	8 (16.7%)	17 (35.4%)	1 (2.1%) ⑤ 1	2 (4.2%)	3 (6.3%)	2 (4.2%)	入園説明会 2 懇親会 2 千灯供養 1 夏休み作品展 1 稲刈り 1 秋まつり 1 金魚すくい 1 集会 1 総持寺参拝 1 さくら会祭り 1 おじぞうまつり 1 追善記念日 1 保護者会 1 クラス懇談会 1
保育所	4 (12.9%)	7 (22.6%)	6 (19.4%) ① 5 ③ 1	17 (54.8%)	18 (58.1%) ① 9 ② 2 ③ 3 ④ 4 ⑤ 7	3 (9.7%)	7 (22.6%)	8 (25.8%) ① 2 ⑤ 6	5 (16.1%)	5 (16.1%)	1 (3.2%)	保護者会 1 個人面談 2 感染症対策 1 和太鼓指導 1 給食試食会 1 体操教室 1 食育活動 1 観劇 1 アイサーブ訪問 1
こども園	2 (20.0%)	2 (20.0%)	2 (20.0%) ① 2	4 (40.0%)	2 (20.0%) ① 1 ③ 1	1 (10.0%)	3 (30.0%)	2 (20.0%) ⑤ 2	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (20.0%)	もみじまつり 1 入園説明会 1 ハーベキューパーティー 1 稲刈り 1
合計	29 (32.6%)	19 (21.3%)	15 (16.9%)	37 (41.6%)	37 (41.6%)	12 (13.5%)	27 (30.3%)	11 (12.4%)	7 (7.9%)	8 (9.0%)	5 (5.6%)	



【9月の年間行事の表・グラフ】

【幼稚園 52園 回答50園・保育所 32園 回答32園・こども園 10園 回答10園】

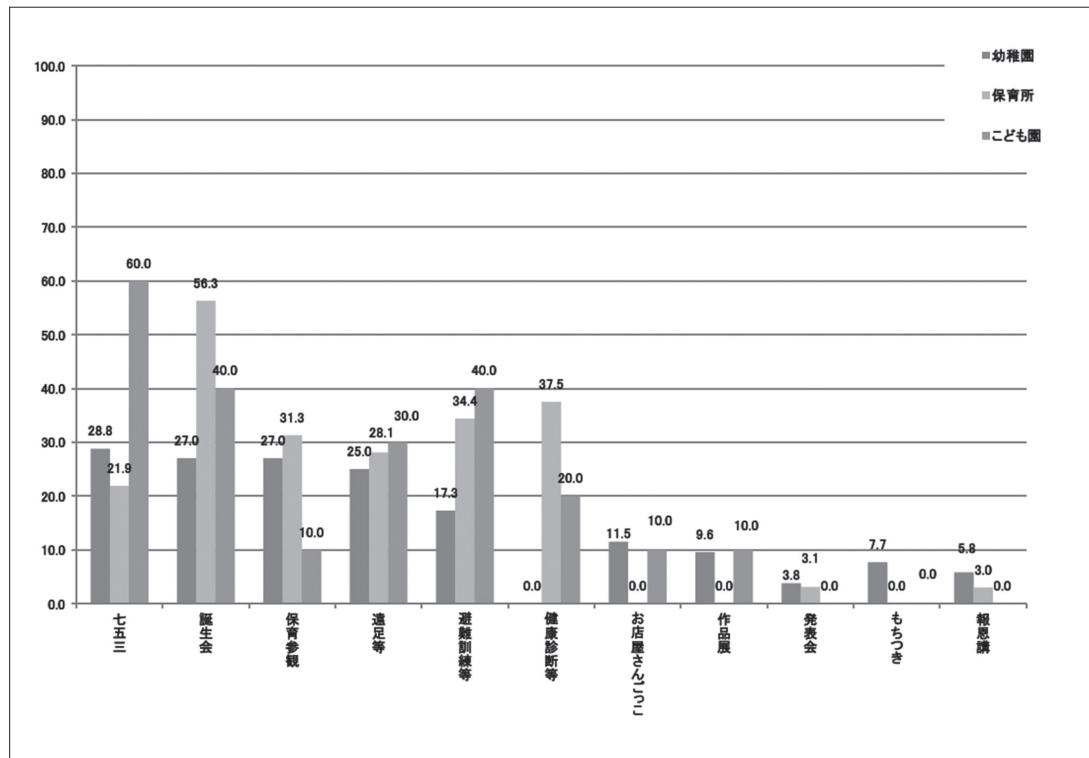
10月	運動会	①遠足 ②園外保育 ③社会見学 ④芋ほり遠足 ⑤お別れ遠足 ⑥その他	誕生会	①健康診断 ②内科検診 ③歯科検診 ④身体検査 ⑤身体測定 ⑥蛔虫検査 ⑦視力検査	保育参観	①避難訓練 ②防災訓練 ③消火訓練 ④不審者対策 ⑤引きとり訓練	焼きいも大会	バザー	個人面談	衣がえ	お月見	その他
幼稚園	43(86.0%)	43(86.0%) ① 23 ② 6 ④ 22 ⑥ 2	14(28.0%)	0(0.0%)	8(16.0%)	5(10.0%) ① 5	4(8.0%)	4(8.0%)	2(4.0%)	2(4.0%)	2(4.0%)	願書配布3 カレーパーティー2 集会1 清掃活動1 お店屋さんごっこ1 プール教室1 おゆうぎ会 衣装作り1 懇談会1 月影祭り1 保護者会1 五重塔写生1 お参り1 おぼりパーティー1 クリーン運動1 ハロウィンパーティー1 スポーツテスト1 作法教室1 卒業写真撮影1 就学前検診1 写経供養会1 交通安全教室2
保育所	28(87.5%)	16(50.0%) ① 9 ② 1 ④ 11 ⑥ 1	16(50.0%)	12(37.5%) ① 1 ② 4 ③ 1 ⑥ 6	3(9.4%)	11(34.4%) ① 9 ② 2 ③ 2 ④ 2	1(3.1%)	0(0.0%)	2(6.3%)	1(3.1%)	2(6.3%)	ハロウィンパーティー3 地域交流会3 愛のお弁当1 おすもふ大会1 交通安全教室1 ののさまの日1 食育活動1 作品展1 和太鼓指導1 人形劇鑑賞1 保護者会1 体操教室1 お祭り保育1 福祉まつり1 共同募金1 開園記念日1 小学校運動会参加1 移動動物園1
こども園	8(80.0%)	8(80.0%) ① 4 ② 1 ④ 6 ⑥ 1	4(40.0%)	1(10.0%) ④ 1	2(20.0%)	2(20.0%) ① 1 ③ 1	1(10.0%)	1(10.0%)	0(0.0%)	1(10.0%)	0(0.0%)	入園受付1 マナーガイド作成が1 入園案内説明会1
合計	79(85.9%)	67(72.8%)	34(37.0%)	13(14.1%)	13(14.1%)	18(19.6%)	6(6.5%)	5(5.4%)	4(4.3%)	4(4.3%)	4(4.3%)	



【10月の年間行事の表・グラフ】

【幼稚園 52園 回答52園・保育所 32園 回答32園・こども園 10園 回答10園】

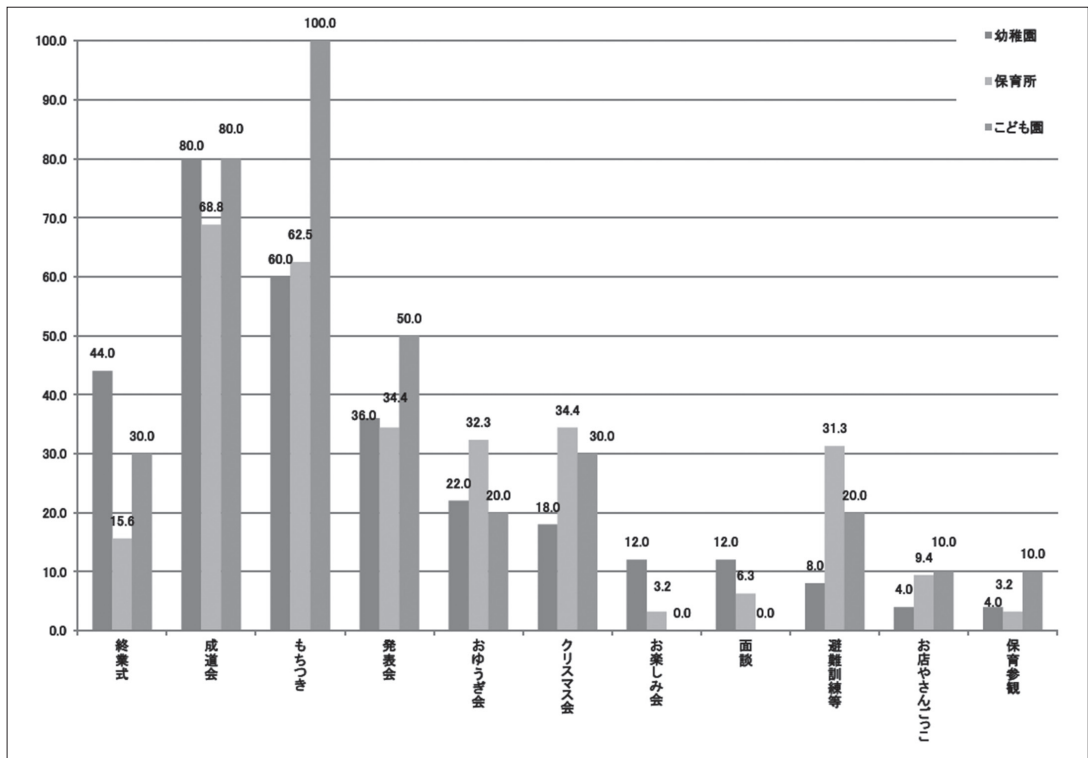
11月	七五三	誕生会	保育参観	①遠足 ②園外保育 ③社会見学 ④手ほり遠足 ⑤お別れ遠足 ⑥その他	①避難訓練 ②防災訓練 ③消火訓練 ④不審者対策 ⑤引きとり訓練	①健康診断 ②内科検診 ③歯科検診 ④身体検査 ⑤身体測定 ⑥蛔虫検査 ⑦視力検査	お店屋さんごっこ	作品展	発表会	もちつき	報恩講	その他
幼稚園	15 (28.8%)	14 (27.0%)	14 (27.0%)	13 (25.0%) ① 3 ② 3 ③ 2 ④ 2 ⑤ 5	9 (17.3%) ① 7 ② 3 ③ 1 ④ 1	0 (0.0%)	6 (11.5%)	5 (9.6%)	2 (3.8%)	4 (7.7%)	3 (5.8%)	願書受付 5 観劇会 4 やきいも会 3 保護者会 2 文化祭 1 おゆき会実行練習 1 プール教室 1 サッカー大会 1 感謝の集い 1 お楽しみ会 1 キウイ祭り 1 勤労感謝訪問 1 お参り 1 地蔵供養 1 十夜法要 1 給食ハイキング 1 移動動物園 1 如意輪祭 1
保育所	7 (21.9%)	18 (56.3%)	10 (31.3%)	9 (28.1%) ① 3 ② 2 ③ 2 ④ 1 ⑤ 2	11 (34.4%) ① 9 ② 2 ③ 2 ④ 4 ⑤ 1	12 (37.5%) ② 3 ③ 4 ⑤ 5	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (3.1%)	0 (0.0%)	2 (6.3%)	お会式 3 お会式遠夜 1 やきいもパーティー 2 ありがとうの日 2 勤労感謝の日 1 マラソン大会 1 ののさまの日 1 落ち葉拾い 1 クッキー作り 1 大掃除 1 敬老会 1 感染症対策 1 個人面談 1 十夜会収権祭 1 観劇 1
こども園	6 (60.0%)	4 (40.0%)	1 (10.0%)	3 (30.0%) ① 2 ② 2 ③ 1	4 (40.0%) ① 3 ③ 1	2 (20.0%) ⑤ 2	1 (10.0%)	1 (10.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	やきいも会 1 保育懇談会 1 高齢者支援事業 1 勤労感謝訪問 1 大根焼き 1 入園受付 1 クッキングパーティー 1
合計	28 (29.8%)	36 (38.3%)	25 (26.6%)	25 (26.6%)	24 (25.5%)	14 (14.9%)	7 (7.4%)	6 (6.4%)	3 (3.2%)	4 (4.3%)	5 (5.3%)	



【11月の年間行事の表・グラフ】

【幼稚園 52園 回答50園・保育所 32園 回答32園・こども園 10園 回答10園】

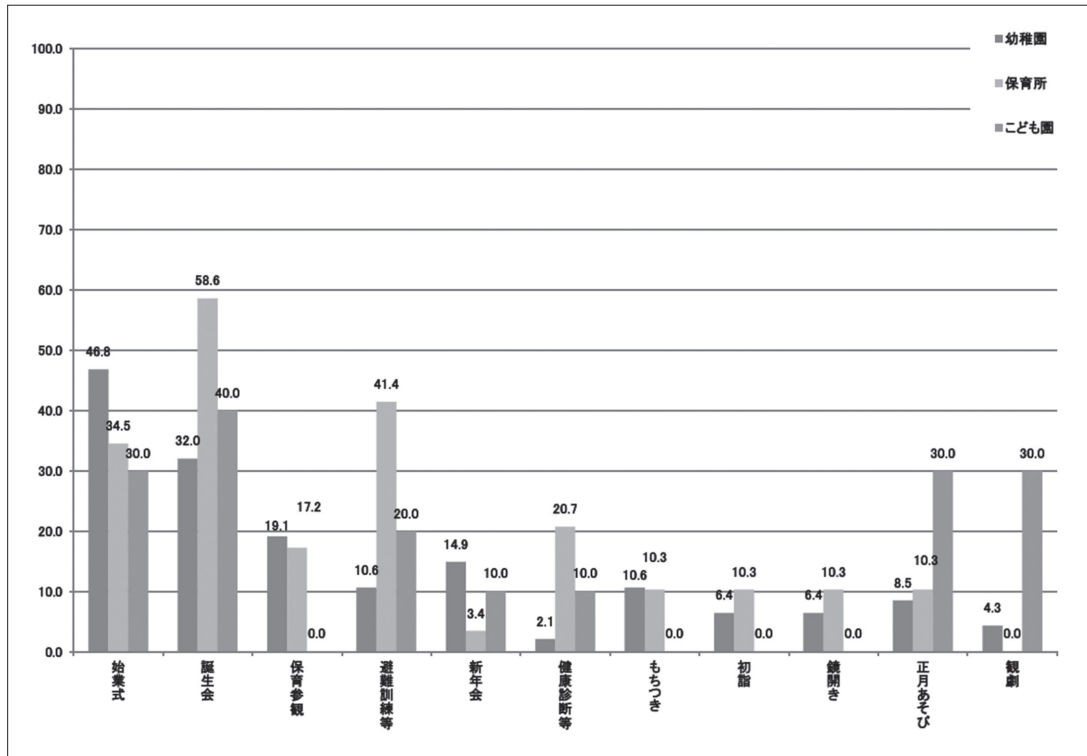
12月	終業式	成道会	もちつき	発表会	おゆうぎ会	クリスマス会	お楽しみ会	面談	①避難訓練 ②防災訓練 ③消火訓練 ④不審者対応 ⑤引きとり訓練	お店屋さんごっこ	保育参観	その他
幼稚園	22(44.0%)	40(80.0%)	30(60.0%)	18(36.0%)	11(22.0%)	15(35.7%)	6(12.0%)	6(12.0%)	4(8.0%) ① 4 ② 1 ③ 1 ④ 1	2(4.0%)	2(4.0%) 3	劇おそび 3 作品展 2 保護者会 2 冬の保育 2 ドッチボール大会 2 クラス懇談会 1 集会 1 施設見学 1 ふかしも 1 やきいも 1 大掃除 1 クッキー作り 1 観劇会 1 新入園児見学会 1 おまいり 1
保育所	5(15.6%)	22(68.8%)	20(62.5%)	11(34.4%)	10(32.3%)	14(45.2%)	1(3.2%)	2(6.3%)	10(31.3%) ① 9 ② 1 ③ 2 ④ 2	3(9.4%)	1(3.2%)	身体測定 5 クラス懇談会 1 観劇(人形劇) 1 和太鼓指導 1 風揚げ 1 バイキング 1 感染症対策 1 冬季保育 1 クッキー作り 1 ケーキ作り 1 妙見様の星まつり 1 食育活動 1 保育納め 1 冬至 1
こども園	3(30.0%)	8(80.0%)	10(100%)	5(50.0%)	2(20.0%)	2(20.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	2(20.0%) ① 1 ③ 1	1(10.0%)	1(10.0%)	身体測定 1 新入園児面接 1 老人福祉施設訪問 1 地域開放事業 1 どんぐり森のカーニバル 1
合計	30(32.6%)	70(76.1%)	60(65.2%)	34(37.0%)	23(25.0%)	31(33.7%)	7(7.6%)	8(8.7%)	16(17.4%)	6(6.5%)	4(4.3%)	



【12月の年間行事の表・グラフ】

【幼稚園 52園 回答47園・保育所 32園 回答29園・こども園 10園 回答10園】

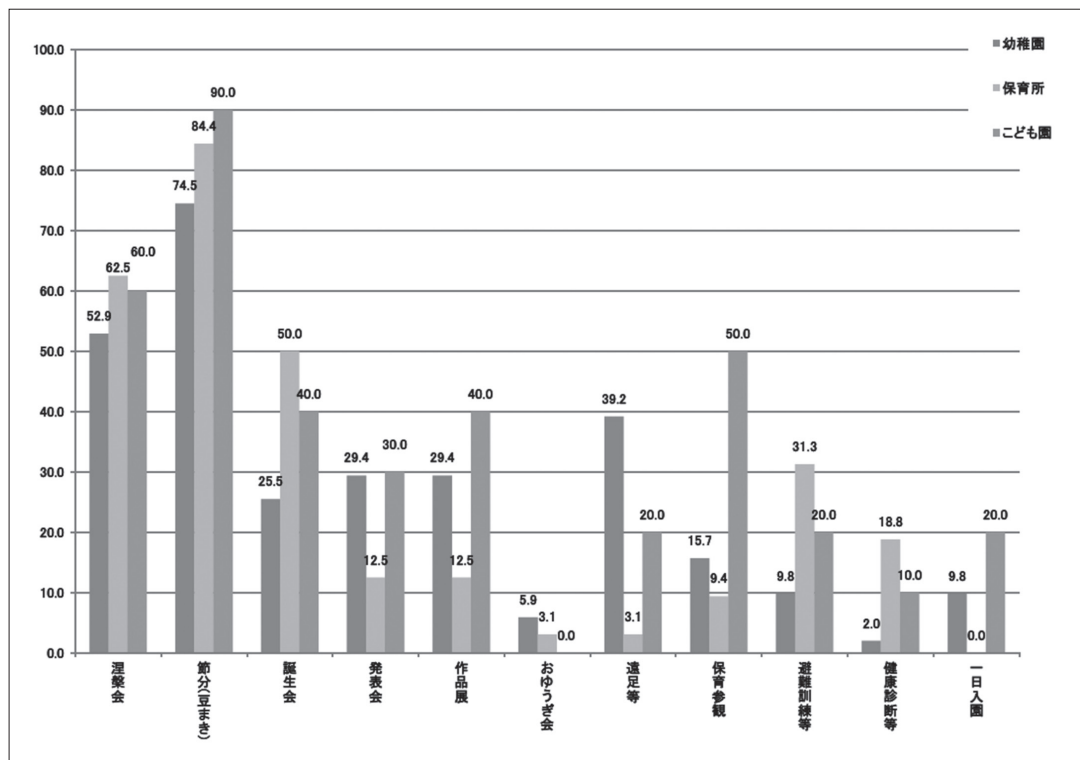
1月	始業式	誕生会	保育参観	①避難訓練 ②防災訓練 ③消火訓練 ④不審者対策 ⑤引きとり訓練	新年会	①健康診断 ②内科検診 ③歯科検診 ④身体検査 ⑤身体測定 ⑥蛔虫検査 ⑦視力検査	もちつき	初詣	鏡開き	正月あそび	観劇	その他
幼稚園	22(46.8%)	15(32.0%)	9(19.1%)	5(10.6%) ① 6 ② 1 ⑤ 1	7(14.9%)	1(2.1%) ⑦ 1	5(10.6%)	3(6.4%)	3(6.4%)	4(8.5%)	2(4.3%)	マラソン大会 4 作品展 2 保護者会 2 お楽しみ会 2 おやさんごっこ 2 郵便屋さんごっこ 2 創立記念日 2 交通安全教室 2 お泊り保育 1 トッチボール大会 1 消防見学 1 絵画展示 1 遊元祖誕生記念日 1 一日入園 1 なわとび大会 1 コンサート 1 法廷入園記念式 1 作法教室 1 初売り 1 移動動物園 1
保育所	10(34.5%)	17(58.6%)	5(17.2%)	12(41.4%) ① 10 ② 1 ③ 2 ④ 4	1(3.4%)	6(20.7%) ② 1 ⑤ 5	3(10.3%)	3(10.3%)	3(10.3%)	3(10.3%)	0(0.0%)	修正会 2 発表会 2 集会 1 ののさまの日 1 おゆうぎ会 1 和太鼓指導 1 お泊り保育 1 フラネタリウム 1 感染症対策 1 保育はしめ 1 音楽会 1 卒園児同窓会 1 懇談会 1 入園説明会 1 食育活動 1
こども園	3(30.0%)	4(40.0%)	0(0.0%)	2(20.0%) ① 1 ③ 1	1(10.0%)	1(10.0%) ⑤ 1	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	3(30.0%)	3(30.0%)	懇談会 2 なわとび大会 1 スキーそり教室 1 どんと焼き 1 高齢者交流事業 1
合計	35(40.7%)	36(41.9%)	14(16.3%)	19(22.1%)	9(10.5%)	8(9.3%)	8(9.3%)	6(7.0%)	6(7.0%)	10(11.6%)	5(5.8%)	



【1月の年間行事の表・グラフ】

【幼稚園 52園 回答51園・保育所 32園 回答32園・こども園 10園 回答10園】

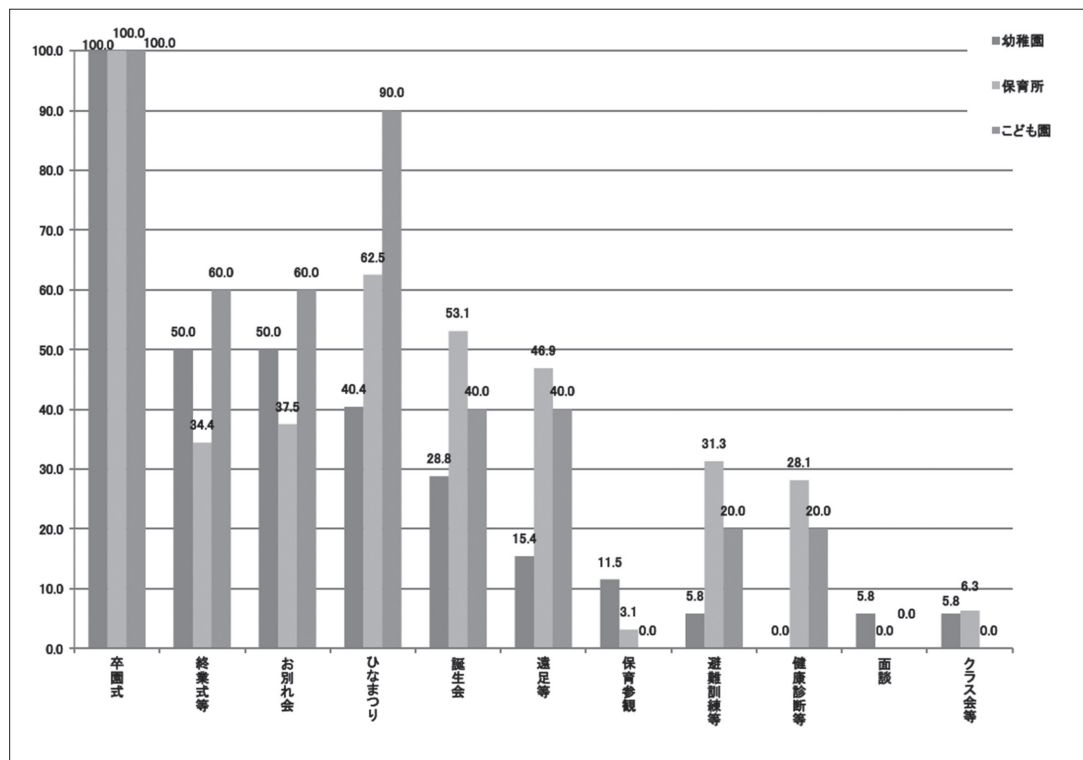
2月	涅槃会	節分(豆まき)	誕生会	発表会	作品展	おゆうぎ会	①遠足 ②園外保育 ③社会見学 ④芋ほり遠足 ⑤お別れ遠足 ⑥その他	保育参観	①避難訓練 ②防災訓練 ③消火訓練 ④不審者対策 ⑤引きとり訓練	①健康診断 ②内科検診 ③歯科検診 ④身体検査 ⑤身体測定 ⑥蛔虫検査 ⑦視力検査	一日入園	その他
幼稚園	30(68.2%)	38(74.5%)	13(25.5%)	15(29.4%)	15(29.4%)	3(5.9%)	20(39.2%) ② 2 ⑤ 18	8(15.7%)	5(9.8%) ① 4 ② 1 ③ 1 ④ 2	1(2.0%) ⑤ 1	5(9.8%)	お別れ会 4 園談 4 小学校見学 3 新入園児説明会 3 音楽会 2 卒園を祝う会 2 マラソン大会 2 じゃがいも植え 2 お店屋さんごっこ 2 懇談会 1 なわとび大会 1 ケーキ作り 1 卒園写真撮影 1 集会 1 若草まつり 1 お参り 1 初午 1 英語で遊ぼう 1 ドッジボール大会 1 観劇 1 お茶会 1 総持寺参拝 1 針供養 1
保育所	24(82.8%)	27(84.4%)	16(50.0%)	4(12.5%)	4(12.5%)	1(3.1%) ⑤ 1	1(3.1%) ⑤ 1	3(9.4%)	10(31.3%) ① 9 ② 1 ③ 2 ④ 2	6(18.8%) ⑤ 6	0(0.0%)	保護者会 3 降誕会 2 お店屋さんごっこ 2 マラソン大会 2 観劇 1 祖父母を招く会 1 記念写真撮影 1 ののきまの日 1 食育活動 1 和太鼓指導 1 ごっこ遊び 1 初午まつり 1 体操教室 1 こま大会 1 クッキー作り 1
こども園	6(60.0%)	9(90.0%)	4(40.0%)	3(30.0%)	4(40.0%)	0(0.0%)	2(20.0%) ⑤ 2	5(50.0%)	2(20.0%) ① 2	1(10.0%)	2(20.0%)	小学校見学 2 入園説明会 2 音楽会 1 ウインターズ クール 1 初午 1 高齢者支援事業 1
合計	60(72.3%)	74(79.6%)	33(35.5%)	22(23.7%)	23(24.7%)	4(4.3%)	23(24.7%)	16(17.2%)	17(18.3%)	8(8.6%)	7(7.5%)	



【2月の年間行事の表・グラフ】

【幼稚園 52園 回答52園・保育所 32園 回答32園・こども園 10園 回答10園】

3月	卒園式	①終業式 ②修了式 ③終了式 ④終園式 ⑤進級式	お別れ会	ひなまつり	誕生会	①遠足 ②園外保育 ③社会見学 ④芋ほり遠足 ⑤お別れ遠足 ⑥その他	保育参観	①避難訓練 ②防災訓練 ③消火訓練 ④不審者対応 ⑤引きとり訓練	①健康診断 ②内科検診 ③歯科検診 ④身体検査 ⑤身体測定 ⑥聴虫検査 ⑦視力検査	面談	①クラス懇談会 ②総会 ③保護者会	その他
幼稚園	52(100%)	26(50.0%) ① 5 ② 15 ③ 4 ④ 2 ⑤ 1	26(50.0%)	21(40.4%)	15(28.8%)	8(15.4%) ⑤ 8	6(11.5%)	3(5.8%) ① 3 ② 1 ③ 1 ④ 1	0(0.0%)	3(5.8%) ① 2 ③ 1	ドッチボール大会2 ボール遊び2 集会1 成田山御礼参拝1 親子全大会1 お参り1 示現会1 日本舞踊発表会1 会食1 謝恩会1 観劇1 じゃがいも種まき1 お店やさんごっこ1 表現遊び1 園児創作1 山上忌1 一日入園1	
保育所	32(100%)	11(34.4%) ② 11	12(37.5%)	20(62.5%)	17(53.1%)	15(46.9%) ⑤ 15	1(3.1%)	10(31.3%) ① 9 ② 1 ③ 2 ④ 3	9(28.1%) ① 2 ② 1 ⑤ 6	0(0.0%)	2(6.3%) ① 2	彼岸会3 入園説明会3 発表会2 愛のお弁当1 お茶会1 食育活動1 交通安全教室1 春季保育1 大きくなったお祝い会1 体操教室1 和太鼓指導1 ハイキング1
こども園	10(100%)	6(60.0%) ① 2 ② 3 ③ 1	6(60.0%)	9(90.0%)	4(40.0%)	4(40.0%) ⑤ 4	0(0.0%)	2(20.0%) ① 1 ② 1	2(20.0%) ⑤ 2	0(0.0%)	0(0.0%)	お別れ礼法1 入園説明会1 一日入園1 スプリングスクール1 地域解放事業1
合計	94(100%)	43(45.7%)	44(46.8%)	50(53.2%)	36(38.3%)	27(28.7%)	7(7.4%)	15(16.0%)	11(11.7%)	3(3.2%)	5(5.3%)	



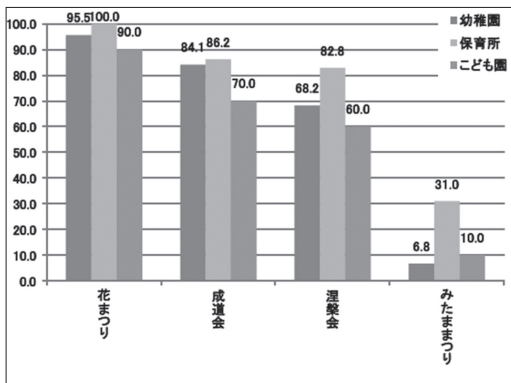
【3月の年間行事の表・グラフ】

②仏教行事について

仏教保育を実践している幼稚園、保育所、こども園における年間行事の中で「仏教行事」について、特に「三仏忌」（「花まつり」・「成道会」・「涅槃会」）を中心に、それぞれの園における実践状況についてご報告をいただいた。その内容として、「三仏忌」以外の「仏教行事」は多岐にわたり、各園の設立母体の寺院等の属する仏教各宗派の特性がよく現れているものである。それらを集計すると以下の通りである。

分類	花まつり	成道会	涅槃会	みたままつり
幼稚園	42(95.5%)	37(84.1%)	30(68.2%)	13(6.8%)
保育所	29(100%)	25(86.2%)	24(82.8%)	9(31.0%)
こども園	9(90.0%)	7(70.0%)	6(60.0%)	1(10.0%)
合計	80(96.4%)	69(83.1%)	60(72.3%)	23(27.7%)

〔幼稚園 52 園 回答 44 園・保育所 32 園 回答 29 園・こども園 10 園 回答 10 園〕



【「仏教行事」の分類表の表・グラフ】

「その他」の項目は、以下の通りである。

〔幼稚園〕

青葉まつり 7 園	お盆(盆踊り) 7 園	報恩講 3 園
降誕会 3 園	節分会(豆まき) 2 園	彼岸会 2 園
施食会 2 園	地藏供養 2 園	お会式 2 園
誕生会 2 園	入園式 1 園	別院参り 1 園
千灯供養 1 園	法然上人御忌法要 1 園	七夕会 1 園
交通安全祈願 1 園	おもちゃ供養 1 園	墓参 1 園
法統慶讃会 1 園	菊供養 1 園	示現会 1 園
お十夜 1 園	おえんま様 1 園	追善記念日 1 園
針供養 1 園	山上忌 1 園	七五三 1 園
ろうそくまつり 1 園	クリスマス 1 園	

〔保育所〕

彼岸会 5 園	お会式 3 園	お盆(盆踊り) 3 園
青葉まつり 2 園	報恩講 2 園	修正会 2 園
節分会(豆まき) 2 園	子供施餓鬼会 1 園	地藏まつり 1 園
おまいり 1 園	本堂集会 1 園	降誕会 1 園
創立記念日 1 園	平和の日 1 園	たすけあいの日 1 園
お正月 1 園	初詣 1 園	妙見様の星まつり 1 園
初午 1 園		

〔こども園〕

誕生会 1 園	地藏まつり 1 園	お祈り祈願 1 園
本堂参り 1 園	彼岸会 1 園	お盆 1 園

仏教保育を実践している各園において、多くの「仏教行事」の中で「三仏忌」（「花まつり」（96.4%）・「成道会」（83.1%）・「涅槃会」（72.3%））が全体の「仏教行事」の中でも7割以上の園で実施されているという調査結果であった。さらに今回の調査において、「仏教行事」の具体的な実施内容についての報告をいただいた。その内容をまとめると次のようになる。

A. 「花まつり」

「三仏忌」の一つである「花まつり」はお釈迦様のお誕生をお祝いする日(4月8日)であり、その実施園が最も多く、全体園の中で96.4%の園で実施されている。実施時期は、4月8日が新年度の初めであり、新入園児を迎えて早々の行事で、1か月繰り下げて実施する園も多い。幼稚園では4月実施の園は48.1%、5月実施の園は36.5%、保育所では4月実施の園は56.3%、5月実施の園は37.5%、こども園では4月実施の園は40.0%、5月実施の園は60.0%であり、4月実施と5月実施については、ほぼ同じくらいの実施数となっているが、こども園においては5月実施の園は60.0%に上っている。

「花まつり」の実施内容については、ほとんどの園で式典を行い、式典の中で代表園児による献灯、献花、献香を行っている。そして花御堂を飾り、誕生仏に灌仏し、甘茶をかけ、「花

まつりの歌」を歌い、お釈迦様のお誕生をお祝いしているというものである。そして園長先生の講話や紙芝居、ペープサート、パネルシアターやDVD等の視聴覚教材等を用いて、お釈迦様のお誕生についての理解を深めている。さらに、今日、家庭や、生活環境も昔とは異なっている中で、子どもたちが自宅から一輪の花を持ち寄って花御堂を飾っている園（幼稚園3園（6.8%）・保育所1園（3.4%）・こども園2園（20.0%）全体6園（7.2%））もある。さらにお釈迦様の誕生における白象の伝説にちなんで白象行進を行っている園が、幼稚園5園（11.4%）・保育所2園（7.0%）・こども園3園（30.0%）の全体で12園（12.0%）である。そしてその中で稚児衣装を着けて白象行進している園が全体で2園（2.4%）であった。

「花まつり」の「仏教行事」は、お釈迦様のお誕生をお祝いする行事であり、仏教保育の実践園において新入園児を迎えてのお祝いと合わせて実施がしやすく、また、仏教精神の理解のために多くの園が実施しているといえる。

B. 「成道会」

「三仏忌」の一つである「成道会」はお釈迦様のお悟りをお祝いする日（12月8日）であり、その実施園も多く、全体園の中で83.1%の園が実施している。

「成道会」の実施内容については、ほとんどの園で、式典を行い、式典の中で代表園児による献灯、献花、献香を行っている。そして「成道会の歌」を歌い、お釈迦様のお悟りをお祝いするというものである。そして園長先生の講話や紙芝居、ペープサート、パネルシアターやDVD等の視聴覚教材等を用いて、お釈迦様のお悟りの様子についての理解を深めている。また、この成道会の式典と合わせて「成道会おゆうぎ会」を実施している園が多い。「成道会おゆうぎ会」を実施している園は幼稚園10園（22.7%）・保育所8園（27.6%）・こども園3園（30.0%）の全体で21園（25.3%）で、全体の

1/4の園が「成道会」と併せておゆうぎ会、発表会を行っている。特に、「成道会」にちなみお釈迦様のお悟りの様子を演じた劇を行っている園が多い。また、12月の時期的に、この「成道会」に際し「おもちつき」を実施している園（幼稚園3園・保育所1園）がある。さらに、「成道会」にちなみ曹洞宗系の各園では「撰心会（坐禅週間）」を実施している。

C. 「涅槃会」

「三仏忌」の一つである「涅槃会」はお釈迦様がお亡くなりになった日（2月15日）であり、その実施園も多く、全体園の中で72.3%の園が実施している。

「涅槃会」の実施内容については、ほとんどの園で、式典を行い、式典の中で代表園児による献灯、献花、献香を行っている。そして「涅槃会の歌」を歌い、園長先生の講話や紙芝居、ペープサート、パネルシアターやDVD等の視聴覚教材等を用いて、お釈迦様のお涅槃の様子についての理解を深めている。また、この「涅槃会」の式典の中で、多くの園（幼稚園10園（22.7%）・保育所8園（27.6%）・こども園3園（30.0%）全体21園（25.3%））で「涅槃図」の拝観を実施している。

D. 「みたままつり」

「みたままつり」はお盆に際し、ご先祖様をお迎えし、尊い、感謝の気持ちを確認するものであり、7月と8月のお盆の時期に実施される行事である。「みたままつり」の7月の実施園は幼稚園16園（31.4%）・保育所10園（31.3%）・こども園1園（10.0%）の全体で27園（29.0%）である。8月の実施園は幼稚園0園（0.0%）・保育所1園（3.7%）・こども園1園（11.1%）の全体で2園（2.5%）である。

「みたままつり」の実施内容については、ほとんどの園で、式典を行い、お盆の飾りつけをし、式典の中で代表園児による献灯、献花、献香を行っている。そして「たのしいお盆」・「み

たまたまのうた」等の歌を歌い、そして園長先生の講話や紙芝居等を通して、ご先祖様への感謝の気持ちを確認し、「みたままつり」の意味を確認している。また、「みたままつり」の式典に合わせ「盆踊り」、「夏祭り・お楽しみ会」を実施している園もある。「盆踊り」を実施している園は幼稚園6園(13.6%)・保育所6園(20.7%)・こども園1園(10.0%)の全体で13園(15.7%)、「夏祭り・お楽しみ会」を実施している園は幼稚園1園(2.3%)・保育所2園(6.9%)・こども園0園(0.0%)の全体で3園(3.6%)である。

E. 「その他」

「その他」の仏教行事については、各園の設立母体の寺院等の属する仏教各宗派の特性によって、その行事も多岐にわたっている。その中で実施園の多い仏教行事を挙げれば次のようになる。

- ・「お盆(盆踊り)」(全体11園(13.3%))

お盆の時期に、精霊棚を作り、精霊馬を飾り、迎え火、送り火を焚き、ご先祖様をお迎えし、お送りし、祖先の霊を祀る行事である。この「お盆(盆踊り)」の行事を通してご先祖様への感謝の気持ちを確認する。併せて「盆踊り」を実施している園が多くある。

- ・「彼岸会」(春彼岸は全体3園3.2%・秋彼岸は全体8園9.0%)

3月と9月の春分、秋分の前後一週間の時期に精進修行し、迷いの此岸から、悟りの世界の彼岸に至ろうとする仏教行事である。この「彼岸会」では各園の設立母体の寺院で式典を行い、ご住職の法話、紙芝居等により「彼岸会」の意味を確認している。

- ・「青葉まつり」(全体7園(8.4%))

真言宗の宗祖弘法大師空海と興教大師覚鑿のご誕生をお祝いする行事で、式典を行い、「青葉まつりの歌」を歌い、ご住職の法話、

紙芝居等により「青葉まつり」の意味を確認している。

- ・「報恩講」(全体5園(6.0%))

浄土真宗の宗祖親鸞聖人の祥月命日の前後に、親鸞聖人への報恩謝徳のために行われる行事で、式典(おつとめ)を行い、ご住職の法話、紙芝居等により「報恩講」の意味を確認している。

- ・「施食会」(全体7月は3園3.6%・全体8月は4園4.9%)

ご先祖様の供養の一つで、この世の一切の精霊に対してお経を唱え、食事をお供えして供養するものである。各園では本堂に於いてご住職の法話、紙芝居等により「施食会」の意味を確認している。

等がある。

③宗教行事と民間行事について

仏教保育を実践している幼稚園、保育所、こども園における年間行事の中で「宗教行事と民間行事」について、特に「クリスマス」、「ハロウィン」等の仏教行事以外の様々な行事の実施状況についてご報告をいただいた。その内容は「クリスマス」、「ハロウィン」を中心に回答されたもので、その他の行事については、前記の「4. 年間行事について ①年間行事」の実施状況に基づき集計する。その集計結果は以下の通りである。

A. 「クリスマス」

- a. 「実施している園」

幼稚園	保育所	こども園	全体
15	14	2	31
35.7%	45.2%	20.0%	33.7%

- b. 「実施していない園」

幼稚園	保育所	こども園	全体
21	16	8	45

50.0%	51.6%	80.0%	54.2%
-------	-------	-------	-------

〈実施しない理由〉

[幼稚園]

- ・クリスマスには触れるが、行事としては取り入れていない。
- ・創立者の仏教精神を大事にする事の意を受け継いで行わない。
- ・クリスマスは保育の中では組み込まれていません。課外の英語では、クリスマスパーティーをしています。
- ・クリスマスはイエスさまのお誕生日ぐらいはお話します。園児たちはクリスマスの時期にクッキーづくりをします。
- ・クリスマスは実施しない。サンタクロース関係の歌は歌います。
- ・日本の伝統行事は行うが、キリスト教系のもは行っていません。
- ・クリスマス、ハロウィンなどの民間行事は、毎年商業ベースにのり、盛んに行われているが、園としては特に扱わない。
- ・クリスマスソングはリトミック等の中でリズム遊びとして表現しているが、クリスマス等は行わない。

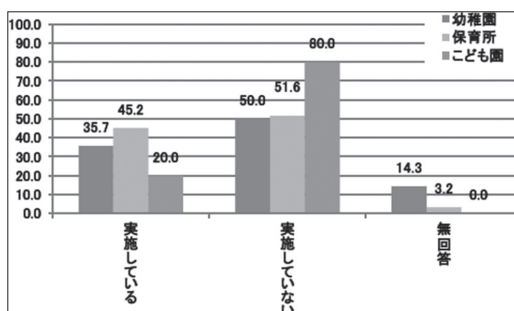
[保育所]

- ・仏教行事を広めていきたい。
- ・クリスマスは実施しないが、ただし年末にクリスマスのお菓子を配布する。
- ・クリスマスを全園児で盛大に行う事はないが、各クラス単位で楽しむ事はある。「宗教」は皆が仲良く幸せでいられるためのものだと考えから、仏教以外の宗教を完全否定、拒否する事は避けたいと思っています。
- ・クリスマスは季節のものとして紹介し、それらにちなんだ製作などは行うが、特にその意味などは説明せず、各職員の判断による。
- ・クリスマスは英語の時間に外部講師により遊び的に行われています。

c. 「無回答」

幼稚園	保育所	こども園	全体
6	1	0	7
14.3%	3.2%	0.0%	8.4%

[幼稚園 52園 回答 42園・保育所 32園 回答 31園・こども園 10園 回答 10園]



【「クリスマス」の実施状況の表・グラフ】

B. 「ハロウィン」

a. 「実施している園」

幼稚園	保育所	こども園	全体
5	5	2	12
11.9%	16.1%	20.0%	14.5%

b. 「実施していない園」

幼稚園	保育所	こども園	全体
14	14	6	34
33.3%	45.2%	60.0%	41.0%

〈実施しない理由〉

[幼稚園]

- ・創立者の仏教精神を大事にする事の意を受け継いで行わない。
- ・ハロウィンは保育の中では組み込まれていません。課外の英語では、ハロウィンパーティーをしています。

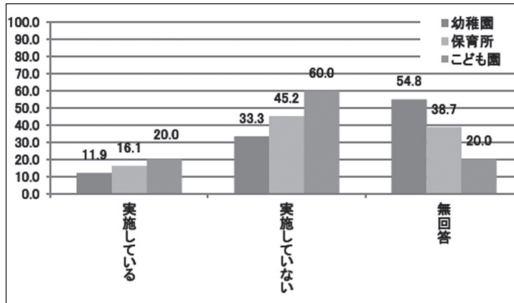
[保育所]

- ・仏教行事を広めていきたい。
- ・英語の時間に外部講師により遊び的に行われています。

c. 「無回答」

幼稚園	保育所	こども園	全体
23	12	2	37
54.8%	38.7%	20.0%	44.6%

[幼稚園 52 園 回答 41 園・保育所 32 園 回答 31 園・こども園 10 園 回答 10 園]

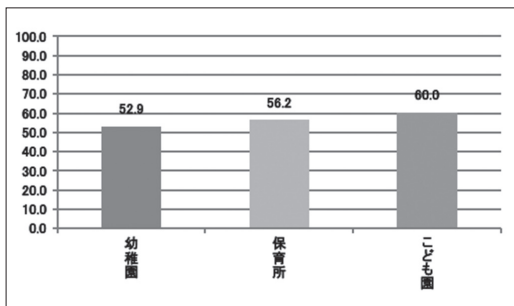


【「ハロウィン」の実施状況の表・グラフ】

C. 「七夕」(8)

幼稚園	保育所	こども園	全体
27	18	6	51
52.9%	56.2%	60.0%	54.8%

[幼稚園 52 園 回答 51 園・保育所 32 園 回答 32 園・こども園 10 園 回答 10 園]

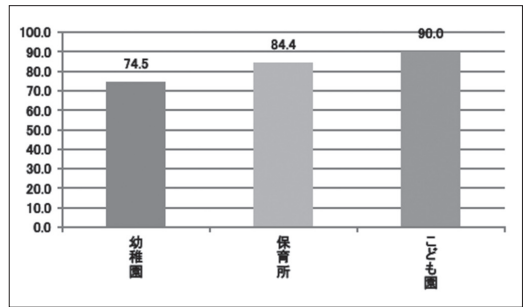


【「七夕」の実施状況の表・グラフ】

D. 「節分 (豆まき)」(9)

幼稚園	保育所	こども園	全体
38	27	9	74
74.5%	84.4%	90.0%	79.6%

[幼稚園 52 園 回答 51 園・保育所 32 園 回答 32 園・こども園 10 園 回答 10 園]

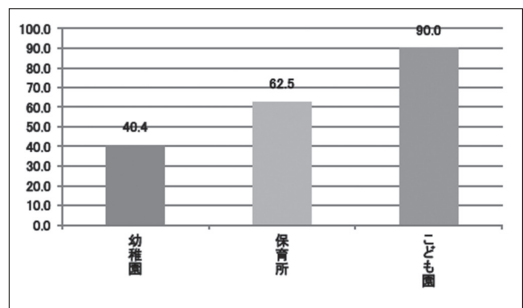


【「節分 (豆まき)」の実施状況の表・グラフ】

E. 「ひなまつり会」(10)

幼稚園	保育所	こども園	全体
21	20	9	50
40.4%	62.5%	90.0%	53.2%

[幼稚園 52 園 回答 52 園・保育所 32 園 回答 32 園・こども園 10 園 回答 10 園]

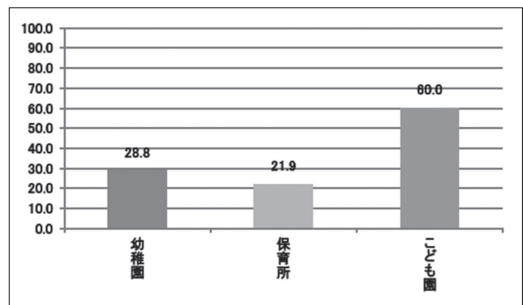


【「ひなまつり会」の実施状況の表・グラフ】

F. 「七五三」(11)

幼稚園	保育所	こども園	全体
15	7	6	28
28.8%	21.9%	60.0%	29.8%

[幼稚園 52 園 回答 52 園・保育所 32 園 回答 32 園・こども園 10 園 回答 10 園]



【「七五三」の実施状況の表・グラフ】

5. その他の活動について

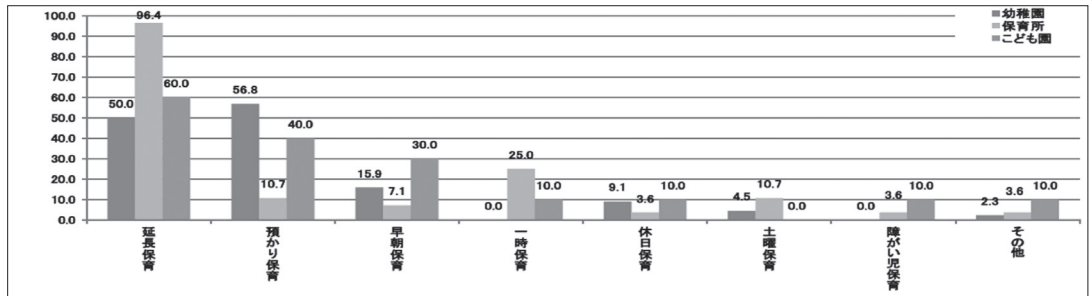
①長時間保育

幼稚園、保育所、こども園における活動は通常の教育・保育活動のみならず、近年社会の要請に伴う長時間保育、課外活動、地域貢献等その内容も多岐に渡り、社会、地域の要請に応え

るべくその活動を展開している現状である。そのような状況の中で、ほとんどの園が実施している長時間保育等について集計すると次のようになる。

	延長保育	預かり保育	早朝保育	一時保育	休日保育	土曜保育	障がい児保育	その他
幼稚園	22(50.0%)	25(56.8%)	7(15.9%)	0(0.0%)	4(9.1%)	2(4.5%)	0(0.0%)	1(2.3%)
保育所	27(96.4%)	3(10.7%)	2(7.1%)	7(25.0%)	1(3.6%)	3(10.7%)	1(3.6%)	1(3.6%)
こども園	6(60.0%)	4(40.0%)	3(30.0%)	1(10.0%)	1(10.0%)	0(0.0%)	1(10.0%)	1(10.0%)
合計	55(67.1%)	32(39.0%)	12(14.6%)	8(9.8%)	6(7.3%)	5(6.1%)	2(2.4%)	3(3.7%)

[幼稚園 52園 回答 44園・保育所 32園 回答 28園・こども園 10園 回答 10園]



【「長時間保育」の実施状況の表・グラフ】

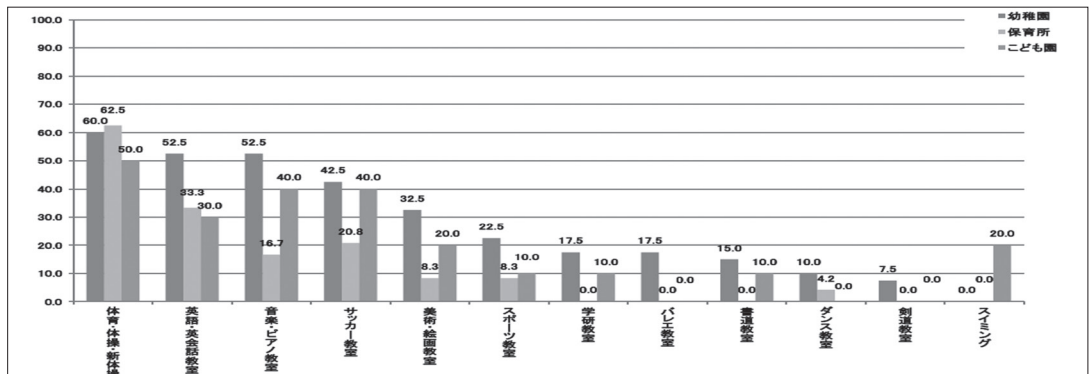
②課外活動

幼稚園、保育所、こども園における活動は通常の教育・保育活動のみならず、保護者の要請

に応えるべく課外活動が実践されている。その活動内容を集計すると次のようになる。

	体育・体操 新体操教室	英語 英会話教室	音楽 ピアノ教室	サッカー 教室	美術 絵画教室	スポーツ 教室	学研教室	バレエ教室	書道教室	ダンス教室	剣道教室	スイミング
幼稚園	24(60.0%)	21(52.5%)	21(52.5%)	17(42.5%)	13(32.5%)	9(22.5%)	7(17.5%)	7(17.5%)	6(15.0%)	4(10.0%)	3(7.5%)	0(0.0%)
保育所	15(62.5%)	8(33.3%)	4(16.7%)	5(20.8%)	2(8.3%)	2(8.3%)	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	1(4.2%)	0(0.0%)	0(0.0%)
こども園	5(50.0%)	3(30.0%)	4(40.0%)	4(40.0%)	2(20.0%)	1(10.0%)	1(10.0%)	0(0.0%)	1(10.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	2(20.0%)
合計	44(59.5%)	32(43.2%)	29(39.2%)	26(35.1%)	17(23.0%)	12(16.2%)	8(10.8%)	7(9.5%)	7(9.5%)	5(6.8%)	3(4.1%)	2(2.7%)

[幼稚園 52園 回答 40園・保育所 32園 回答 24園・こども園 10園 回答 10園]



【「課外活動」の実施状況の表・グラフ】

その他の課外活動については、次の通りである。

〔幼稚園〕

パソコン教室 2園	造形教室 2園	未就園児クラブ 2園
バトンクラブ 1園	プレイルーム 1園	トランポリン 1園
日本舞踊教室 1園	えんびつランド 1園	空手教室 1園
ラボ教室 1園	お茶 1園	JV指導 1園
フェンシング 1園	ミニコンサート 1園	

〔保育所〕

リトミック 2園	和太鼓指導 1園	造形の時間 1園
えんびつ教室 1園	サツマイモ植え・掘り 1園	ハッピータイム 1園
陶芸 1園	うどん作り 1園	菊作り 1園
茶道 1園		

〔こども園〕

パソコン教室 1園	ピグマリオン(学研) 1園	子育て支援事業 1園
-----------	---------------	------------

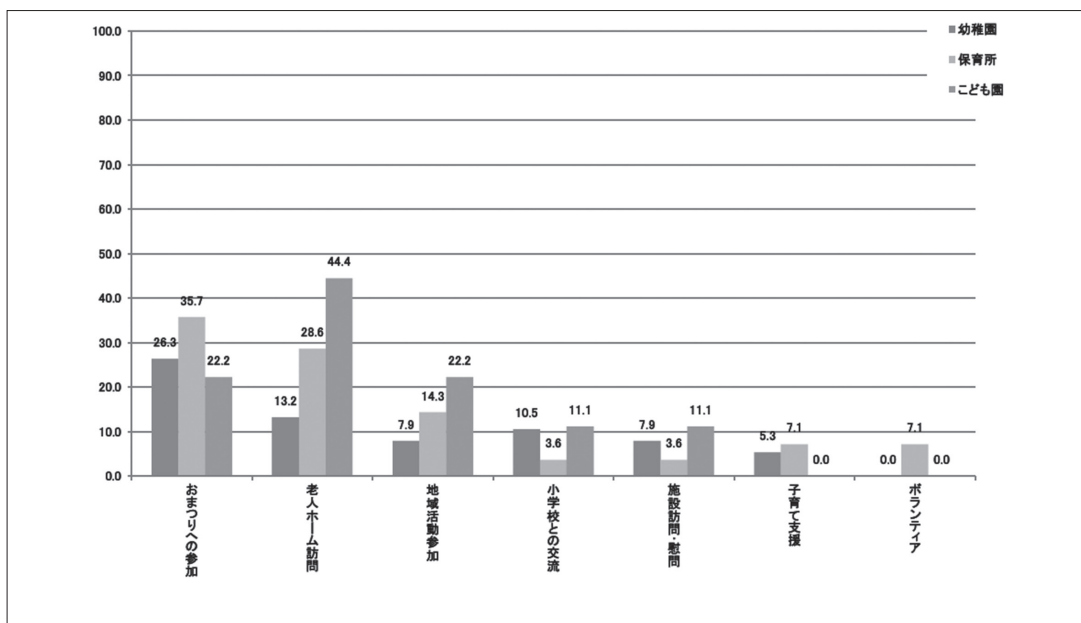
③地域活動

幼稚園、保育所、こども園における活動は通常の教育・保育活動のみならず、地域に根ざした多くの地域活動が実践されている。この地域

活動については、一園で複数の活動が行われており、それらを全て集計し、その活動内容を集計すると次のようになる。

	おまつりへの参加	老人ホーム訪問	地域活動参加 パレード・文化祭 音楽祭・絵画展等	小学校との交流	施設訪問・慰問	子育て支援	ボランティア	その他
幼稚園	10(26.3%)	5(13.2%)	3(7.9%)	4(10.5%)	3(7.9%)	2(5.3%)	0(0.0%)	赤十字・ユニセフ 1園庭解放 1
保育所	10(35.7%)	8(28.6%)	4(14.3%)	1(3.6%)	1(3.6%)	2(7.1%)	2(7.1%)	児童館 1
こども園	2(22.2%)	4(44.4%)	2(22.2%)	1(11.1%)	1(11.1%)	0(0.0%)	0(0.0%)	
合計	22(28.0%)	17(17.3%)	9(9.3%)	6(6.7%)	5(4.0%)	4(5.3%)	2(2.7%)	

[幼稚園 52園 回答 38園・保育所 32園 回答 28園・こども園 10園 回答 9園]



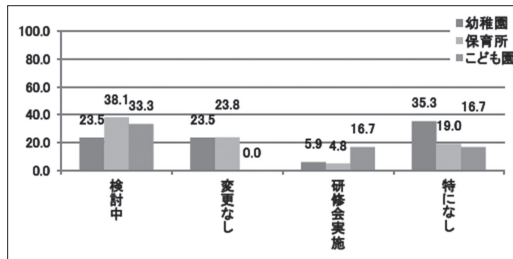
【「地域活動」の実施状況の表・グラフ】

6. 新学習指導要領・保育所保育指針の改訂、実施について

本アンケートは、平成 29 年 6 月に実施したもので、平成 30 年度の『幼稚園教育要領』・『保育所保育指針』・『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』の実施を受けて、各園の教育・保育の改訂の内容、新たな取り組み等の状況について回答をいただいた。その内容を集計すると次のようになる。

	検討中	変更なし	研修会実施	特になし
幼稚園	8(23.5%)	8(23.5%)	2(5.9%)	12(35.3%)
保育所	8(38.1%)	5(23.8%)	1(4.8%)	4(19.0%)
こども園	2(33.3%)	0(0.0%)	1(16.7%)	1(16.7%)
合計	18(29.5%)	13(21.3%)	4(6.6%)	17(27.9%)

[幼稚園 52 園 回答 34 園・保育所 32 園 回答 21 園・こども園 10 園 回答 6 園]



【「新学習指導要領・保育所保育指針の改訂、実施について」の状況の表・グラフ】

そして、「その他」の項目は、次の通りである。

[幼稚園]

指導計画に盛り込む 2 園

仏教行事をしっかりと伝える 1 園

園の方針に従い、自信を持って保育を行う 1 園

[保育所]

保育課程の見直し 2 園

指導計画の見直し 1 園

「保育」が「教育」へ近づいた気がする 1 園

[こども園]

行事の見直し 1 園

色々な改訂により指導要録等の必要がなくなった 1 園

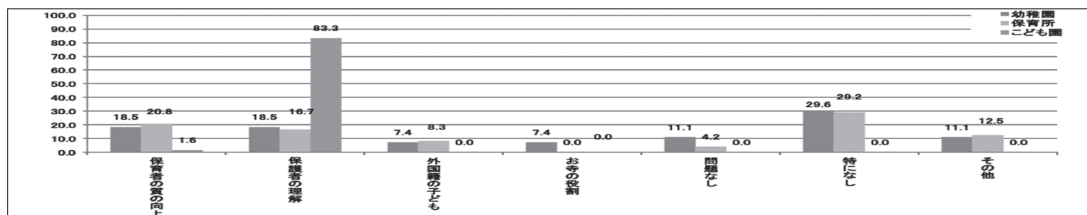
7. 仏教保育についての問題点・課題について

仏教保育の実践に関する問題点・課題について各園より率直な意見が寄せられた。その各園

の意見を分類し、集計すると次のようになる。

	保育者の質の向上	保護者の理解	外国籍の子ども	お寺の役割	問題なし	特になし	その他
幼稚園	5(18.5%)	5(18.5%)	2(7.4%)	2(7.4%)	3(11.1%)	8(29.6%)	3(11.1%)
保育所	5(20.8%)	4(16.7%)	2(8.3%)	0(0.0%)	1(4.2%)	7(29.2%)	3(12.5%)
こども園	1(1.6%)	5(83.3%)	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)
合計	11(19.3%)	14(24.6%)	4(7.0%)	2(3.5%)	4(7.0%)	15(26.3%)	6(10.5%)

[幼稚園 52 園 回答 27 園・保育所 32 園 回答 24 園・こども園 10 園 回答 6 園]



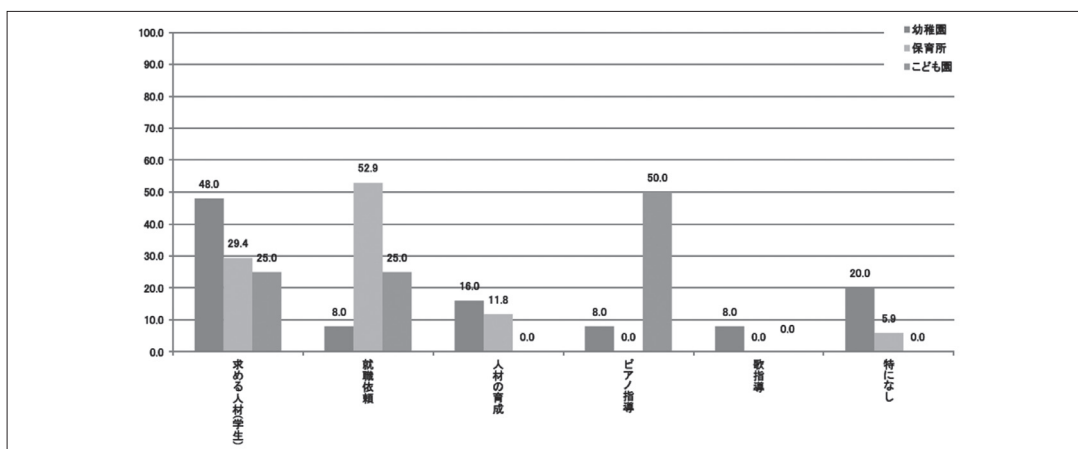
【「仏教保育についての問題点・課題について」の状況の表・グラフ】

8. その他

本アンケートの最後に「その他」として、自由記述で保育者養成校への希望、意見等を記入していただいた。その内容をまとめると次のようになる。

	求める人材(学生)	就職依頼	人材の育成	ピアノ指導	歌指導	特になし
幼稚園	12(48.0%)	2(8.0%)	4(16.0%)	2(8.0%)	2(8.0%)	5(20.0%)
保育所	5(29.4%)	9(52.9%)	2(11.8%)	0(0.0%)	0(0.0%)	1(5.9%)
こども園	1(25.0%)	1(25.0%)	0(0.0%)	2(50.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)
合計	18(38.3%)	12(25.5%)	6(12.8%)	4(8.5%)	2(4.3%)	6(12.8%)

[幼稚園 52 園 回答 25 園・保育所園 24 回答 17 園・こども園 10 園 回答 4 園]



【「その他」についての状況の表・グラフ】

Ⅲ. 仏教保育実践園の現状と課題についての考察

「仏教保育アンケート」の集計結果に基づいて、仏教保育実践園の現状と課題について考察を進める。当アンケートの集計項目については、仏教保育実践園の特色を明らかにする目的で、仏教保育に関する項目を優先的に抽出し、表、グラフの集計項目としている。その中には数値が低いものも含まれているが、「仏教保育アンケートの」性質上やむを得ず項目の中に入れてあるものである。そして各園のアンケートの回答を引用する場合は、原則として原文のままを記載する。

1. 園概要について

各園の園概要の「①クラス数」、「②教員、保育士数」、「③教員・保育士・職員数」については各園より寄せられた現状の数値となっている。本アンケート調査においては、各園の内情に立ち入ってしまうことを避けるために「園児数」、「定員充足率」等の調査は行っておらず、「①クラス数」、「②教員、保育士数」、「③教員・保育士・職員数」の調査に留めた。しかし多くの園より定員の確保が困難であるとの意見が寄せられていた。ベネッセ次世代研究所編「第2回幼児教育・保育についての基本調査報告書〔2012

年]」に、「全体的に幼稚園は定員割れが高く、保育所、特に私営保育所での0歳児～2歳児の定員超過率が高い傾向が見られた。」と述べられている。(12) 今回の本アンケート調査の結果においても「①クラス数」、「②教員、保育士数」、「③教員・保育士・職員数」、そして各園からの個々の意見に基づいても同様の結果が窺える。

そこで、この項目における問題点としては、「③教員・保育士・職員数」の項目において、幼稚園教諭、保育士の充足が大変困難であるとの意見が多く寄せられており、(13) 各園共に保育者の人材確保が難しく、保育者不足の状態の中で日々の保育が展開されており、管理職クラスの保育者においても担任、サポートとして現場に出ている現状があるとの意見が寄せられている。この保育者不足の現状は、仏教保育実践園に留まらず、今日の日本社会の大きな問題となっている。蓑輪明子氏は、「保育政策と保育士処遇の現状」の中で、賃金と労働条件の両面から「仕事内容と賃金の水準はいまだに見合っていないと言わざるを得ない。加えて、人員不足による過重な業務負担で、長時間・過密労働が常態化し、しかも未払いが放置されている。」と述べている。(14) 即ち、この問題については日本の社会全体の構造改革等の取り組みが必要であると考えられる。

2. 基本理念について

① 建学の精神

「建学の精神」については、私立の幼稚園、保育所、こども園のみが設定しているもので、各園の独自の創立、設立理念に基づいた考え方であり、園の数だけ「建学の精神」が存在するといえる。しかし仏教保育を提唱しているそれぞれの園においては、共通する考え方が多く見られる。その中でも「仏教の教え」をその中心に据えている園が全体の3割（幼稚園31.8%、保育所25.0%、こども園37.5%）に及んでいる。その内容は多くの「仏教の教え」の中で、お釈

迦様、各宗派の開祖の具体的な教えを取り上げて「建学の精神」として設定しているものである。特に「三宝」、「四恩」、「慈悲の心」等、子ども、保護者に対しても理解しやすい教えに基づいた「建学の精神」の設定といえる。その中で大学の付属の各園においては、学園全体の「建学の精神」を直接受け、それぞれの園においてより具体的に、容易な言葉に解釈し、内外に周知している。例えば、鶴見大学短期大学部附属三松幼稚園では、「大覚円成 報恩行持」（感謝を忘れず真人となる、感謝のこころ育んでいのち輝く人となる）としており、同じく總持寺保育園では具体的な保育理念として「仏教精神に基づき、子ども達一人ひとりを豊かな愛情の中で心身共に健やかに育て、個々の可能性を引き出していく保育を行なう。」としている。また、駒沢女子短期大学付属こまざわ幼稚園では、「正念・行学一如」を「建学の精神」とし、具体的に「道元禅師様の禅の精神である正念と行学一如を基に、みほとけ様の教えを守り、からだも心も健康で、明るく元気な子どもに育て、命を大切に感じる心を育てる。」等が挙げられる。

この項目において多くの園では「建学の精神」と「教育・保育方針」との間に差を設けていない園が多く、「仏教保育に基づく情操教育」、「明るく、たのしく、なかよくの仏教保育理念がいきわたる保育につとめる。」、「仏様に見まもられながら、仏の子ども達のすこやかな成長の一助とする。」等のわかりやすく、具体的な言葉で表現された「建学の精神」の設定となっている。

② 教育・保育方針

仏教保育実践園の「建学の精神」を具現化するためにそれぞれの園の「教育・保育方針」が示されている。前項の「建学の精神」と同様に各園共に独自の「教育・保育方針」を設定しており、園の数だけ「教育・保育方針」が存在している。その中でも幼稚園では「仏教の教え」（28.3%）、保育所では「仏教保育三綱領」（18.5%）、

こども園では「仏教保育」(25.0%)を主テーマとして「教育・保育方針」が設定されている園が多い。これらの仏教保育実践園において、仏教の教えに基づき生命を尊重し、生き物や自然を大切に、自他を敬う心を育むことを共通の方針として「教育・保育方針」が設定されている。

③教育・保育目標

仏教保育実践園における「教育・保育目標」は、各園の掲げる「建学の精神」、「教育・保育方針」をより具現化するために「教育・保育目標」が設定されている。この「教育・保育目標」には仏教保育実践園の仏教の教えの特色が多く盛り込まれている。その中でも「生命尊重」の保育を目標に掲げている園が多い。さらに「仏教の教え」として、「三宝」、「慈悲」等を含んだ目標の設定となっている。しかし「その他」の項目として全体の5割(51.3%)を超える園が一般の幼稚園、保育所、こども園が掲げる「教育・保育目標」と同様の「教育・保育目標」を設定している。仏教保育実践園としても具体的な目標設定においては、仏教の教えの範囲内には留まらず、日々の保育を実践していることがわかる。その内容は「感謝の心」、「明るい子」、「あそび」、「自主自立」、「優しい心」、「心の健康」、「物を大切にする」、「生きる力」、「基本的な生活習慣」、「自己表現」、「情緒の安定」、「素直な心」、「豊かな感性」、「豊かな心」等が目標として設定されている。一般の幼稚園、保育所、こども園における「教育・保育目標」として、ベネッセ次世代研究所編「第2回幼児教育・保育についての基本調査報告書〔2012年〕」に、「教育・保育の目標として、とくに重視していることは、「健康な身体をつくること」、「基本的な生活習慣を身につけること」。遊びを通しての活動、仲間とのコミュニケーションなども重視され、幼稚園、保育所、公私の差はあまりみられなかった。」と述べられており、⁽¹⁵⁾ 仏教保育実践園においてもほぼ同様の「教育・保育目標」の設定

となっていることがわかる。仏教保育実践園においては、これらの一般の幼稚園、保育所、こども園の掲げる「教育・保育目標」を踏まえ、仏教的な要素を盛り込んだ目標設定となっているといえる。

④教育・保育の特色

仏教保育実践園の「教育・保育の特色」は、各園の「建学の精神」、「教育・保育方針」を具現化するために各園の特色ある教育・保育が展開されているもので、各園の「教育・保育の特色」が色濃く示されている。その中でも「仏教の教え」を主テーマとして、「仏教の教え」、「仏教行事」、「報恩感謝」、「禅の精神」等に基づいた教育・保育を特色として教育・保育が展開されている。それは仏教保育実践園以外の一般の幼稚園、保育所、こども園においては設定することのできない特色となっている。そして各園の活動の随所に仏教の教えの中心である「生命尊重」に基づいた保育が実践されている。具体的には仏教精神に基づいた小動物の飼育、植物の栽培等、生命の大切さ、尊さ等を仏教の教えを基盤として日々実践されているものである。そしてその他の特色としては、前記の「教育・保育目標」と同様に、一般の幼稚園、保育所、こども園の特色と同じように設定されている。具体的には「ひとりひとりを大切に」、「生きる力」、「心豊かな子ども」、「ともに育つ」、「のびのび元気に」、「あそび」、「和の保育」、「ほめる保育」、「食育」、「子どもたちの可能性」、「見守る保育」、「日本の伝統文化」、「知育・徳育・体育」、「自立心」、「コミュニケーション」、「鼓笛指導」、「保護者と一緒に子育て」、「ヨコミネ式保育」、「行事」等、一般の園との差異はないといえる。

そこで、この項目における問題点としては、仏教保育実践園において、仏教の特色を前面に出すことによって嫌悪感を感じる保護者も存在するとの結果報告もあり、⁽¹⁶⁾ 仏教の特色を前面に出すことを敬遠している園も存在する。本

来、私立の多くの仏教保育実践園においては、各園の建学の精神に基づき、独自の教育・保育理念のもとに教育・保育を毅然とした姿勢で展開しているが、日本社会の宗教に対する考え方の変化、人口の減少、地域社会の要請、保護者の要望等、様々な要因により、残念ではあるがその特色の色合いを薄めている園も存在するという問題点をここに挙げる事ができる。

⑤朝夕のお唱え（お誓い）

仏教保育実践園において「朝夕のお唱え（お誓い）」は、ほとんどの園において何等かの形で実践されている。その内容は、「お誓い」を唱えている園は全体の約5割（49.4%）であり、「独自のお唱え（お誓い）」、「仏、各宗の真言」、「六波羅蜜」を唱える等の実践がなされている。また、朝礼、集会の中でのお唱え、朝夕の歌によるお唱え（お誓い）等、仏様とご先祖様に一日の無事を願って唱えられている。その他、具体的なお唱え（お誓い）をしない園においても、仏様に手を合わせる合掌等の実践は行われている。

そこで、この項目における問題点としては、お唱え（お誓い）を全く実践していない園は、全体の約1割（9.1%）存在している。これは保育所の性質上、登園、降園のタイミングが個々に異なっていることが、その要因となっているとみることが出来る。ただし、お唱え（お誓い）を全く実践していない園においても食事の前後に手を合わせる合掌等の実践は日常的になされているとのことであった。

3. 宗教教育について

仏教保育実践園の「宗教教育」について、多岐にわたる実践報告がなされている。具体的には、仏教の中心思想である生命尊重に基づいた「宗教教育」、仏教保育を保育主体とする「宗教教育」、各園の設立母体となる寺院を中心に実践される「宗教教育」、年間の仏教行事を通じ

た「宗教教育」、三仏忌を中心とした「宗教教育」等、それぞれの園の教育・保育方針に基づいた「宗教教育」の実践がなされている。特に「仏教」を主体としている園が4割（42.2%）を超えており、「お寺」を宗教教育の実践の場としている園、また、「手を合わせる（合掌）」、「仏教讃歌」、「おつとめ」、「般若心経の読経」、「礼拝」、「仏教法話」、「仏教のビデオ、スライド、本、紙芝居」、「仏像の安置」等を「宗教教育」の中心に取り入れている。さらに「仏教行事」を「宗教教育」の中心に取り入れている園も多く、様々な仏教行事を通して仏教理解を促しているものである。特に「三仏忌」を「宗教教育」の中心として、各園共に設立母体の寺院の住職、園長講話、パネルシアター、紙芝居、スライド等の教材を利用して仏教理解を促し、それぞれの行事を通じて仏教の説く命の尊重等を子どもたちに伝えているものである。仏教保育実践園においては、各園の教育・保育方針に基づいて日常生活、そして様々な行事を通して意図的な「宗教教育」を実践し、各園の教育・保育目標の達成のために日々実践しているということが出来る。

4. 年間行事について

①年間行事

仏教保育実践園の「年間行事」は、一般の幼稚園、保育所、こども園で通常行われている「年間行事」に加え、さらに仏教保育実践園の独自の行事が付加される形で実践されている。即ち、一般の園より多くの「年間行事」が行われているということになる。「行事が子どもを育てる」と言われるように、各園の教育・保育の方針に従い、教育・保育目標を達成すべく数多くの行事が行われているものである。今回の「仏教保育アンケート」の集計、分類では仏教保育実践園の仏教行事を中心に多くの「年間行事」を月単位で分類し、実施園数の多い行事を基に分類し、それ以外の行事については、「その他」の

項目に全ての行事を記載している。その中で特に仏教・宗教行事に関する実践例の多い主な行事について、その内容を見ると次のようになる。

〔4月（5月）「花まつり」〕

「花まつり」は、「三仏忌」の一つであり、ほとんどの仏教保育実践園（園全体の96.4%実施、4月実施50.0%・5月実施39.4%）において実施されている。各園共に式典を行い、式典の中で代表園児による献灯、献花、献香を行って、花御堂を飾り、誕生仏に灌仏し、甘茶をかけて、「花まつりの歌」を歌い、お釈迦様のお誕生をお祝いしている。(17)

〔6月「青葉まつり」〕

「青葉まつり」は、園全体の7園（8.4%）で実施されている。この「青葉まつり」は真言宗の宗祖弘法大師空海と興教大師覚鑿のお誕生をお祝いする行事で、各園では式典を行い、「青葉まつりの歌」を歌い、ご住職の法話、紙芝居等により宗祖の教え、「青葉まつり」の意味を確認している。この「青葉まつり」は真言宗系の幼稚園、保育所、こども園において全国的に実施されている。(18)

〔7月・8月「みたままつり」〕

「みたままつり」は、7月は園全体の27園（29.0%）、8月は園全体の2園（2.5%）で実施されている。この「みたままつり」はお盆に際しご先祖様をお迎えし、尊い感謝の気持ちを確認するものであり、7月と8月のお盆に行われる行事である。その名称は各園によって異なっており、「みたままつり」、「御霊祭」、「み魂まつり」、「精霊まつり」等の名称で行われており、各園共に盆踊りと合わせて行われている。この「みたままつり」の実施内容は、各園共に式典を行い、お盆の飾りつけをして、式典の中で代表園児による献灯、献花、献香を行っている。そして「たのしいお盆」、「みたままつりのうた」等の歌を歌い、園長先生の講話や紙芝居等を通

してご先祖様への感謝の気持ちを確認し「みたままつり」の意味を確認している。(19)

〔7月・8月「施食会」〕

「施食会」は、7月は園全体の3園（3.6%）、8月は園全体の4園（4.9%）で実施されている。この「施食会」は7月、8月にご先祖様の供養の一つとして行われ、この世の一切の精霊に対しお経を唱え食事をお供えして供養するもので、各園共に設立母体である寺院の本堂においてご住職または園長先生の法話、紙芝居等により「施食会」の意味を確認している。(20)

〔7月「七夕」〕

「七夕」は、園全体の51園（54.8%）で実施されている。この「七夕」は、「笹の節句」、「星祭り」とも呼ばれ日本古来の風習と中国から伝わった星祭りと乞巧奠が一つになって成立した日本古来よりの伝統行事であり、7月7日の夜に笹竹に願い事を書いた短冊を飾り、翌日に笹竹を川や海に流し心身の穢れを洗い流すという風習である。各園においても子どもたちが短冊に願い事を書いて、「七夕の歌」を歌い、「七夕」のお話を聞いたりすることによって「七夕」の意味を確認し、収穫の喜びを神に感謝するという日本古来の風習として学んでいる。(21)

〔8月「お盆」〕

「お盆」は、園全体の6園（7.4%）で実施されている。この「お盆」は、7月、8月の13日～16日まで行われる日本古来よりの伝統行事である。この「お盆」には2つの意味合いがあり、その一つは仏教の「盂蘭盆会」から来ており、「さかさまにかけられている苦しみを救う」という意味で、7月15日に食べ物、飲み物を供えて供養することによって、亡くなった人も苦しみからのがれることができるという教えによっている。もう一つは日本古来よりの考え方で、人は亡くなってからもこの世に留まり、子孫の幸せを願うという民間信仰があり、「みた

ままつり」、「魂祭り」、「精霊祭り」ともいわれているものである。これらの考え方が一つになって、先祖を大切にす報恩感謝の気持ちを持ってご先祖様をお迎えし、敬う行事となっている。この「お盆」の行事に合わせて「盆踊り」が行われ、元気な姿をご先祖様に見せ、安心していただき、生きている全ての人々の幸せを願う行事として実践されている。(22)

〔8月「盆踊り」〕

「盆踊り」は、7月は園全体の15園(16.1%)、8月は園全体の8園(9.9%)で実施されている。この「盆踊り」は、前記の通り「お盆(盂蘭盆会)」の行事と結びつき、ご先祖様の霊を迎え、死者を供養するための民間行事として定着したものである。「お盆」の時期、13日～16日にかけて寺の境内や町の広場等で「盆踊り」が行われ、精霊を迎え、慰め、そして送るための踊りであり、「お盆(盂蘭盆会)」と直接結びついた行事である。(23) 各園においては園庭、または設立母体の寺院の境内において櫓を組み「盆踊り」を実施し、夕涼み会を兼ねたお楽しみ会として実施している。

〔9月「お彼岸(彼岸会)」〕

「お彼岸(彼岸会)」は、春と秋の年2回行われる仏教行事であり、3月の「春彼岸」は、園全体の3園(3.2%)、9月の「秋彼岸」は、園全体の8園(9.0%)で実施されている。3月の「春彼岸」は保育所のみの実施で、幼稚園、こども園での実施はない。また、9月の「秋彼岸」は幼稚園と保育所のみの実施で、こども園での実施はない。この「お彼岸(彼岸会)」は、3月と9月の春分、秋分の前夜1週間の時期に精進修行し、迷いの此岸から悟りの彼岸の世界に到ろうとする仏教行事であり、此岸から彼岸に到るための六つの徳目(六波羅蜜・布施・持戒・忍辱・精進・禪定・智慧)の実践によって理想の世界に入ることができるとするものである。この「お彼岸(彼岸会)」では、各園の設立母

体の寺院で式典を行い、ご住職または園長先生の法話、紙芝居等により「お彼岸(彼岸会)」の意味を確認している。(24)

〔10月「ハロウィン」〕

「ハロウィン」は、園全体の12園(14.5%)で実施されている。(25) この「ハロウィン」は、今日の日本においては宗教的な要素をほとんど有せず、一つの季節のイベントとして実施されているのが現状である。本来「ハロウィン」は、『日本大百科全書(ジャポニカ)』には「古いケルト人の祭り、秋の収穫を祝い、悪い自然霊や魔女などを追い出す祭りである。ケルト人の暦では10月31日は一年の最後の大晦日であり、翌11月1日は新年である。ケルト人にとってこのハロウィンの一晩だけは、地上をうろつく悪霊たちをすべて動物に移しかえて追い出すことができる夜と信じられていた。」と述べられており(26)、後にキリスト教において11月1日の万聖節の前日の前夜祭を「ハロウィン」となっている。即ち、古代ケルト人の習俗をキリスト教の文化に取り入れたものであり、古代ケルト人の信仰していた宗教に起源を持ち、秋の収穫を祝い、悪霊を追い出す宗教的な意味を持つ行事であった。アメリカでは今日民間行事として定着し、祭り本来の宗教的な意味合いをほとんど持たず、カボチャの中身をくりぬいてランタンを作り、子どもたちが仮装して近所の家々を回りお菓子をもらったりする風習になっている。日本においても1990年代後半より様々なイベント、商戦等により仮装、コスプレ等を中心とした日本式にアレンジされた「ハロウィン」が行われている。この「ハロウィン」は、各園においても同様に宗教的な色合いを除き、仮装、コスプレを中心とした行事として実施されている。(27) 仏教保育実践園において、「ハロウィン」は、全体の14.5%の園が実施しており、全体の41.0%の園が実施しておらず、全体の41.0%の園が無回答であった。「ハロウィン」の実施園においては、手作りで服を作ったり、

飾りつけをしたり、園内探検をし、お菓子をもらったりとお楽しみ会の意味合いで実施しているものである。その反面、4割を超える園(41.0%)では「ハロウィン」を実施しておらず、「クリスマス」と同様に⁽²⁸⁾ 仏教保育実践園の創設者の仏教精神を大切にし「ハロウィン」は実施していないとするものであった。

〔11月「七五三」〕

「七五三」は、園全体の28園(29.8%)で実施されている。この「七五三」は、子どもの成長を祝う行事であり、一般的に3歳の女の子、5歳の男の子、7歳の女の子の成長の節目を祝う行事である。元来3歳の頭の毛をのばし始める「髪置き」と、男の子が5歳になると袴を着ける「袴着」、7歳の女の子がおとなの帯をしめる「帯解き」の3つの儀式が江戸時代に融合され、現在の「七五三」の原型となったとされている。⁽²⁹⁾ 「七五三」の実施方法は様々で、各園における園内でお祝いの会を実施したり、神社参拝を実施したり、設立母体の寺院にお参りをしたりと、様々な実施内容となっている。

〔11月「報恩講」〕

「報恩講」は、園全体の5園(5.3%)で実施されている。「報恩講」は、浄土真宗(真宗)の開祖親鸞聖人の恩に報いるために、親鸞聖人の命日を中心に行われる行事で、親鸞聖人の教えを自らのものとし、さらに一層人々に広めようとする行事である。⁽³⁰⁾ 各園において設立母体の寺院や園内ホールにおいてお参りを行い、献灯、献花、献香、献具、代表焼香を行い、ご住職または園長先生よりの法話を聞いて「報恩講」の意味を確認している。

〔11月「お会式」〕

「お会式」は、園全体の5園(5.3%)で実施されている。「お会式」は、日蓮宗の宗祖日蓮聖人のご命日にちなみ、毎年10月12日、13日の両日に日蓮聖人の恩に報いる目的で行われ

ている行事で、日蓮聖人の教えを人々の間に広めるための行事である。⁽³¹⁾ 各園において日蓮聖人のご命日を中心に、設立母体の寺院にお参りし、日蓮聖人の徳をしのび、感謝の気持ちで式典を行い、「お会式の歌」を歌い、ご住職の法話、紙芝居等により「お会式」の意味を確認している。

〔12月「成道会」〕

「成道会」は、「三仏忌」の一つであり、園全体の69園(83.1%)で実施されている。「成道会」は、お釈迦様のお悟りをお祝いする日であり、全体園の中で約8割以上の園で実施している。その実施内容は、ほとんどの園で式典を行い、式典の中で代表園児による献灯、献花、献香を行い、「成道会の歌」を歌い、お釈迦様のお悟りをお祝いしている。そして園長先生の講和や紙芝居、ペープサート、パネルシアターやDVD等の視聴覚教材を用いて、お釈迦様のお悟りの様子についての理解を深めている。⁽³²⁾

〔12月「もちつき」〕

「もちつき」は、各園で11月、12月、1月に実施されている。11月は園全体の4園(4.3%)、12月は園全体の60園(65.2%)、1月は園全体の8園(9.3%)で実施されている。「もちつき」は、神様に供える正月用のもちを年末につく習わしで、本来は正月前の神聖な行事として行われているものである。以前は各家庭において行われていた「もちつき」は、時代の変化に伴って消滅し、今日幼稚園、保育所、こども園において日本の伝統行事として受け継がれているものである。各園においては園内で、伝統的な「もちつき」を行い、日本古来の伝統文化を伝えているものである。中にはお相撲さんが来園して子どもたちと一緒に「もちつき」を行う園もある。また、園児が苗植えをし、稲刈りをしたお米で「もちつき」をする園もある。⁽³³⁾

〔12月「クリスマス（会）」〕

「クリスマス（会）」は、園全体の31園（33.7%）で実施されている。この「クリスマス」の行事は、本来キリスト教のイエス・キリストの降誕をお祝いする日とされている。イエス・キリストが12月25日に生まれたかどうかについては諸説があり、⁽³⁴⁾ 今日定かではないが、今日の日本において「クリスマス」は、日本の年間行事として定着している。本来「クリスマス」は、キリスト教圏においては家族と過ごし、クリスマスツリーを飾り、キリスト教の中心思想である「愛」の心でプレゼントを贈る習わしであった。今日の日本では、その宗教的な意味合いと異なり、クリスマスソングが流れ、クリスマスツリーが飾られ、クリスマス・イヴにはクリスマスケーキを食べ、プレゼントの交換が行われている。そして子どもたちはサンタクロースがプレゼントを届けてくれる日として心待ちにしているのが日本で行われている「クリスマス」の一般的な姿である。その良し悪しは別としても、今日の日本に定着している年間行事であるといえる。「クリスマス」を実施している各園では、壁面を装飾し、クリスマスツリーを飾り、クリスマスケーキを食べ、サンタクロースに扮した先生方よりプレゼントをもらい、歌やダンスによって楽しい一時を過ごしている。

この「クリスマス」について、本アンケートにおいては、「クリスマス」の実施園は園全体の31園（33.7%）、実施していない園は園全体の45園（54.2%）、無回答は園全体の7園（8.4%）であった。仏教保育実践園においても園全体の3割～4割の園（33.7%）が他の宗教の行事を実施していることになるが、前記のように「クリスマス」を宗教的意味合いで実施しているものではなく、日本独自の民間行事として、「お楽しみ会」の性質で実施している園がほとんどであると見ることができる。その反面、園全体の5割を超える園（54.2%）においては、「クリスマス」を全く実施しておらず、仏教保育実践園においては、「クリスマス」に触れる程度で、

行事として実施せず、創設者の仏教精神を大切にし、商業ベースに乗り、盛んに行われている「クリスマス」は実施していないとするものである。⁽³⁵⁾

〔1月「初詣」〕

「初詣」は、園全体の6園（7.0%）で実施されている。「初詣」は、日本古来の形とは異なり、年が明けてから初めて寺院や神社に参拝する行事であり、一年の感謝と新年の無事、平安を祈るものである。⁽³⁶⁾

〔1月「鏡開き」〕

「鏡開き」は、園全体の6園（7.0%）で実施されている。正月には年神さまへのお供えとして、縁起ものの「鏡もち」が飾られる。この「鏡もち」は年神さまへのお供えであり、年神さまが宿るところでもあるといわれている。この年神さまの宿った聖なる「鏡もち」を刃物を使わずに手や木槌等で割り、おしるこやお雑煮として食べる神聖なお祝いの行事が「鏡開き」である。各園においても園内で「鏡開き」を行って、おしるこを食べ、日本古来の伝統文化を確認する機会となっている。⁽³⁷⁾

〔2月「涅槃会」〕

「涅槃会」は、「三仏忌」の一つであり、園全体の60園（72.3%）で実施されている。「涅槃会」は、お釈迦様の入滅の日である2月15日に行われる法会である。日本の各寺院においては「涅槃図」を掲げ、『遺教経』を読誦して、お釈迦様のご遺徳を追慕、奉讃するものである。各園においては式典を行い、式典の中で代表園児による献灯、献花、献香を行っている。そして「涅槃会の歌」を歌い、園長先生の講話や紙芝居、ペープサート、パネルシアターやDVD等の視聴覚教材を用いて、お釈迦様のお涅槃の様子についての理解を深めている。⁽³⁸⁾

〔2月「節分（豆まき）」〕

「節分（豆まき）」は、園全体の74園（79.6%）で実施されている。「節分」は本来季節の変わり目である立春、立夏、立秋、立冬の前日の意味であり、特に2月3日、4日の立春の日の前夜をいい、民間行事で厄払いを行う行事である。⁽³⁹⁾ この「節分」の行事は日本の年間行事の中でも長い間多くの人々に親しまれ実施されてきている行事であり、各園においても園全体の約8割の園で実施されている。各園においては、鬼に扮した先生方に豆を投げて追い払うという厄払いの儀式を行っている。

〔2月「初午」〕

「初午」は、園全体の3園（3.2%）で実施されている。「初午」は、2月の最初の午の日に行われる稲荷祭りであり、その年の豊作、商売繁盛、開運、家内安全等の祈願と稲荷信仰が結びついたものである。この「初午」の実施3園については、宗派的にも地域的にも関連性がなく、園の方針として「初午」の行事を行い、近隣の稲荷神社を参拝していると考えられる。⁽⁴⁰⁾

〔3月「ひなまつり」〕

「ひなまつり」は、園全体の50園（53.2%）で実施されている。「ひなまつり」は、「上巳の節句」、「桃の節句」、「弥生の節句」とも呼ばれ、江戸時代より女の子の健康と成長を祝うお祭りとして定着している。この「ひなまつり」は古代中国の上巳（3月の最初の巳の日に、川でみそぎをし、お酒を飲んでけがれを払う風習）の風習と、日本の固有の農耕儀礼の払えの行事（3月の初めに海や山へ出て一日を過ごし、人形の紙で身のけがれを洗い流す習慣）が結びついたものが3月3日の「ひなまつり」といわれている。⁽⁴¹⁾ 今日、この「ひなまつり」では、ひな人形の前で楽しく会食を行い、女の子の健康と成長を願い、お祝いしている。各園においても園内にひな人形を飾り、ひなあられや菱もちを食べたり、会食をして楽しい時間を過ごしてい

る。園によってはこの時期に園の玄関に大きな段飾りをしてお祝いしている園もある。

②仏教行事について

仏教保育を実践している幼稚園、保育所、こども園における年間の「仏教行事」、特に「三仏忌」（「花まつり」・「成道会」・「涅槃会」）と「みたままつり」を中心に、その実践状況について、年間に多くの「仏教行事」が行われている中で、「三仏忌」が7割以上の園で実施され、「みたままつり」は約3割の園で実施されていることがわかった。具体的には、「花まつり」は96.4%、「成道会」は83.1%、「涅槃会」は72.3%、そして「みたままつり」は27.7%の実施状況であった。この「三仏忌」は、お釈迦様の降誕、悟り、入滅の行事であり、また、「みたままつり」は日本の伝統文化に根ざした行事で、それぞれ仏教各宗派を超えた行事の実践である。これらの「三仏忌」をはじめ、「みたままつり」の行事は各園共に各々の宗派の作法に則り、式典を行っている。その中でも各園の式典の中で代表園児による献灯、献花、献香を行い、それぞれの行事の歌を歌い、設立母体の寺院のご住職または園長先生の講和を行い、その後紙芝居、ペープサート、パネルシアターやDVD等の視聴覚教材を用いてそれぞれの行事の意味の理解を深めているものである。

また、「その他」として、「三仏忌」、「みたままつり」以外の仏教行事については、各園の設立母体の寺院が属する仏教各宗派の特色をよく表し、各園独自の仏教行事を展開している。その中で実施園の多い仏教行事を挙げると次のようになる。

・「お盆（盆踊り）」	全体 11 園（13.3%）
・「彼岸会」 春彼岸	全体 3 園（3.2%）
〃 秋彼岸	全体 8 園（9.0%）
・「青葉まつり」	全体 7 園（8.4%）
・「報恩講」	全体 5 園（6.0%）
・「節分（豆まき）」	全体 4 園（4.8%）
・「施食会」 7月	全体 3 園（3.6%）

ク 8月 全体 4園 (4.9%)
等が実施されている。(42)

そこで、この項目の問題点としては、各園共に積極的な仏教行事の実践において、「保育者の質の向上」、「保護者の理解」等の問題を挙げることができる。本アンケートの「②仏教行事について」の項目においては、特に指摘はされていないが、本アンケートの「⑦、仏教保育についての問題点・課題について」の項目に、仏教保育の実施における困難さが意見として述べられている。(43) それは「保育者の質の向上」と「保護者の理解」の二点である。「保育者の質の向上」について、各園共に仏教行事を実施するにあたり、各保育者の仏教教育の必要性と意思統一に苦勞している。それは長期にわたり実施されてきた各仏教行事の意味を把握し、その実施に向けた指導、準備がとても大変であるということである。また、「保護者の理解」については、近年の保護者の世代の方が、あまり仏教やその習慣になじみがなく、家庭環境の変化、核家族化等により園の仏教行事を受けとめにくくなってきている状況がある。それらの解決のために各園共に努力を重ねていることが理解できる。「保育者の質の向上」については、各園共に園長先生以下、ベテランの教職員による研修会の開催、外部研修への積極的な参加等を行うことにより、質の向上を目指している。また、「保護者の理解」については、入園前の説明会等において丁寧な事前説明会を行ったり、仏教保育の暗いイメージを払拭するために、日々の教育・保育の中で保護者との信頼関係を構築する等、園、保育者の日々の努力が積み重ねられている。これらの問題点を乗り越えて、各園の伝統的な「仏教行事」が展開されているということができる。

③宗教行事と民間行事について

仏教保育実践園において、年間行事の中で「宗教行事と民間行事」の実施状況について、特に仏教以外の様々な宗教行事、A.「クリスマス」、

B.「ハロウィン」、等についてご回答をいただいた。その実施状況については、前述の通り、「クリスマス」が園全体の33.7%、「ハロウィン」が園全体の14.5%の実施であった。「クリスマス」について、実施していない園は54.2%であり、その理由としては、「創立者の仏教精神を大事にする事の意を受け継いで行わない。」、「クリスマス、ハロウィンなどの民間行事は、毎年商業ベースにのり、盛んに行われているが、園としては特に扱わない。」等の理由が挙げられている。また、無回答は8.4%であった。「ハロウィン」について、実施していない園は41.0%であり、その理由としては「クリスマス」と同様に「創立者の仏教精神を大事にする事の意を受け継いで行わない。」、「仏教行事を広めていきたい。」等の理由が挙げられている。また、無回答は44.6%であった。また、その他の「宗教行事と民間行事」として、C.「七夕」、D.「節分(豆まき)」、E.「ひなまつり会」等の日本古来より神道との関係が深い民間行事で、行事の実践についての報告がなされた。それらを挙げると次のようになる。C.「七夕」園全体の51園(54.8%)、D.「節分(豆まき)」園全体の74園(79.6%)、E.「ひなまつり会」園全体の50園(53.2%)が実施されている。(44)

そこでこの項目の問題点としては、仏教保育実践園において、仏教以外の様々な宗教行事について、特にA.「クリスマス」、B.「ハロウィン」について、これらの行事は長い時間を経て本来の宗教的な意味合いを持たず、日本独自に進化した年間行事として定着してきている。仏教保育実践園においては、本来、他の宗教の行事の実施は有り得ず、それぞれの園行事として定着することはないはずである。しかし本来の宗教的な意味合いとは関係なく、日本独自の年間行事としての「クリスマス」、「ハロウィン」の位置づけでの各園の実施と見ることができ。前述の通り、「クリスマス」の実施は園全体の33.7%、「ハロウィン」の実施は園全体の14.5%である。世の中が「クリスマス」、「ハロ

ウィン」を大々的に宣伝している状況の中で、仏教保育実践園のみが敢て「クリスマス」、「ハロウィン」から目を背け、取り上げないことも大変不自然な状況といえる。そこで「クリスマス」、「ハロウィン」を園行事としていないという園において、次のような意見が寄せられている。「クリスマスには触れるが、行事としては取り入れていない。」、「クリスマスは保育の中には組み入れていません。課外の英語ではクリスマスパーティーをしています。」、「クリスマスは季節のものとして紹介し、それらにちなんだ製作などは行うが、特にその意味などは説明せず、各職員の判断による。」、「ハロウィンは保育の中では組み入れていません。課外の英語では、ハロウィンパーティーをしています。」⁽⁴⁵⁾等々多くの園において園行事に設定することは困難であるが、今日の日本の独特な年間行事としての「クリスマス」、「ハロウィン」が位置付けられているといえる。これらの園を含めると「クリスマス」、「ハロウィン」の実施園の数はさらに多くの園となるものである。

また、他の宗教行事と民間行事として、日本古来より受け継がれている「七夕」園全体の54.8%、「節分（豆まき）」園全体の79.6%、「ひなまつり」園全体の53.2%等においても、長い時間をかけて、外国の文化と日本の文化が融合し、日本独自の民間行事として定着しているものである。これらの行事については、ほとんどの園においてあまり抵抗なく受容され、仏教保育実践園においても年間行事として定着している。

5. その他の活動について

①通常保育以外の長時間保育

今回のアンケート調査において、「通常保育以外の長時間保育」の項目について、その調査項目が細かくなり過ぎ、重複する内容（「延長保育」、「預かり保育」、「早朝保育」）も多く含んでしまった結果として、個々のすべての項目に対してご回答を頂けず、いずれかの項目にの

み回答いただいた点が見受けられる。

その中で、「土曜保育」を実践している園は、アンケートへの記載は全体で5園（6.1%）であるが、保育所・こども園については土曜日に通常保育が行われており、保育所・こども園においては記載がなされていないだけで実質はほとんどの園において実施されているといえる。この土曜保育については基本的に希望者を対象とするものであり、通常より人数も少なく、縦割り保育を実施している園がほとんどである。また、保育時間も各園により異なり、7:30～17:00や8:30～16:00など様々な保育時間が設定されている。

また、「延長保育（「早朝保育」を含む）」を実践している園は、全体で55園（67.1%）であり、約7割の園において実施されている。この「延長保育」は通常の保育時間の開始前と終了後に実施されているもので、希望者を対象とするもので、毎日の保育の延長で実施されており、複数の担当職員による縦割り保育がほとんどである。保育時間も各園により異なり、幼稚園の場合は通常の保育時間の開始前は8:00～保育開始時間まで、保育終了後～18:00（一部～19:00）までである。保育園・こども園の場合は通常の保育時間の開始前は7:00（一部6:00～）～保育開始時間まで、保育終了後～19:00（一部～20:00まで）までである。これらは保護者サービスとして実施している園がほとんどであり、通常の保育者以外に他の資格保有の職員によって運営されている園が多い。また、この延長保育は定員を定め有料で行っている園も多くある。

また、「預かり保育」を実践している園では、幼稚園では希望者を対象にして、夏休み、冬休み、春休み等の長期休暇中に日数を定めて実施している。また保育園・こども園では市町村からの依頼による一時預かり保育を実施している園もある。

また、「一時保育」を実践している園は、保育園・こども園のみで8園（9.8%）であり、希

望者を対象に登録制で一時預かり保育を行っている。その中でも利用料(1日3,500円・半日2,000円)、昼食代(300円)、おやつ代(100～200円)等がある。さらに緊急一時保育を行っている園もある。

また、「休日保育」を実践している園は、全体で6園(7.3%)であり、休業日預り、長期休暇中の預りを実施している園は、保育園・こども園のみで2園(2.4%)である。

そして、「その他」の保育を実践している園は、3(3.7%)園であり、「学童保育」、「地域子育て支援センター」の実践が挙げられている。

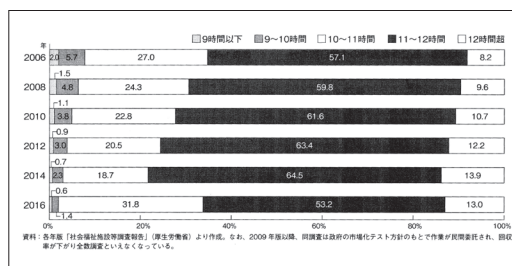
そこで、この項目の問題点としては、今日の高度に発展した日本社会において、少子化、都市化、核家族化、男女共同参画社会の進展等により、「預かり保育」(46)、「延長保育」の社会的なニーズが急速に高まり、幼稚園においても教育時間の前後、土曜、日曜、さらに長期休業期間中においても、「預かり保育」が実施されているのが現状である。文部科学省の「預かり保育」の実施園数の調査によれば、公立幼稚園と私立幼稚園における「預かり保育」の実施園の状況は以下の通りである。(47)

	平成17年 6月1日現在	平成16年 6月1日現在	平成9年 8月1日現在	平成5年 10月1日現在
公立幼稚園	2,377(44.1%)	2,328(41.9%)	330(5.5%)	318(5.2%)
私立幼稚園	7,182(86.6%)	7,091(85.3%)	3,867(46.0%)	2,541(29.5%)
合計	9,559(69.9%)	9,419(67.9%)	4,197(29.2%)	2,859(19.4%)

【預かり保育実施状況の表】

以上のように、「預かり保育」の実施園は年々増加しており、今回のアンケート調査の仏教保育実践園においても、「土曜保育」、「延長保育」、「預かり保育」、「早朝保育」、「休日保育」を総合すると、ほとんどの園が実施している現状である。また、「預かり保育」、「延長保育」の拡大に伴い、各園ともに開所時間、日数の増加が顕著となっている。全国保育団体連絡会・保育研究所編『保育白書2018』(ちいさいなかま社)

によれば、「1981年、保育時間延長のための国庫補助が制度化され、延長保育が開始されるなかで、開所時間が少しずつ延び、開所時間・保育時間は長時間化がすすんできた。」と述べられており、(48)各園共に長時間保育が実施されている。その表を示すと次の通りである。



【開所時間別保育所数の割合のグラフ】(49)

これらの現状により各園共に保育者の確保が切実な問題となっている。(50)各園共に社会、保護者のニーズに合わせた長時間保育に対応すべく努力を重ねている現状である。

②課外活動

仏教保育実践園における「課外活動」の実施について、保護者等の要請に応えるべく、様々な「課外活動」を実施している。今回の「課外活動」に対する回答園は、幼稚園は園全体の40園、保育所は園全体の24園、こども園は園全体の10園である。その各園が一つの「課外活動」を実施しているわけではなく、一つの園が複数の「課外活動」を実施している。今回の集計においては、「課外活動」を種類ごとに分類し、それぞれの「課外活動」の数を1園として集計している。その中で「課外活動」を実施している園は、幼稚園は園全体の93園(97.5%)、保育所は園全体の23園(95.8%)、こども園は園全体の10園(100%)であった。その代表的な「課外活動」は、「体育・体操・新体操教室」は園全体の44園(59.5%)、「英語・英会話教室」は園全体の32園(43.2%)、「音楽・ピアノ教室」は園全体の29園(39.2%)、「サッカー教室」は

園全体の26園(35.1%)、「美術・絵画教室」は園全体の17園(23.0%)、「スポーツ教室」は園全体の12園(16.2%)、「学研教室」は園全体の8園(10.8%)、「バレエ教室」は園全体の7園(9.5%)、「書道教室」は園全体の7園(9.5%)、「ダンス教室」は園全体の5園(6.8%)等が代表的なものである。これらの「課外活動」は仏教保育実践園以外の一般の園においても実践されている一般的な「課外活動」の内容といえる。その反面、幼稚園で1園、保育所で1園の2園では、「課外活動」を実施していないとの回答であった。その理由は、「課外活動は理事長の方針でやっておりません。」「園児ひとりひとりが自己を発揮して、のびのびと成長していける保育を大切にしているため、たくさんの遊びの中から学ぶことを基本としている。よって〇〇教室のようなことは行っていない。」との意見であった。

そこで、この項目の問題点としては、全ての園が、地域、保護者の要請に対し、対応できるわけではなく、そこには施設面、経済面、そして園の教育・保育方針に従った実施内容等、様々な要因が関わってくるといえる。ただし、今日、少子化が進む状況の中で、「課外活動」の実施が園児の獲得につながる場合もあると考えられる。

③地域活動への参加状況

「地域活動」への参加状況は、幼稚園38園回答中、実施している園は園全体の25園(65.8%)、実施していない園は園全体の13園(34.2%)、保育所28園回答中、実施している園は園全体の25園(89.3%)、実施していない園は園全体の4園(14.3%)、こども園9園回答中、実施している園は園全体の9園(100%)である。このように仏教保育実践園においては、「地域活動」に積極的に参加していることがわかる。その代表的なものを挙げると、「おまつりへの参加」は園全体の22園(28.0%)、「老人ホーム訪問」は園全体の17園(17.3%)、「地域活動参加

(パレード、文化祭、音楽祭、絵画展等)」は園全体の9園(9.3%)、「小学校との交流」は園全体の6園(6.7%)、「施設訪問、慰問」は園全体の5園(4.0%)、「子育て支援」は園全体の4園(5.3%)等がある。

幼稚園、保育所、こども園の活動は、地域に根差した活動であることが大切である。近年、子ども子育て支援の拠点となって、地域社会との密接なつながりの重要性が改めて取り上げられている。平成30年4月施行の『幼稚園教育要領』にも示されている通り、「地域の実態や保護者の要請により、教育課程に係る教育時間の終了後等に希望する者を対象に行う教育活動については、幼児の心身の負担に配慮するものとする。」⁽⁵¹⁾ また、「幼稚園の運営に当たっては、子育ての支援のために保護者や地域の人々に機能や施設を開放して、園内体制の整備や関係機関との連携及び協力を配慮しつつ、幼児期の教育に関する相談に応じたり、情報を提供したり、幼児と保護者との登園を受け入れたり、保護者同士の交流の機会を提供したりするなど、幼稚園と家庭が一体となって、幼児と関わる取り組みを進め、地域における幼児期の教育センターとしての役割を果たすように努めるものとする。」と述べられている。⁽⁵²⁾ 地域に根ざした幼稚園、そして子育て支援の拠点等について、今日の社会の要請の中で、『幼稚園教育要領』の中に明示されている。このような状況の中で、仏教保育実践園の多くは、各園の設立母体である各寺院の長い歴史の中で地域に根ざした活動を直接受けて、各園共に地域の様々な活動の拠点となっている。今後も形を変えながら、地域社会の教育・保育の拠点となり、そして子育て支援の拠点となっていくことが必要であると考えられる。

6. 新学習指導要領・保育所保育指針の改訂、実施について

本アンケートは、平成29年6月に実施され

たもので、平成30年4月1日施行の『幼稚園教育要領』、『保育所保育指針』、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』の同時改訂（改定）、施行の前年に実施したものである。それは各園共に教育・保育内容の改訂の移行の期間に当たり、各園の改訂の方向性、内容について調査することが目的であった。仏教保育実践園における新要領・新指針の改訂（改定）についての準備状況として、「検討中」が園全体の18園（29.5%）、「変更なし」が園全体の13園（21.3%）、「研修会実施」が園全体の4園（6.6%）、「特になし」が園全体の17園（27.9%）であった。園全体の4割の園において各種の研修会の実施を含み、検討を重ねている最中であった。園全体の約2割の園において、現行のものとの変更はないというもので、残り園全体の約3割の園において「特になし」との結果であった。

また、その他の意見として、次のような意見が寄せられている。「指導計画に盛り込む。」、「仏教行事をしっかりと伝える。」、「園の方針に従い自信を持って保育を行う。」、「保育課程の見直し。」、「指導計画の見直し。」、「行事の見直し。」等の意見が寄せられた。これらの具体的な観点に基づいて各園が改訂案を作成していくことになる。今回のアンケート調査は、6月の実施であり、1学期末の大変忙しい時期の依頼であり、現在検討中の各園においては、夏期休暇中に具体的な方向性を出していく予定であったと思われる。注目すべき点としては、園全体の約2割の園において、「変更なし」（21.3%）との回答があった。それは現行（平成29年度6月現在）の教育・保育が新要領・新指針にすでに対応している教育・保育内容であるといえることができる。

今回の新要領・新指針の改定のポイントは、前述の通り、⁽⁵³⁾ 汐見稔幸氏は、「①保育・教育の基本原則は「環境を通して行う」ものであること、②3つの柱からなる「資質・能力を育む」こと、③「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を明確にして保育・教育に取り組むこと、

④幼保小の接続をより円滑化すること。」と述べているように、これらの改訂（改定）のポイントを踏まえ、各園においては園内外での各種の研修、勉強会を通し、新たな『幼稚園教育要領』、『保育所保育指針』、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』に基づき、仏教保育実践園独自の特色ある教育・保育を展開していくための準備が進められているといえる。

7. 仏教保育についての問題点・課題について

本アンケートにおいて、仏教保育実践園が日々の教育・保育を展開していく上での様々な問題点・課題が指摘されている。この項目は本論における中心テーマといえる。幼稚園、保育所、こども園のそれぞれの園において、温度差はあるものの総じて各園の抱える問題点・課題を整理し、分類集計すると次のようになる。

A. 「保育者の質の向上」（全体11園19.3%）

各園ともに、人間形成の基礎、基本を確立する幼児期に仏教教育が必要でありあり、仏教保育を展開する上で教職員の意思統一、保育者の質の維持、向上が常に課題とされている。教職員に対する研修・指導には限りがあり、若手の保育者をはじめとして全教職員への教育・保育方針の周知が難しく、さらなる研鑽が必要とされる。

B. 「保護者の理解」（全体14園24.6%）

仏教保育の実践においては保護者の理解が前提となる。そこで仏教保育に対する保護者の意向に基づく様々な意見が寄せられている。それらを挙げると次のようになる。

〔幼稚園〕

- ・入園説明会等で事前に仏教保育を行っていることを説明し、理解してくださっていないと入園後にトラブルが起きるかもしれない。
- ・（仏教保育は）なかなか目に見えて表現しづ

らいので、初めての方や見学に来られる方などにはどうしても説明がしにくい。

- ・こころの保育であり、生かされているいのちであるという「有難さ」を感じ、すべてのものに感謝できる子どもを育てるといっても、やはりそうなった時に初めて「そういうことなんだ」と保護者には感じてもらえるので、その辺が難しい。そしてやはり他宗教行事より仏教行事は暗いイメージがあるようだ。
- ・少数ですが、あまり宗教色（佛教色）を出すと、嫌がる人がおります。
- ・親の世代の方があまり仏教やその習慣についてなじみのない方が多いように感じる。

[保育所]

- ・保護者及び園児が仏教保育を理解し、日常生活の中でも実践することが課題である。
- ・宗派の特徴的な部分に力を入れすぎると反発される恐れがあるので、仏教保育といっても加減が難しい。
- ・様々な考え方の家庭があるので、「仏教」とひとくくりにするのは、難しい事が多々見られる。しかし基本的な理念はしっかりと保育に取り入れていきたい。
- ・家庭の環境の変化、核家族化により伝統文化の消滅、信仰心の欠如、仏教行事（イベント）のマンネリ、魅力の欠如などがある。
- ・保護者の宗教観が形成されておらず、また、個人差が大きく、仏教行事を季節のお楽しみとしてとらえている。本来の意味合いがどこまで理解されているのかという疑問がある。

[こども園]

- ・過度な宗教教育はやっていない、様々な信仰を持たれている家がある為。
- ・宗教色を強く前面に押し出すと受け入れてくれない保護者もいると思う一方、日々の活動の節目で手を合わす事をしているが、これについては全保護者が好意的である。
- ・宗教というと保護者に対してあまり良いイメージがなく、受け入れが良くないので、保護者に対してわかりやすくする必要がある

と思う。

以上のように、仏教保育を実践していく上での様々な課題・問題点が挙げられている。

その反面、好意的な意見も寄せられている。それらを挙げると次のようになる。

[保育園]

- ・保護者の方々にも感謝されております。

[こども園]

- ・現行の制度が毎年のように変化する中、仏教保育は変わるものがなく、ぶれることなく行えて、かえって現代薄れがちなものを獲得できるので、保護者にも喜ばれています。
- ・例年ホール（仏壇常設）で行っていた卒園式を寺本堂で実施したところ、若い保護者の方から「仏様に見守られ、仏教園の意義を実感できた」という意見を頂き、園児だけでなく、保護者にももっと積極的に伝えるべきことがあると思いました。

以上のように、仏教保育実践に対する保護者の好意的な意見、そして感謝が述べられている。

C. 「外国籍の子ども」（全体4園7.0%）

日本社会の国際化に伴い、各園共に年々外国籍の子どもたちの入園数が増加している。その状況の中で各園共に一人ひとり丁寧な対応をすることによって外国籍の子どもたちを受容している。その際に仏教的な集会、行事の際には、別室で他の活動をするような配慮を行っており、その対応が難しく、手間のかかるものである。しかし外国籍の子どもたちもその対応によって各園の生活に溶け込み、特に大きな問題はないと述べられている。

D. 「お寺の役割」（全体2園3.5%）

仏教保育は、是非、仏教施設（寺院）を用いて実践することが望ましく、また、神仏の存在を受け入れてもらえるようにすることも仏教保育を実践している園（お寺の幼稚園等）の役割

であると述べられている。

E. 「問題なし」 (全体 4 園 7.0%)

仏教保育実践園においては、仏教保育を通じ、子どもが社会の中で生活していく上で大切な教えを、日々の保育の中で実践している。その中で素直に手を合わせる、生命を大切にすること等、人として生きていくための原点について、子どもが理解できるように話をし、実践している。それらの仏教保育実践園の活動は、地域社会に根ざし、保護者にも自然に受け止められている状況であり、特に問題はないと述べられている。

F. 「特になし」 (全体 15 園 26.3%)

仏教保育の実践について特に問題点・課題はないと回答されている。

G. 「その他」 (全体 6 園 10.5%)

仏教保育についての問題点・課題について、「その他」として次のような意見が寄せられている。

[幼稚園]

- ・宗派を超えた形で、お釈迦さま中心に行っているのが、なかなか宗派のことができない。(浄土宗なので「念仏」とか)。(2 園)
- ・現在は、学校基本法で幼稚園(私学助成)ですが、将来こども園的な施設とならなければ(私学助成がなくなる時)ならない時、仏教教育が続けられるか不安である。

[保育所]

- ・仏教保育園であっても、仏教保育を実施しない園が増えてきている状況が見受けられる。対応策を講じなくてはならないと感じている。
- ・公立の保育園と違い宗教教育を行っている園は、保育理念がしっかりしていると思うので、他宗教の園と交流することがあるとおもしろいと思うし、勉強にもなると思う。
- ・佛教の言説には、「浄土に導いていただける

ことは、有難い」と来世を語るものが多く、現世を述べるものが少ないように思われる。老人や病人ならともかく、これからの人生が長い(と想定される)園児や保護者、職員たちに対して、こういう言葉が、どこまで、生きていくうえでの励みになるのか疑問である。また、「浄土へ行ける喜び」を過度に強調すると、自殺の多い我が国において、その抑止力にならないのではないだろうか。

以上のように、仏教保育を実践していく上で様々な問題点・課題が寄せられている。

そこで、この項目の問題点としては、各園の問題点・課題をまとめると「保育者の質の向上」、「保護者の理解」に集約することができる。「保育者の質の向上」について、仏教保育実践園において、教職員間における仏教精神の共有が最大の課題であるといえる。各園の建学の精神に基づいて、各園創設の理念が、教育・保育方針となっているものであり、今日、高度に発展した社会の中で、時代の流れとともに教職員の受け止め方も変化し、創設当時の精神を維持し、教育・保育を展開することが難しいと各園共に感じているものと思われる。次に、「保育者の理解」について、様々な家庭の考え方があり宗教というと保護者にあまり良いイメージがなく、入園説明会等で、仏教保育についてわかりやすく、丁寧に説明して事前に理解を得る必要がある。事前に理解を得られない場合には、入園後に様々なトラブルにつながってしまうことがある。また、保護者の世代が、近年仏教やその習慣になじみのない人が多く、事前にしっかりと説明をする必要があるということである。子どもの入園後に保護者共々仏教の教え、そしてその習慣を学んでいく機会を意図的に作る必要があると思われる。一方、仏教保育を全面的に支持し、受容して、仏教保育実践に対して好意的に、そして感謝の気持ちを述べている例も同時に報告されている。

これらのことより仏教保育実践園において

は、長い伝統の中で培ってきた仏教保育の精神を、確固たる信念のもと、自信を持って実践していくことが大切なことであると考える。

8. その他

「その他」の項目について、保育者養成校への希望、その他の意見等について自由に記載していただいた。その結果、幼稚園25園、保育所17園、こども園4園よりの回答があった。それら各園の希望、意見を挙げると次の通りである。

A. 「求める人材（学生）」（全体18園38.3%）

「求める人材（学生）」について、保育者として求める人材として、各園より次のような意見が述べられている。

- ・大人としてのマナー、あいさつ、身だしなみがしっかりしている。
- ・明るく前向きで、健康的な人。
- ・相手とのコミュニケーションがとれる。
- ・受け身でなく自ら積極的に働きかけができる。
- ・腰が軽く言われたことがすぐに実行できる人。
- ・ボランティア、アルバイトなど、様々な社会経験をしている。
- ・適切な言葉づかいができています。
- ・様々な考え方の人を受け入れることができる。

等の意見が寄せられている。

多くの園において、社会人としての基本的なマナーを身につけて、明るく、積極的な姿勢で保育に臨むことが大切であるとするものであり、保育に対して意欲的な人材を期待しているという意見が多く寄せられた。

B. 「就職依頼」（全体12園25.5%）

「就職依頼」について、幼稚園、保育所、こ

ども園の各園ともに保育者の確保が難しく、保育者が不足した状態での日々の保育活動を展開し、各園ともに保育者不足が切実な問題となっている。⁽⁵⁴⁾そこで各園ともに保育者の求人募集の依頼の意見が多く寄せられている。特に保育所より、回答をいただいた園の過半数を超えた数の園より求人募集の依頼があった。さらにその中には仏教保育の実践園として、仏教系の養成校より就職を期待する意見も含まれている。

C. 「人材の育成」（全体6園12.8%）

「人材の育成」について、各園ともに養成校には良い人材の育成を期待しているとの意見が寄せられている。さらに具体的に「子どもの考えを尊重しながら伸び伸び子どもが活動できるような保育のできる保育士の養成を望む。」等の意見が寄せられている。

D. 「ピアノ指導」（全体4園8.5%）

「ピアノ指導」について、保育所以外の幼稚園、こども園より意見が寄せられている。ピアノの技術は、現場に出てからでは修得するには苦労が大きく、学生のうちに修得した上でそれぞれの園に就職する必要がある。そこで養成校においてはピアノなどの実技指導にもっと力を入れた指導をしてほしいとの意見が寄せられている。

E. 「歌指導」（全体2園4.3%）

「歌指導」について、幼稚園より意見が寄せられている。仏教系の養成校において、近年「仏教讃歌」等の指導がなされておらず、園に就職後に初めて「仏教讃歌」を知る状態であり、特に仏教系の養成校の指導の中に「仏教讃歌」等の仏教関係の歌の指導をお願いしたいとの意見が寄せられている。

F. 「特になし」（全体6園12.8%）

「その他」の項目について特にないと回答さ

れている。

以上のような各園の希望、意見が寄せられた。

そこで、この項目の問題点として、各園から寄せられた意見をまとめると、「求められる人材の育成」、「就職依頼」、「養成校としての具体的な指導」の三点に集約することができる。その問題点として、第一に、「求められる人材の育成」について、どの企業体においても同様であるが、特に保育職に限定した人材の育成が求められている。大人としてのあいさつ、マナー、コミュニケーションは当然であるが、その他に保育職として子どもの考え方を尊重し、子どもがのびのびと活動できるような人材の育成が望まれている。そのためには学生時代に、保育についての専門的な知識の修得を前提とし、その他にボランティア活動、アルバイト等、様々な社会経験を通して多くのものを見て、様々な人々を受け入れることのできる積極的で、前向きな、そして意欲的な人材を保育の現場では求めているといえる。

第二に、「就職依頼」については、各園共に切実な問題としての保育者不足に関する意見が多く寄せられている。近年の日本社会における全国的な保育者不足が社会的な問題となっている。仏教保育実践園においても同様の問題であり、保育者の人材確保が難しく、切実な問題として挙げられている。⁽⁵⁵⁾ 園によっては慢性的に保育者が不足した状態で、日々の教育・保育が展開されている園も存在しており、大変深刻な現状である。特に保育所より回答をいただいた園の過半数を超える園（17園中9園）より求人募集意見が寄せられた。さらに仏教系の養成校よりの求人を期待する意見も寄せられた。各園からの就職依頼について、仏教系の養成校としてもできる限り応えていきたいと思っているところではあるが、なかなか各園の期待に応えられる状況になっていないのが現状である。養成校の1つとして本学の就職状況について、平成29年度の「仏教保育アンケート」実

施に伴い、平成28年度の就職状況を挙げると次のようになる。⁽⁵⁶⁾ 保育関係求人件数は、卒業生119名に対し、幼稚園667件、保育所1,368件、施設121件、その他92件の合計2,248件である。保育科の進路先は、幼稚園37名(31.1%)、保育所64名(53.8%)、施設5名(4.2%)、一般企業3名(2.5%)、その他進学等10名(8.4%)である。その中で仏教園への就職については、幼稚園2名(1.7%)、保育所5名(4.2%)であった。このような状況の中で、なかなか仏教保育実践園からの就職依頼に応えられていない現状である。

第三に、「養成校としての具体的な指導」について、特にピアノと歌の指導の必要性が挙げられている。「ピアノ指導」については、保育所以外の幼稚園、こども園から意見が寄せられており、学生のうちにピアノを修得した上で各園に就職することが望ましく、養成校においてもピアノの実技指導にもっと力を入れてほしいとの意見であった。また、「歌指導」について、近年仏教系の養成校においても「仏教讃歌」の指導がなされていないようで、仏教園に就職した後に初めて「仏教讃歌」を知る状態であり、仏教系の養成校においては、音楽指導の中に「仏教讃歌」の指導を入れて欲しいというものである。各養成校においては、それぞれのカリキュラムに従って音楽等の指導を行っており、「仏教讃歌」に限定した指導は困難であると思われるが、仏教系の養成校の責任として、仏教行事の代表的な「三仏忌」等に関する「仏教讃歌」の指導も必要であると考えられる。

IV. まとめ

「仏教保育アンケート」から見る仏教保育実践園の現状と課題について、今回の「仏教保育アンケート」を通して仏教保育実践園の現状と課題が明確になった。その現状としては「仏教保育アンケート」集計結果の通りであり、仏教保育実践園における課題は次の六点に集約する

ことができる。

第一は、「クリスマス」や「ハロウィン」等の日本に独自に進化した宗教行事と民間行事であり、本来の宗教的な意味合いとは異なり、日本独自に進化した宗教行事と民間行事の実態についてである。仏教以外の宗教行事である「クリスマス」、「ハロウィン」等については、今日の日本においては、その宗教的な要素をほとんど有せず、一種の季節のイベントとして実施されている現状の中で、仏教保育実践園においては「クリスマス」（実施 33.7%、実施しない 54.2%）、「ハロウィン」（実施 14.5%、実施しない 41.0%）については、約半数園において「創立者の仏教精神を大事にする事の意を受け継いで行わない。」「仏教行事を広めていきたい。」等の理由で実施をしていない。しかし日本の社会全体の流れの中で、大変苦しい状況の中で仏教精神を貫いているといえる。一方、日本古来より神道と関係の深い「七夕」（実施 54.8%）、「節分」（実施 79.6%）。「ひなまつり」（実施 53.2%）等の民間行事については、仏教保育実践園においてもあまり抵抗なく受容され、園行事として定着し、実施されている。これらの様々な宗教行事、民間行事は長い時間を経て、本来の宗教的な意味合いとは異なり、日本で独自に進化した年間行事として定着してきているもので、各仏教保育実践園の教育・保育方針に基づいた行事の実践ということができる。

第二は、「保育者の質の向上」であり、各園の仏教精神を教職員の間で共有することが課題であり、今日、高度に発展した社会の中で、各園の創設当時の精神を維持して教育・保育に展開することのむずかしさを各園共に感じているものである。

第三は、「保護者の理解」であり、仏教保育を実践するにあたり、入園前より仏教保育についてわかりやすく、丁寧に説明し、入園前に保護者の理解を得る必要があると感じている。

第四は、「求められる人材（学生）の育成」であり、各園共に保育者の確保が深刻な問題で

ある。そして各園の求める人材（学生）は、保育者として子どもの考えを尊重し、子どもとともにのびのびと活動できるような人であり、多くのものを見て、様々な人々を受け入れることができ、積極的で前向きで、そして意欲的な人材を望んでおり、養成校にその育成を期待しているものである。

第五は、今日の日本社会における深刻な問題である保育者不足に伴う「就職依頼」である。仏教保育実践園においても保育者不足は切実な問題として、多くの園より意見が寄せられている。特に保育所において、回答をいただいた園の過半数を超える園より求人募集の意見が寄せられている。仏教系の養成校としても一人でも多くの学生を仏教保育実践園に就職できるように指導を重ねていくことが仏教系の養成校の使命であると考ええる。

第六は、「養成校としての具体的な指導」であり、各園より養成校に向けて、特にピアノ指導、歌（「仏教讃歌」）指導の必要性の意見が寄せられている。養成校としてこのピアノ、歌の指導が必要であり、使命であると考ええる。

今回の「仏教保育アンケート」によって、仏教保育を実践するにあたり、様々な問題点、課題等が明確となった。そして仏教保育実践園の現場の園長先生をはじめ、すべての教職員の方々の日々の努力によって多くの問題を乗り越え、長い時間の経過と共に各園の教育・保育が継続されてきていることを改めて確認することができた。そして養成校としての責任、使命を再考させられるものであった。

現在、仏教保育を実践している園においては、お釈迦様、各宗派の宗祖の生き方、教えを通して幼児期の心の活動を一層活発なものとして、一人ひとりの子どもが正しい心を構築し、自らの力で正しい道に進んでいけるように導くような教育・保育を展開している。平成 30 年度の新要領、新指針の改訂（改定）、施行によって、幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園の 3 つの幼児教育組織を「幼児教育を担う施設」と

位置づけている。各園においては、今まで以上に教育・保育の意図的な働きかけが重要になってきている。(57) そのような状況の中で、今後、仏教保育実践園においては、仏教保育の柱である「生命尊重の保育」をより一層推し進め、仏教の教えに基づき、各園の創設当時より脈々と受け継がれている建学の精神、教育・保育方針に基づいた意図的な教育・保育を確固たる信念のもとに、自信を持って展開していくことが大切であると考えます。

今後の課題としては、仏教保育実践園のみならず、一般の公立、私立幼稚園、保育所、こども園との比較研究が必要であり、さらに調査研究を進めていく。

【謝辞】

この度、「仏教保育アンケート」にご協力をいただいた各園の園長先生をはじめ、諸先生方に心より御礼申し上げます。平成29年度6月から7月にかけてのアンケート調査の実施であり、学期末の大変お忙しい中、ご丁寧なご回答をお寄せいただき誠にありがとうございました。ここに重ねて御礼申し上げます。

【註】

- (1) 今回のアンケート調査における「こども園」の10園は、全て「幼保連携型認定こども園」であり、以後「こども園」と表記する。
- (2) 汐見稔幸、無藤 隆監修『保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説とポイント』（ミネルブア書房）p49～p60、P360～p365、P413～p417に改定のポイントが述べられている。また、汐見稔幸「新指針・新要領のポイント そしてこれからの保育」（『児童研究』（学校法人聖心学園発行）第

684号・第63巻・第3号 平成29年12月15日）p1に、「4つのポイント」が集約して述べられている。

- (3) 幼稚園、保育所、こども園のそれぞれの回答園数に基づく数値、パーセンテージであり、以下の項目の数値、パーセンテージもすべて同様である。
- (4) 幼稚園、保育所、こども園の回答園の総数に基づく数値、パーセンテージであり、以下の項目の数値、パーセンテージもすべて同様である。
- (5) 「公益社団法人 日本仏教保育協会」（緑谷一雄理事長）は、仏教に基づいた保育の充実を図り、仏教保育を推進するため、昭和4年に仏教系幼稚園、保育園及び養成機関の全国組織として発足し、昭和44年11月15日に文部省（当時）から社団法人の認可を得て、さらに、平成24年度に内閣府より公益社団法人の認定を受け、活動を続ける最も歴史の長い保育団体である。この「日本仏教保育協会」への加盟園は、1099施設、幼稚園598園、保育園480園、こども園21園、養成機関30校（平成27年度現在）である。また、「日本仏教保育協会」の基本方針は、「生命尊重の保育の確立と心の教育の推進」であり、1.生命尊重の保育推進、2.活力ある日仏保をめざし会員の為の運営基盤の確立を図る、3.魅力ある日仏保を確立し会員の期待に応える、4.国際交流・社会貢献のできる日仏保をめざすというものである。
本部 〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4 明照会館内
<http://www.buppo.com/index.html>
- (6) 文部省『幼稚園教育要領』（平成10年12月14日文部省告示 第174号 平成12年4月1日施行）を参照。
- (7) 同一園において複数の同種類の行事を行っており、それらを全て集計している。

- また、「その他」の欄に各園から寄せられた全ての行事を記載している。
- (8) 「七夕」について、本論「4. 年間行事について ①年間行事（7月）」に基づいた集計である。
- (9) 「節分（豆まき）」について本論「4. 年間行事について ①年間行事（2月）」に基づいた集計である。
- (10) 「ひなまつり」について本論「4. 年間行事について ①年間行事（3月）」に基づいた集計である。
- (11) 「七五三」について本論「4. 年間行事について ①年間行事 11月」に基づいた集計である。
- (12) 園児の定員充足状況について、ベネッセ次世代研究所編「第2回幼児教育・保育についての基本調査報告書〔2012年〕」〔第1章園の環境・体制・園児数 第3節園児数・定員充足率〕p38～p44に詳説されている。
- (13) 本論「Ⅱ. アンケート集計結果 8. その他 C. 就職依頼」の項目に「各園共に保育者の人材確保が難しく、保育者が不足した状態での日々の保育活動を展開し、各園共に保育者不足が切実な問題となっている。」とアンケート集計の中で述べられている。
- (14) 今日の日本社会の保育者不足の現状について、蓑輪明子「保育政策と保育士処遇の現状 - 賃金と労働条件の両面から -」（全国保育団体連絡会 / 保育研究所編『保育白書 2018年』ちいさいなかま社）p146～p156に詳説されている。
- (15) 教育・保育目標の設定について、ベネッセ次世代研究所編「第2回幼児教育・保育についての基本調査報告書〔2012年〕」〔第2章保育・教育的な活動 第1節教育・保育の目標〕p46～p47に詳細な調査報告がなされている。
- (16) 仏教保育実践園における問題点として、
- 本論「Ⅱ. アンケート集計結果 7. 仏教保育についての問題点・課題について B. 「保護者の理解」」参照。
- (17) 「花まつり」については、曹洞宗保育連合会編『曹洞宗保育ハンドブック』（曹洞宗宗務庁）p63～p64に詳説されている。また本論「Ⅱ. アンケート集計結果 4. 年間行事について ②仏教行事 A. 「花まつり」」参照。
- (18) 「青葉まつり」については、藤井正雄遍『仏教儀礼事典』（東京堂出版）p352、佐藤隆賢監修『わが家の仏教真言宗』（四季社）p180～181、一般社団法人高野山宿坊協会HP 行事の年間日程「青葉祭」<https://www.shukubo.net/contents/event/>参照。また、本論「Ⅱ. アンケート集計結果 4. 年間行事について ②仏教行事 E. 「その他」・「青葉まつり」」参照。
- (19) 「みたままつり」については、藤井正雄遍『仏教儀礼事典』（東京堂出版）p22～p25、曹洞宗保育連合会編『曹洞宗保育ハンドブック』（曹洞宗宗務庁）p68～p69参照。また、本論「Ⅱ. アンケート集計結果 4. 年間行事について ②仏教行事 D. 「みたままつり」」参照。
- (20) 「施食会」については、曹洞宗保育連合会編『曹洞宗保育ハンドブック』（曹洞宗宗務庁）p69、藤井正雄遍『仏教儀礼事典』（東京堂出版）p112～p114、松野純孝遍『仏教行事とその思想』（大蔵出版）p191参照。また、本論「Ⅱ. アンケート集計結果 4. 年間行事について ②仏教行事 E. 「施食会」」参照。
- (21) 「七夕」の由来について、萌文書林編集部◎編『子どもに伝えたい年中行事・記念日』（萌文書林）p52～p53、岩井宏實監修『日本の年中行事百科』（河出書房新社）p28～p35、深光富士男著『日本の年中行事』（学研）p10～p19等に、日本古来の風習

- と中国から伝わった星祭りや乞巧奠が一つになって成立した日本古来よりの伝統行事であることが詳説されている、参照。
- (22) 「お盆」については、曹洞宗保育連合会編『曹洞宗保育ハンドブック』（曹洞宗宗務庁）p68～p69、藤井正雄編『仏教儀礼事典』（東京堂出版）p22～p27、松野純孝編『仏教行事とその思想』（大蔵出版）p102～p105に詳説されている、参照。
- (23) 「盆踊り」について、本論「Ⅱ. アンケート集計結果 4. 年間行事について ①年間行事 8月「お盆」参照。
- (24) 「お彼岸（彼岸会）」については、曹洞宗保育連合会編『曹洞宗保育ハンドブック』（曹洞宗宗務庁）p67～p68、藤井正雄編『仏教儀礼事典』（東京堂出版）p153～p157に詳説されている、参照。また、本論「Ⅱ. アンケート集計結果 4. 年間行事について ②仏教行事 E. 「その他」・「彼岸会」参照。
- (25) 「ハロウィン」の実施園については、本論「Ⅱ. アンケート集計結果 4. 年間行事について ③宗教行事と民間行事 B. 「ハロウィン」 a. 実施している園」による。
- (26) 「ハロウィン」について、『日本大百科全書（ジャポニカ）』
<https://kotobank.jp/word/%E3%83%8F%E3%83%AD%E3%83%BC%E3%82%A6%E3%82%A3%E3%83%B3-1578660#E6.97.A5.E6.9C.AC.E5.A4.A7.E7.99.BE.E7.A7.91.E5.85.A8.E6.9B.B8.28.E3.83.8B.E3.83.83.E3.83.9D.E3.83.8B.E3.82.AB.29>、その他、『ブリタニカ国際大百科事典小項目事典』<https://kotobank.jp/word/%E3%83%8F%E3%83%AD%E3%82%A6%E3%82%A3%E3%83%B3-117685#E3.83.96.E3.83.AA.E3.82.BF.E3.83.8B.E3.82.AB.E5.9B.BD.E9.9A.9B.E5.A4.A7.E7.99.BE.E7.A7.91.E4.BA.8B>、
- E5.85.B8.20.E5.B0.8F.E9.A0.85.E7.9B.AE.E4.BA.8B.E5.85.B8.、に詳説されている、参照。
- (27) 「ハロウィン」について、田丸徳善監修『世界宗教事典』（教文館）p198に詳説されている。また、C. ルパニョール著・渡辺義愛監修『サンタクロースとクリスマス』（東京書籍）p44～p46に、いたずらが許される夜としてハロウィンで見られる子ども達が仮装して、お菓子をもらう風習の起源について詳説されている。また、「ハロウィン」についての実施園の詳細な内容は、本論「Ⅱ. アンケート集計結果 4. 年間行事について ③宗教行事と民間行事 B. 「ハロウィン」 a. 実施している園」を参照。
- (28) 「クリスマス」については、本論「Ⅱ. アンケート集計結果 4. 年間行事について ③宗教行事と民間行事 A. 「クリスマス」」を参照。
- (29) 「七五三」については、深光富士男著『日本の年中行事』（学研）p13、岩井宏實監修『日本の年中行事百科』（河出書房新社）p44～p45、萌文書林編集部◎編『子どもに伝えたい年中行事・記念日』（萌文書林）p98～p99に詳説されている、参照。
- (30) 「報恩講」については、松野純孝編『仏教行事とその思想』（大蔵出版）p20～p24、池田勇諦監修『わが家の仏教浄土真宗』（四季社）p142～p143に詳説されている、参照。
- (31) 「お会式」については、藤井正雄編『仏教儀礼事典』（東京堂出版）p31～p32に詳説されている、参照。
- (32) 「成道会」について、中村 元『佛教語大辞典』（東京書籍）p745d、曹洞宗保育連合会編『曹洞宗保育ハンドブック』（曹洞宗宗務庁）P64、藤井正雄編『仏教儀礼事典』（東京堂出版）p101～p102、松野純孝編『仏教行事とその思想』（大蔵出版）

- p149～p150、萌文書林編集部◎編『子どもに伝えたい年中行事・記念日』（萌文書林）p104に詳説されている。また、本論「Ⅱ. アンケート集計結果 4. 年間行事について ②仏教行事 B. 「成道会」に詳説されている参照。
- (33) 「もちつき」について、深光富士男著『日本の年中行事』（学研）p48～p49、萌文書林編集部◎編『子どもに伝えたい年中行事・記念日』（萌文書林）p118に詳説されている、参照。
- (34) イエス・キリストの誕生、生涯等については諸説あり、定まったものがない。そして「クリスマス」の歴史、語源、習慣、儀式について、多くの研究がなされている。その一部を挙げると、C. ルパニョール著・渡辺義愛監修『サンタクロースとクリスマス』（東京書籍）p13～p88、O. クルマン著・土岐健治、湯川郁子訳『クリスマスの起源』（教文館）p58～p68、若林ひとみ『クリスマスの文化史』（白水社）p16～p18等がある、参照。
- (35) 「クリスマス」の集計結果については、本論「Ⅱ. アンケート集計結果 4. 年間行事について ③宗教行事と民間行事 A. 「クリスマス」」を参照。
- (36) 「初詣」の由来については、萌文書林編集部◎編『子どもに伝えたい年中行事・記念日』（萌文書林）p131に「大晦日の日暮れから元旦にかけての新年の第一夜は、自分の家や氏神の社にこもって年神を迎えるのが習わしでした。しかし、しだいにその年神がやってくる方向（恵方）にある神社や寺にお参りするようになりました。大晦日の夜にお参りに行くのを「除夜詣」、元日にお参りに行くのを「元日詣」といい、これが「初詣」の原型です。」と述べられている。
- (37) 「鏡開き」について、深光富士男著『日本の年中行事』（学研）p16～p17に詳説されている、参照。
- (38) 「涅槃会」について、中村 元『佛教語大辞典』（東京書籍）p1076cd、曹洞宗保育連合会編『曹洞宗保育ハンドブック』（曹洞宗宗務庁）P65、藤井正雄編『仏教儀礼事典』（東京堂出版）p139～p142、松野純孝編『仏教行事とその思想』（大蔵出版）p41～p43に詳説されている。また、本論「Ⅱ. アンケート集計結果 4. 年間行事について ②仏教行事 C. 「涅槃会」」を参照。
- (39) 「節分」の由来については、中村 元『佛教語大辞典』（東京書籍）p829cに詳説されている。また深光富士男著『日本の年中行事』（学研）p52～p53に「節分」について「「節分」とは、「節を分ける」という意味で、四季を分けるさかい目にあたる日で、「二十四節気」の「立春」、「立夏」、「立秋」、「立冬」の前日が全て「節分」である。この「節分」とは関係なく、中国から伝わった「追儺」（「鬼やらい」）の行事が室町時代から宮中で行われ、大晦日に豆をまいて鬼を追い払う豆まきの行事が、もっと重要な「節分」の「立春」前日の「節分」といっしょに行われるようになり、現在では「節分」というと「追儺」の行事を含めた「立春」の前日ということで定着している」と述べられている。
- (40) 「初午」について、萌文書林編集部◎編『子どもに伝えたい年中行事・記念日』（萌文書林）p157に詳説されている。また、岩井宏実監修『日本の年中行事百科』（河出書房新社）p60に「初午は、二月最初の午の日に行う稲荷祭りです。稲荷の名は「稲生り」から来たという説もあり、食物の神、農耕の神とされています。初午の日に京都の伏見稲荷の祭神、「御食津神」が降臨された故事からこの日が稲荷祭りになったのです。（中略）昔、稲の実っ

たころにキツネが山から降りてきて子ギツネを育てる姿を見た農民が、先駆けを意味するミサキ、オサキと言ってあがめるようになりました。稲荷神社の神の使いがキツネとなったのは、このことからキツネを田の神の使いとみなすようになったからです。それが真言密教や道教の呪術と結びつき、やがてキツネによる神のお告げの信仰が盛んになっていきました。」と述べるに留まり、真言宗系の寺院の行事の中に取り入れられるものと思われる。しかし今回のアンケート調査において、この「初午」の実施園は、浄土宗、曹洞宗系の園であり、特に実施園との関連性について宗派の特定を確認することはできず、今後の課題である。

- (41) 「ひなまつり」の由来については、萌文書林編集部◎編『子どもに伝えたい年中行事・記念日』（萌文書林）p165～p166、岩井宏實監修『日本の年中行事百科』（河出書房新社）p12～p21に詳説されている。
- (42) 仏教行事について、「三仏忌」以外の「その他」の項目についての個々の項目内容については、本論「Ⅱ. アンケート集計結果 4. 年間行事について ①年間行事」に詳説している、参照。
- (43) 仏教保育の実施における困難さについて、本論「Ⅱ. アンケート集計結果 7. 仏教保育についての問題点・課題について」参照。
- (44) 「その他の宗教行事と民間行事」については、本論「Ⅱ. アンケート集計結果 4. 年間行事について ①年間行事」参照。
- (45) 「クリスマス」、「ハロウィン」については、本論「Ⅱ. アンケート集計結果 4. 年間行事について ③宗教行事と民間行事 A. 「クリスマス」、B. 「ハロウィン」を参照。また、他の宗教行事と民間行事については、同、「C. 「七夕」、D. 「節分（豆まき）」、E. 「みたまま祭り」の

項目参照。

- (46) 「預かり保育」は、社会のニーズに伴い、平成10年12月14日文部省告示 第174号 平成12年4月1日施行の「幼稚園教育要領」の第1章総則 3教育課程の編成(3)に、「幼稚園の1日の教育時間は、4時間を標準とすること。ただし、幼児の心身の発達の程度や季節などに適切に配慮すること。」、さらに第3章 指導計画作成上の留意事項 2特に留意する事項(6)に、「地域の実態や保護者の要請により、教育課程に係る教育時間の終了後に希望する者を対象に行う教育活動については、適切な指導体制を整えるとともに、第1章に示す幼稚園教育の基本及び目標を踏まえ、また、教育課程に基づく活動との関連、幼児の心身の負担、家庭との緊密な連携などに配慮して実施すること。」と述べられており、後に、平成13年3月29日文部科学大臣決定の「幼児教育振興プログラム」において、「預かり保育」の推進が明確に掲げられた。それ以来「預かり保育」が推進されてきている。平成17年6月現在の文部科学省の調べによる「預かり保育の実施園数と割合」（文部科学省平成18年9月12日 第46回教育課程部会 配布資料(1)「預かり保育」の状況）によると、公立幼稚園2,377園(44.1%)、私立幼稚園7,182園(86.6%)、合計9,559園(69.9%)の実施であり、現在は「預かり保育」の実施園の数が、さらに伸びていると思われる。今回の調査の仏教保育実践園においても、同様の傾向が見られる。
- (47) 前出、註(46)「文部科学省平成18年9月12日 第46回教育課程部会 配布資料(1)「預かり保育」の状況」に基づいている。
文部科学省HP
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/

chukyo/chukyo3/004/siryo/attach/
1398649.htm 参照。

- (48) 全国保育団体連絡会・保育研究所編『保育白書 2018』（ちいさいなかま社）「4 新制度の多様な実態 I 保育所等の保育時間・開所時間・開所日数 保育所・幼稚園の開所時間・日数」p107 参照。
- (49) 前出、註（48）、同、全国保育団体連絡会・保育研究所編『保育白書 2018』（ちいさいなかま社）「4 新制度の多様な実態 I 保育所等の保育時間・開所時間・開所日数 保育所・幼稚園の開所時間・日数」〔図表 1-411 開所時間別保育所数の割合〕p107 による。
- (50) 保育者の確保の困難さについて、本論「Ⅱ. アンケート集計結果 7. 仏教保育についての問題点・課題について」参照。
- (51) 文部科学省『幼稚園教育要領』第3章教育課程に係る教育時間の終了後等に行う教育活動などの留意事項1（平成29年3月31日 文部省告示 第62号 平成30年4月1日施行）参照。また、同、第1章総則 第6幼稚園運営上の留意事項2に、「幼稚園における生活が家庭や地域社会と連続性を保ちつつ展開されるようにするものとする。」、同、3に「地域や幼稚園の実態等により、幼稚園間に加え、保育所、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校などとの間の連携や交流を図るものとする。」と述べられ、幼児の生活には家庭を基盤として、地域社会との連携が大切であることが示されている、参照。
- (52) 前出 註（51）参照。同、「第3章教育課程に係る教育時間の終了後等に行う教育活動などの留意事項2」参照。
- (53) 前出 註（2）参照。また、本論「Ⅰ. はじめに」参照。
- (54) 前出、註（50）参照。
- (55) 前出、註（50）参照。また本論「Ⅲ. 仏

教保育実践園の現状と課題の考察 1. 園概要について」において詳説している参照。

- (56) 本学の平成28年度就職状況については、駒沢女子大学・短期大学進路総合センター提供資料に基づいている。
- (57) 新要項、新指針の改訂（改定）の中で、幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園の3つの幼児教育組織を「幼児教育を担う施設」と位置づけており、前出 註（2）参照。また、本論「Ⅰ. はじめに」参照。

【参考文献・資料】

- ・ 汐見稔幸、無藤 隆監修『保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説とポイント』（ミネルブア書房）p49～p60、P360～p365、P413～p417
- ・ 汐見稔幸「新指針・新要領のポイント そしてこれからの保育」（『児童研究』（学校法人聖心学園発行）第684号・第63巻・第3号 平成29年12月15日）p1
- ・ 中村 元『佛教語大辞典』（東京書籍）p745d、p829c
- ・ 全国保育団体連絡会／保育研究所編『保育白書 2018年』（ちいさいなかま社）p107、p146～p156 蓑輪明子「保育政策と保育士処遇の現状 - 賃金と労働条件の両面から -」
- ・ 曹洞宗保育連合会編『曹洞宗保育ハンドブック』（曹洞宗宗務庁）P63～p69
- ・ 藤井正雄編『仏教儀礼事典』（東京堂出版）p22～p27、p31～p32、p101～p102、p112～p114、p114～p116、p153～p157、p161～p162、p352
- ・ 松野純孝編『仏教行事とその思想』（大蔵出版）p20～p24、p53～p56、p102～p105、p149～p150、p191～p194
- ・ 佐藤隆賢監修『わが家の仏教真言宗』（四季社）p180～181

- ・池田勇諦監修『わが家の仏教浄土真宗』（四季社）p142～p143、p146、p180～p181、p181～p182、p182
- ・佐藤隆賢監修『わが家の仏教真言宗』（四季社）p179、p181～182
- ・萌文書林編集部◎編『子どもに伝えたい年中行事・記念日』（萌文書林）p52～p53、p98～p99、p104、p118、p131、p157、p165
- ・岩井宏實監修『日本の年中行事百科』（河出書房新社）p12～p21、p28～p35、p44～p45、p50、p60
- ・深光富士男著『日本の年中行事』（学研）p10～p19、p30～p33、p45～p49、p52～p57
- ・『日本大百科全書（ジャポニカ）』
<https://kotobank.jp/word/%E3%83%8F%E3%83%AD%E3%83%BC%E3%82%A6%E3%82%A3%E3%83%B3-1578660#E3.83.8B.E3.83.83.E3.83.9D.E3.83.8B.E3.82.AB.29>
- ・『ブリタニカ国際大百科事典小項目事典』
<https://kotobank.jp/word/%E3%83%8F%E3%83%AD%E3%82%A6%E3%82%A3%E3%83%B3-117685#E3.83.96.E3.83.AA.E3.82.BF.E3.83.8B.E3.82.AB.E5.9B.BD.E9.9A.9B.E5.A4.A7.E7.99.BE.E7.A7.91.E4.BA.8B.E5.85.B8.20.E5.B0.8F.E9.A0.85.E7.9B.AE.E4.BA.8B.E5.85.B8>
- ・田丸徳善監修『世界宗教事典』（教文館）p74、p198
- ・C.ルパニョール著・渡辺義愛監修『サンタクロースとクリスマス』（東京書籍）p13～p88
- ・O.クルマン著・土岐健治、湯川郁子訳『クリスマスの起源』（教文館）p58～p68
- ・若林ひとみ『クリスマスの文化史』（白水社）p16～p18
- ・文部科学省『幼稚園教育要領』（平成29年3月31日文部省告示第62号平成30年4月1日施行）
- ・ベネッセ次世代研究所編「第2回幼児教育・保育についての基本調査報告書〔2012年〕」
「第1章園の環境・体制・園児数 第3節園児数・定員充足率」p38～p44、「第2章保育・教育的な活動 第1節教育・保育の目標」p46～p47
- ・文部科学省平成18年9月12日 第46回教育課程部会 配布資料(1)「預かり保育」の状況
文部科学省 HP
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/004/siryo/attach/1398649.htm
- ・一般社団法人高野山宿坊協会 HP 行事の年間日程「青葉祭」<https://www.shukubo.net/contents/event/>
- ・曹洞宗関東管区教化センター「施食会」
<http://www.soto-kanto.net/image/radio/240704.pdf#search=%27%E6%96%BD%E9%A3%9F%E4%BC%9A%E3%81%A8%E3%81%AF%27>